

会員アンケート結果

アンケート期間:2026年8月10日～9月13日
アンケート対象:東北支部会員
アンケート回答者数:150名
アンケート方法:Microsoft Forms
アンケート採取・集計:東北支部事務局
アンケート公表日:2026年10月23日

アンケートへの回答ご協力どうもありがとうございました。いただいた内容を元に、更に会員満足度の向上を目指して参ります。

尚、結果に関するお問合せ等については以下のいずれかにて事務局宛てにご連絡ください。

☎ 022-715-8114 ✉ toh-office@counselor.or.jp

まずは皆様にお詫び申し上げます。

今回のアンケートですが、「長い」とのご指摘を多くいただきました。お忙しい中ご協力いただきました方々に感謝するとともに、あまりに長くて断念した会員様もいらっしゃるかと存じます。会員様からいただいた質問や事業部からの質問をアンケート質問とする初の試みの為、頂いた質問を「そのままお届けしたい」という思いが強すぎました。お手数おかけして、大変申し訳ございませんでした。



次年度は皆様からいただいたご意見・ご提案を元に、「選択式回答」をメインに、ご負担にならないような質問数を準備させていただきます。

青森	アンケートの内容をもう少し簡単な内容にしていきたい。 1回のアンケートで何でも求め過ぎているように感じます。
秋田	確かに長いアンケートです。これは改善が必要です。 頻繁に情報提供をしているのであれば、会員からの質問についてもその都度、「事務局通信」で配信する方法もあると思います。「1年間分を一度」では、手間も増えるし、こういうアンケートがあることを忘れてしまうこともあります。「定期的な聴き取り」「オンデマンドな聴き取り」にまず分類し、さらに「質問内容」を精査するなど、アンケートの在り方・設計についても今後検討されてはいかがでしょうか。
岩手	アンケート作成、集計お疲れ様です。アンケートの設問数がもう少し少ないと回答の負担が減ってありがたいと思います。 アンケートが長い
宮城	アンケート項目が多いので負担に感じる。 アンケート35問は多過ぎませんか？このような質問が続けば回答率は減少するかと。
福島	活動を活発にされたいという意向は伝わって参りますが、今回のような時間のかかるアンケートでは、かなりの数の方が途中で断念されるのではと老婆心ながら思いました。 特にありません。アンケートの項目が少し多過ぎかと思えます。 途中で回答をやめようかと何度も思いました…。



2026年度JAICO東北支部 会員アンケート 目次

質問を寄せて下さった会員の皆様、ありがとうございました。
各事業部からの質問と合わせ、大変にデータ量が多いため、
お時間のある時や、隙間時間にご覧いただければと存じます。



ご覧いただく上でのご注意…………… 4P

【回答者属性】…………… 4P

【会員の方からの質問】…………… 5P

- ご自身の所在県での活動について、感じることやご意見、ご要望をお聞かせください。 5P
- 傾聴の技法をどのようなシーンで応用展開していますか？事例を教えてください。 11P
- ①あなたはこれからの人生において、産業カウンセラーの資格をどのように活用したいですか？②その為にあなたは、どんな勉強や準備、行動を行っていますか？ 18P
- あなたは勉強した心理学を自身の生活に活かしていますか？ 29P
- 前項の回答の理由を教えてください。活かしている場合は具体的に、活かしていない場合は、何故なのかを教えてください。 30P
- 資格は持っていても、なかなか活かせる機会がありません。スキルアップをはかるにも専門的な講座ばかりで参加に躊躇してしまいます。皆さんはどうですか？ 36P
- 事務局 気軽に手軽に参加できそうな講座とはどのようなものが考えられますか？ 37P
追加質問
- 多分ですが、これから急速に人工知能が高性能化し、今の仕事の多くを代行するようになります。そんな時代に、人による心理カウンセリングは、淘汰されるという予想もあります。そのような環境でもこの資格の取得者を増やしていくため、どのようなアプローチが有効だと考えますか？ 45P

【養成講座部からの質問】…………… 59P

- 養成講座の受講者募集周知チラシや無料説明会案内チラシなど、配架可能なおすすめの場所をご存じでしたら、是非教えてください。 59P
- ①養成講座受講後、周りの方等に受講を勧めたことがございますか？
②おありになる方は、その時に「これがあれば便利！」と思ったツールがあれば教えてください。 62P
- 養成講座中に、受講者同士でやってみたいと思ったことや、指導者に聞いてみたかったことがあれば、教えてください。 67P

【キャリア事業部から質問】…………… 71P

- キャリアコンサルタント資格について、現在の考えに近いものを教えてください。 71P
- キャリア事業部で「こんな学びや交流の場があれば参加したい」ことがあれば教えてください。 73P

【相談事業部からの質問】 75P

- 相談事業部は相談員の育成と自死対策支援の活動を行っております。
どのような研修があれば、積極的に参加したいと思いますか？具体的な研修についての
要望がございましたら教えてください。 75P

- カウンセリングの実務において、困難を感じる場面がありましたら教えてください。 79P

- 相談事業部が開催している研修やイベントについて、改善して欲しい点がありましたら
教えてください。 84P

- 派遣カウンセラーとして活動するために、どのようなサポートがあると参加しやすくな
りますか。未経験の方のご意見もご自由をお願いします。 86P

【事業推進部からの質問】 89P

- 産業カウンセラー資格が「労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度実施マニ
アル」に資格記名があるのをご存じでしたか？ 89P

- ストレスチェック制度で事業場支援を行う際、有資格者の方で、支部から依頼があっ
た際、実施者として依頼を受けてもいいと思いますか？ 92P

- 産業カウンセラー協会が、企業・行政の依頼で、メンタルヘルス予防研修・ハラスメン
ト防止研修・コミュニケーション力向上研修等講師派遣を受託している事をご存じです
か？ 94P

- ご自身は産業カウンセラーの資格をどう活用していきたいと考えていますか？ 97P

【会員部からの質問】 99P

- 現在、産業カウンセラー又はキャリアコンサルタントとして、どのような分野で活動さ
れていますか？（最も稼働時間が多いものを一つ選択） 99P

- 今後、産業カウンセラー又はキャリアコンサルタントの資格を生かして、どのような分
野で活動していきたいとお考えですか？（最も希望するものを一つ選択） 102P

- あなたの在住県で対面研修を実施するなら、どのような研修を希望しますか？ 105P

- 各事業部の活動に協力いただけるとした場合、どのような形態でご協力いただけます
か？ 109P

- 会員研修の研修内容について、以下の内容について「受講したい」と少しでも思うもの
を選択してください。（複数回答可） 111P

最後に、東北支部へのご要望、ご意見などを自由に入力ください。 114P

ご覧いただく上でのご注意

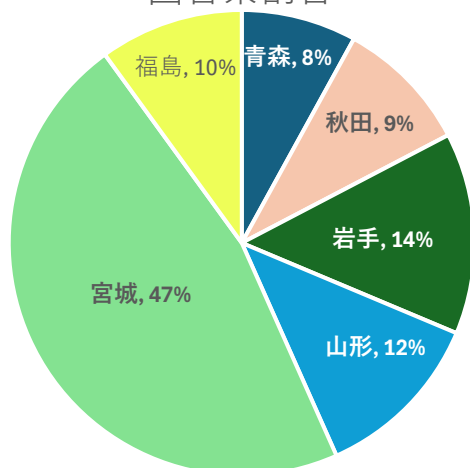
頂いた回答内に回答者本人以外の特定個人の氏名があった場合、個人の名誉や人格に関わる懸念、あるいは、個人に対する評価として受け取られる懸念が生じる可能性があり、また会員間の不要な対立や憶測を招くおそれもあるため、個人名や特定可能なエピソードにおいては、運営幹部会の判断にて割愛させていただいております。

当該回答の趣旨や課題認識については真摯に受け止める一方で、アンケート結果を公表するにあたっては、意見の要旨として整理したうえで記載させていただいておりますので、予めご了承ください。

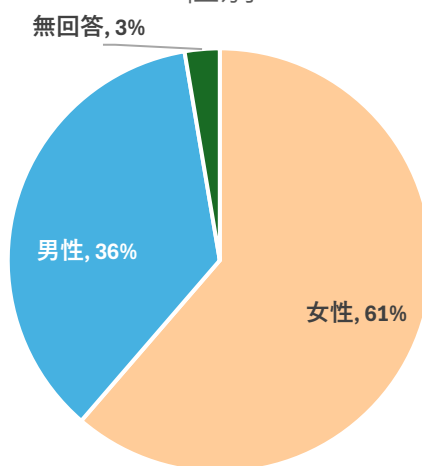
東北支部 運営幹部会

回答者属性

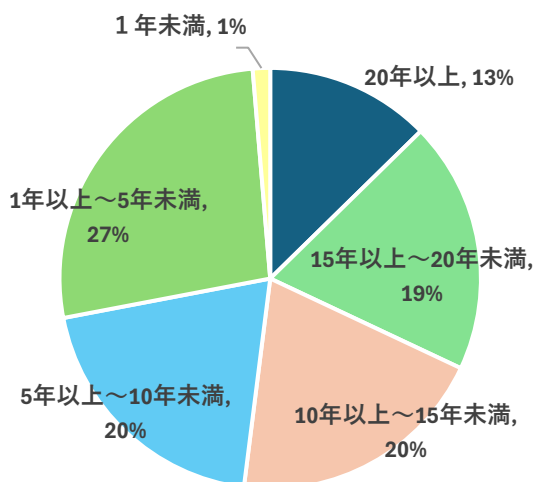
回答県割合



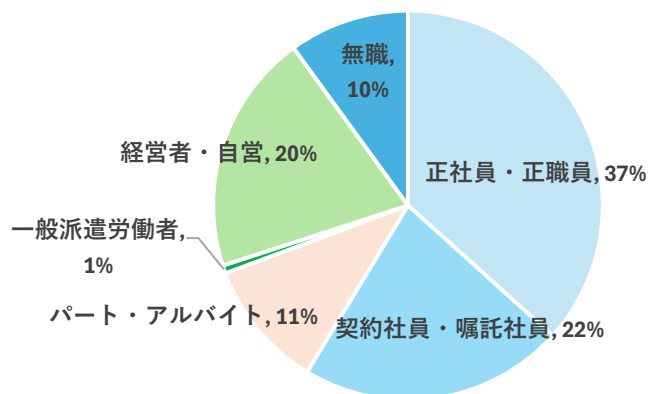
性別



会員歴



現在の就労形態



青森県

支部会員歴	回答内容
15年以上～20年未満	知名度が低い。活躍の場が少ない。
10年以上～15年未満	青森県では、地区毎に3つの学習会があり、最寄の学習会には年2～3回は顔を出している。しかし、全県での交流の機会はあまりなくなり、少しもったいないと感じている。
	知名度が低いのではないかと思う場面がある
	青森県内は学習グループの活動も活発であり、普段カウンセラー業務に従事していない自分にとっては、情報収集の場としても大事だと感じています。
5年以上～10年未満	青森学習会の会員が増えて欲しいと思っていますので、支部からの情報提供があれば嬉しいです。
1年以上～5年未満	講座や勉強会などの活動が少ないと感じる
	事業所のカウンセリングに対する、興味のなさ。
	なかなか多忙で、オンラインでも厳しいです
	産業カウンセラーとしての活動はしていない

秋田県

支部会員歴	回答内容
15年以上～20年未満	私は自営なので大丈夫だが、活躍の場が少ないように感じる
	後継者の不安を感じております。
	地元で受けたいが、受講したい講座が少ない
10年以上～15年未満	高齢化、出席者の減少
	産業カウンセラーとしては、登録後、心理カウンセリングや心理療法の実践において、その学びや傾聴技法を活用してきました。活動が続ける中で、一人ひとりの悩みや心の問題に対応するカウンセリングの必要性を感じる一方で、問題が深刻化する前から自分自身の心の状態に気づき、整えていく「セルフケア」の重要性を強く考えるようになりました。
	「産業カウンセラー」プラス「そのほかの専門分野」を持つことが大切だと思います。産業カウンセラーの資格だけでは、活動の機会はほとんどありません。
	例えば法務、税務、政策立案などの知識・経験があることで「この人は、専門の業務だけではなく、きちんと話を聴いてもらえる」という評判が立ちます。
	「産業カウンセラー」だけでは、活動領域はほとんどないと感じています。
5年以上～10年未満	学習会などは定例的に開催しているようですが、近年疎遠になっており、参加できておりません。
	他の方の活動を見に行く余裕が無い
	参加していないので特にありません（参加の意向はあるが回数が少ないため都合が合わないことが多い）
1年以上～5年未満	講習会の機会が少ない
	県の事業での貢献
1年以上～5年未満	産業カウンセラーとして、何とか活動の場を頂いてますが、稼働日数が少ないので満足感が少ないです。

岩手県

支部会員歴	回答内容
20年以上	県内会員で企画はあるようだが、メンバーの顔が見えないので、なかなか足を踏み入れる勇気が出ない。
15年以上～20年未満	所在県と言いますが、組織化された活動がないので、会員の顔ぶれもわからず誰がなにをやっているかも見えず、一体感や帰属感はゼロです。 仕事以外にあまり活動がないので意見はありません
10年以上～15年未満	自身があまり活動に携われていないため、特にございません。
5年以上～10年未満	県内で研修があると嬉しいです オンラインで活動しているため所在県は特に意識していません 実際に産業カウンセラーとして活動してる方がおられるのかしら？と疑問に感じています。 県内会員同士の交流機会の充実を求める 長年活動してきた会員の参加減少を懸念する 会員が参加しやすい交流の場を望む 三県合同事業の位置付けや活動内容について、より分かりやすい説明を求める
1年以上～5年未満	研修会などの情報収集が困難 勉強会や情報交換会が少ないと感じます。県の相談事業を受託し会員が相談業務に携われる機会を提供していただけてとても感謝していますが、そもそも誰がどういう役割でどのように意思決定して運営しているのか、ガバナンスが見えず不安です。 産業カウンセラーとしての活動は今のところ特に行っていないので、活動で感じることはちょっとわからないですが、研修をオンラインで受けられているのはありがたいです。 交流できる場があれば良いなと感じています。 カウンセラーとしての活動はしていない 情報交換の機会があればと思います。 活動がわからない
1年未満	岩手県がどう活動しているのかがわかりにくく、なんとなく外部発信がうまくないと感じます

山形県

支部会員歴	回答内容
15年以上～20年未満	活動が少ないと感じる できるだけ参加するように努めています。 会員同士の交流がなく情報共有できない。地域の発信や発展もしない。
10年以上～15年未満	産業カウンセラーとしては、メンタルヘルス対策促進員としての活動に限定されます。 県の運営部がもっと機能するよう要望します zoomでの勉強会に誘っていただき一度参加しました。県内外の参加者がいて刺激を受けましたし、ディスカッションでは、同じ学びをしてきた同士なので率直な意見交換ができました。今後も参加できるものには参加していきたいと思いますので、情報提供して下さるとありがたいです。

10年以上～15年未満	他県に比べ活動の場が少なく、地域的にも限定されている。 活動は有りません。
5年以上～10年未満	私が活動しているのは、山形県の庄内地域です。これまで10年ほど活動が続けてきましたが、この地域で「カウンセリングを受けることへの心理的な抵抗感」は、想像以上に手ごわいと感じています。海外では、お医者さんに行く前に、まずは気軽にカウンセリングで話を聴いてもらう文化が根付いています。日本でも、温泉や整体、マッサージに足を運ぶような気軽さまでハードルが下がってほしいものです。そのためにも、国や自治体、そして各種カウンセラー団体がしっかりと連携し、カウンセリングという文化が社会全体に一般化していくことを願っています。 10年位前は県内でセミナーがあり同県内で交流がありました。しかしここ数年なにもなく交流の場がありません。またどのような活動をしているかも分からない。 あまり参加していないのでわかりません
1年以上～5年未満	他の会員の方はどのような活動しているかを知らないので、知る機会があると良い。 産業カウンセラー単体での活動領域が少ない どのような活動に参加すればいいのかわからないのと、仕事が忙しいために参加できずにいます。 山形県は庄内のこころ塾の活動が活発ですが、内陸のほうはどんな活動をしているのかわかりません。庄内は交通の便が悪く、仙台の催し物に参加したほうが便宜がよいので、山形の活動に参加したいのですが、連絡のしようがありません。教えていただきたいです。 なかなか、民間でのカウンセリングは進んでないと思う。 令和7年度から、キャリア形成・リスキリング相談コーナー対応キャリアコンサルタントとして、週1～2日程度、相談業務に携わっています。勤務日数は多くありませんが、この1年間、1回完結の面談を中心に、さまざまな相談者のお話を伺う機会があり、相談実務の経験を重ねてきました。 今後は、これまでのキャリアコンサルティングの経験を生かしながら、産業カウンセラーとして、件数は少なくても、心理的な支援により近い相談業務にも携わってみたいという思いがあります。 山形県内で、産業カウンセラーとしてどのような活動の機会があるのか、私自身まだ十分に把握できていないところがあります。地域で資格やこれまでの経験を生かせる相談活動や、そのような活動につながる情報を知る機会が増えるとありがたいと思っています。

宮城県

支部会員歴	回答内容
20年以上	会員に対する活動が中心となっている気がします。 心理の研修に偏り過ぎて、「産業」分野の研修が少ない CCの更新講習や学習会に参加しています。学習会は気心が知れた仲間と、継続して学びつづけることが出来るので有難い存在だと感じています。 宮城県は必然的に仙台市が中心での活動になっていますが、県北、郡部の地方自治体での活動も広げていけたら協会の認知もアップするのではないかと思います。

20年以上	東北支部は、他の支部ほど活発ではないなと感じています。最近、キャリアコン寄りのイメージ。
	いつもありがとうございます。魅力ある研修を今後も期待しております。
	自分自身も参加していないのが実情であります・ボランティア活動の場を増やしてほしいです。
	3月正規職員（管理職）を退職し、介護中心の生活になりましたが、生活も落ち着いてきたので産業カウンセラーやキャリアコンサルタントの資格をいかして今後、社会貢献できる活動を見つけたいと考えています。興味のある研修も受講していきたいと思っています。
	今は、ほど良くお仕事をさせていただいています。
	研修会に参加したいが都合が合わないケースが多い。
15年以上～20年未満	活動の拠点になっていると思います。地域差も少なくなると思います。
	職場の産業カウンセラーとして活動しています。所在県（宮城）の特性かは不明ですが、働き方の多様化・IT化など変化が大きく、価値観が違う人と安心して気持ちを語りにくい風潮があります。その結果、ハラスメントやメンタル不調が増えて、カウンセリングのニーズは高くなっていると感じています。
	活動内容が見えないので、何か実施したら都度「こんなことをやりました」というフィードバックがあるといい。
	支部HPが充実し、オンラインで参加できる研修等の増え、支部活動において「所在県」というものがあまり関係なくなっているように感じています。
	例えば、学校教育や医療系の職種に関わる方々で、資格取得しても会員への登録されていない方もいるのじゃないかな。資格取得された方々の総数での会員率どんな感じなのかな。
	情報や案内が良くあるので参考にしています。
10年以上～15年未満	活動をできていない。
	メルマガの頻度が高く、なかなか参加はできていませんが、会の活動が分かりやすいと感じます。
	以前から県によって活動の差が大きいと思っている。
	運営も含め、充実させようと頑張って活動してくださってるなと思います。
	すみません、ほとんど参加できていない状況です。
	いつも様々な講座やお知らせ、情報をいただき感謝しております。
	活動の場所がない
	他の県に比べると活動に参加しやすい環境に恵まれていると感じます。他の県の方との横のつながりがあると東北の一体感が感じられると思います。
5年以上～10年未満	他の県に比べて宮城は充実しているので特にありませんが、他県のボランティア等に参加してもよいなと思います。交通費等は自腹でも良いので。
	活動の実態がわからない。ある程度出来たグループに入りづらいと感じます。

5年以上～10年未満	産業カウンセラーの資格はあるが、実際の働く場がないと感じている。
	カウンセラー資格を取得した後の、カウンセラーとして臨床時間を重ねるためのアドバイスやセミナーなどの機会について、そのような時間を積極的に告知、開催をしてほしい。
	時間が有れば活動したいと思います。
	個別にサークル的な活動をしているようで、実施状況を確認したことがありますが、積極的に参加するには至っていません。
	宮城県在住であり、比較的支部活動の情報には接しやすいが、他県だとマンパワーや情報の少なさなどにより、活動に濃淡が生じているのではないかなと思う。
	支部でどの程度サポートできるか、すべきかも考えるべき。
	カウンセリングおよび産業カウンセラーの有用性を広めたいが、同時にそれに応えうる産業カウンセラーの能力向上が大きな課題だと感じる。
	資格取得後は傾聴にとどまらない自身のカウンセリングのスタイル確立が重要だと考えているのでこの部分に自覚的に自己研鑽を続けることでまた自ずから資格の有効活用が見いだされるのではないだろうか？
	満足しています
1年以上～5年未満	会員の学びの機会が少ない
	さまざまな研修や活動があり感謝しています
	実際に臨床している方同士の交流の場を設けてほしい。
	以前、山形に住んでいた時は研修など参加する機会がない難しいと感じていましたが、現在、仙台に住んでおり、参加する機会はかなりあると感じています。
	もしかしたら所在県によってそういった格差はあるかもと感じます。
	県単位でカウンセラー同士の勉強会などがあればいいと思っている。
	支部の相談業務に参加したいと思っています。
	会員に対し、あまり広く周知されていない気がする。
	さらに様々な手法の研修を開催していただきたいと思っています。
	活動の場がなかなか見つけれません。
	取り立てて活動しておりません。
	現在、カウンセラーの仕事に携わっておらず、活動に関してお話しできることがございません。
	私は、金錦会に参加しておりますが、参加人数も少ないので…すごく私には貴重な場だと感じておりますし、もっと気軽に参加してくたさる方がいればなあ…と。
	もっと、自己研鑽し合える場があると協会メンバー皆が楽しく活動できるのでは一と感じております。
	今回、キャリアコンサルタントの養成講習で勉強をしています。産業カウンセラーから学び続けてきている人や逆にキャリアコンサルタントから産業カウンセラーへ行く方もいて、信頼は厚いと感じています。
	活発に活動されていますが、自身の業務のためほとんど参加させて頂くことが叶わずにおります。

1年以上～5年未満	宮城県在住ですので他県に比較すると支部主催の研修はオンライン・対面とも参加しやすい環境にあります。宮城県会員のみの交流はありませんのであっても良いのかと思います。
	活動内容がわかりにくい
	更なる経験の積み上げとして、副業の検討もしているがニーズがほとんどない
	対面での研修が充実するとありがたいです。
1年未満	入会して間もなく、特に感じることはない。

福島県

支部会員歴	回答内容
20年以上	対面研修がない
	活動が少ないと感じております。
15年以上～20年未満	産業カウンセラー資格（内容）は、補助的に活用している状態です。
	あまり活発な活動ができていない印象がある。ただ自分自身も忙しい為、何らかの案内があったとしても積極的に参加できるかはわからない。
	活動があってもいいが、県外の研修などにオンラインで参加できるため必要性を感じない
	・研鑽を積み続けていれば、支部のメールマガジンや知り合った仲間がきっかけで、活動の場（仕事）を得られると思った。所在県は、一般的な求人情報からだ、他県よりも産業カウンセラー資格保有を条件にした募集がとても少ない印象がある。 ・引き続き、メールマガジンで情報提供（〇〇で△△を募集中です、など）をお願いしたいです。
10年以上～15年未満	活動内容が見えない、何をやっているかがわかりにくい。
	所属県で活動が行われているか不明です。
	活動機会が少ない
5年以上～10年未満	近隣での対面での活動、セミナーが少ないように感じます。
	活動状況がわからない。
	福島県でどのような活動がなされているのか分からない。
	事務局がある宮城での活動は活発だなといつも感じる。
1年以上～5年未満	資格を取るまでは大変だったけど、取ってしまうと割とあっさりした協会なんだなーといった印象。ですが、特に何か期待してもいないので、感じることもありません。

会員質問	傾聴の技法をどのようなシーンで応用展開していますか？事例を教えてください。
------	---------------------------------------

20年以上	
現就労状況	回答
正社員 正職員	業務上、報連相を受けるとき
	人とかかわる様々な場面で。
	活用できてない。技術も落ちた
	活用する仕事に就いていないが日常のスキルとしている
	民間企業でのキャリア相談。
契約社員 嘱託社員	何時もと少し雰囲気の違いを感じた職場の同僚等への声かけの際に使用しております。
	今も仕事に活かされています。
	仕事上で、対面で相談する機会があり、自分なりに寄り添い方を考えています。
	キャリアコンサルタント業務において。その他、職場内の同僚からの愚痴を聞く際や、子どもの学校やスポーツ団体での親同士のコミュニケーションにおいても、問題が起きたときの対処の仕方として、まずは話を丁寧に聞くことを重視し、その際には傾聴技法を使っている。
パート アルバイト	電話相談、インターネット相談
	近所や仕事場での会話に役立っている感じがあります。
経営者 自営	仕事や日常生活。例えば、違う意見の時には、まずは相手の意見を伝え返し、その後で、共感できる部分や、その上での自分の意見を言うことで、コミュニケーションがスムーズになるなど。
	お客さんとの面談等で意識して使っています。
	相談業務が主
	技法の応用はわかりません。態度は人生の様々な場で自然に身につけている場面を感じる時があります。
	クライアントが「自分の気持ちを分かってほしい」と強く望まれているときや、信頼関係の構築の時に応用しています。
無職	家族や知人との会話において実践可能な範囲で応用しています。
	カウンセリング
	これまでは、職場の人材育成の場面やメンタルヘルスケア場面、日常の職員とのコミュニケーション場面で意識して、傾聴の技法を活用していました。

15年以上～20年未満	
現就労状況	回答
正社員 正職員	会議などでの意見交換
	社内の相談業務
契約社員 嘱託社員	通常業務で使用している
	教育分野でのカウンセリング（子ども対象）を行っていますが、傾聴の技法は基本となっています。
	学校の医療面接技法などで活用
	相談やカウンセリングはもちろん、職場内でのあらゆる場面で活用しています
	職場や私生活にも応用しております。

契約社員 嘱託社員	相談業務でクライアントの思いや考えを聞く時に、傾聴技法を活用し、どのようになってほしかったのか？どうして欲しいのか？話して頂き、二つほど、こうするのはどう？と提案。クライアントはそれは違う！や、そういう考えがあるのか！と気づきが変わるように展開している。
	傾聴の技法は、メンタル不調者の復職支援など、カウンセラーとして全ての場面で基礎になっています。人に相談しようとする時、既にたくさん悩んで緊張や警戒心が強くなっていることが多いです。傾聴の技法で温かく真剣に向き合うことで、固い表情が柔らかく変化して、安心して話すことで自分に気づく方が多いと感じます。応用としては、認知行動療法、ブリーフセラピー、フォーカシングなどを使うことがあります。統合失調症や抑うつ状態が重篤な場合など、病状により技法を控える必要があるので、注意しています。
	職場の上司、部下、お客様、家族などに有効と感じる。
	職場
	仕事。就職支援の相談場面で関係構築、問題把握などに応用。
	職業相談業務で転職で悩んでる方の相談時にたてまえと本音を聞き取りできるよう展開しています。
パート アルバイト	主に相談業務の場で意識していますが、人と接するすべての場面で広く応用できると思います。
	応用展開は特になしです。
	主にカウンセリングの場
	仕事で活用しています。
一般派遣労働者	特に、看護・介護のとき、子どもと接するとき。
経営者 自営	面談やハラスメント介入、研修など
	家族との会話 取引先様との打ち合わせ 窓口担当者様との信頼を積み増すためのコミュニケーション 他
	仕事で活かしています。カウンセリングやキャリアコンサルティング、時にはヒアリングでも活かしています。
	技法というか、お客様相手にもまずは聞くことを意識している。聞かないと話せないという感じで聞いてます。
	研修講師をしています、その際に受講生の質問の意図を明確にするためや、業務においての問題解決のために本人自ら解決策をみいだすようにするために応用しています
	窓口で来客対応する際、役立っています。
	ハローワークで就労支援事業に従事していた頃は、傾聴は意識して活用していました。
	相談者の話を聴くためには必要。相談者が自分の感情を表出できないときなど。

10年以上～15年未満

現就労状況	回答
正社員 正職員	していない
	業務として担当している、内部通報窓口への相談受付。企業内で毎年行うハラスメント防止研修等の企画実施。

正社員 正職員	部下との1on1の面談で信頼関係を築く時が一番活用できています。 ビジネス上でも、傾聴することで信頼されやすく、互いの課題をすり合わせることで課題解決できたこともあります。
	カウンセラー業務ではない通常の金融機関の接客業務で活用しています。
	従業員の定期面談や相談面談時
	カウンセラー養成講座
	職場の風土作り
	業務の中で生じる対外的なものとして、電話や対面での問い合わせやお困り相談 人とかかわるとき全般
	現場の時は日常的に使っていましたが、現場を離れてからは、部下の話を聞くときや、上司に業務上の提案をする時などに活用しています。
	職員との面談
	活動は、ありません。
契約社員 嘱託社員	サービス業の仕事をしていますので、お客様との対話で活用しています。
	現在、貧困層とのやり取りが多く、特徴のある方がいるので、正確な傾聴がないと、トラブルに発展するため、慎重に対応しています。
	個別の就職相談
	相談業務の仕事で。
	職場の人間関係やプロジェクトの進行時
パート アルバイト	知人と話すときも、できるだけ聴くように努めています。
	相談業務にて。
	あらゆる場面で。
経営者 自営	職場、家族、友人等との会話において応用しています。
	仕事以外では、家族の話を聞くとときに意識して使っています。
	職場でのコミュニケーションで常時使っています。 他の職員にアドバイスする時でも、どういう思いで行動したのか、まず聴くことから始めています。
	傾聴技法は、「自分詩ジャーナリング」の指導場面で活用しています。 自分詩ジャーナリングでは、参加者が自分の感じていることや考えていることを言葉にし、自分自身の心に耳を傾けながら、自分の言葉を見つけていきます。 その際、指導者が相手の言葉を否定や評価をせずに受け止め、丁寧に聴くことが重要なポイントとなります。
	「何を書けばよいか」を教えるのではなく、対話や傾聴を通して、本人が自分の内側にある思いや気持ちに気づき、自分自身の言葉として表現できるよう支援しています。
	このように、産業カウンセラーとして学んだ傾聴技法を、自分詩ジャーナリングという自己表現の場に応用し、日常的に自分の心を整えるセルフケアの一つの方法として活用しています。
	個人事業主として顧客とのコミュニケーション時に活用している。
	日常における事業所及び労働者からの相談対応で活用しています。
	日々のすべてに使ってます。

経営者 自営	仕事はもちろんですが、近所の人たちとの会話、買い物先での店員の会話など、あらゆる場所で展開しています。私が、商品が見つからず店員さんに声をかけると、「商品の陳列がちぐはぐだったりするんですよね」と、私にちょっとだけ愚痴をこぼしたことがあります。そこで「ちぐはく… それはモヤッとしますねえ」と返したら、「そう言っただけで、ホッとしました」と笑顔になったことがあります。 あらゆる場面で傾聴技法は役に立っており、良好な人間関係構築に役立っています。
無職	傾聴までは、普段から使用。寄り添う事が必要な時は段階を踏んで使う。自分が行っている講座などでも質問してきた人などに対応するときに使用することによりこちらの話をしっかりと聞いてくれる。 正直、家庭で思春期の子供に対してこんなに役に立つとは思っていませんでした。もしかしたら、仕事の時以上に役に立っているかも（笑）正否を置いて「まず聴く」と決めると、自らが冷静になれるので助かっています。 相続や裁判など、たくさんの情報や利害関係を踏まえたやり取りしなければならない場面でも、傾聴する姿勢があると、シビアな場面が和らぐ瞬間があるように感じます。やはり、対しているのは人であり、原因や状況、判決など物事の帰結は変えられなくても、人と人としての関係は平等でありたいという感覚を日頃から大切に培うようにしています。 ボランティア活動の中で参加者と対話するとき、ライフイベントに遭遇したときなどに、活用しています。

5年以上～10年未満

現就労状況	回答
正社員 正職員	職場での主に部下対応
	就職活動の支援、日常で会社の人の相談を聞くとき
	仕事
	相談対応
	職場では電話対応や同僚に対して展開しています。家庭でも家族との日常会話に応用しています。
	仕事での電話での対応、業務での報連相の際に活用していると思っています。相手の話をしっかりと傾聴したうえで、伝え返したり、一步踏み込んだ質問をしたりして良好な関係を築きながら業務遂行ができていますと感じています。
	仕事の時や友人との会話の時
	社員さんとの面談
	カウンセリングの場で
	仕事で相手の話を聞く時
契約社員 嘱託社員	担当する仕事に関わる管理している派遣社員の悩みや相談を聴くときやお客様からの要望を伺うとき
	相談業務
	感情的になっている人と話しをする時
	部下からの相談

契約社員・嘱託社員	相談員として面談や電話で意識して行っております。
パート アルバイト	今は相談業務をしているので、相手の話を聴く際に行っている。
	仕事場で活用しています。
	相談業務で、キャリア相談の場面で、相談者の話を聴く際に活用しています。すぐに助言や答えを提示するのではなく、相手の言葉や感情を受け止め、相談者自身が気持ちや考えを整理できるよう心掛けています。
	家族関係、職場、お客様との関係、全てで生かせていると感じます。
	自分の職場でのさまざまな対話、プライベートでの会話、カウンセラーとしての対応時
経営者 自営	日常会話で。
	仕事において応用しています。具体的には、ハローワークでのジョブ・カード面談時や、セミナー講師として、上司一部下面談時などにおける傾聴の良い点を強調しています。
	コンサル実務で。
	一般の仕事でも傾聴的態度および手法によって相手に「話を聞いてもらえている」との満足感を与え、また本音や言いそびれを引き出すことができるようになっている。これによって仕事のゴールというものもより満足度の高いものとなっていると考えている。
	個人カウンセラーとして
無職	傾聴の技法は、人と対話するあらゆるシチュエーションで活かしています。実践を重ねることで、私の半径3メートルほどの身近な人間関係は、概ね心地よい方向へと変化してきています。また、学びを通じて自己理解が進んでからは、自分が（無理に）多くをしゃべらない状況に対しても、心理的な負担感をまったく感じなくなりました。
	正社員時は総務関係の業務を担当しており、健康面・仕事面での相談を受けることが多々有り傾聴が役立ちました。また、昨年までの3年間ご紹介いただいた仙台法務局人権擁護部の人権擁護委員の電話・面接対応時同席後の傾聴に関しての助言等で技法が役立ちました。
	個人的に参加しています電話相談に活用しています。
	応用展開していると言える事例は持ち合わせていない。
	日常の人とのお付き合いのなかで傾聴を意識して過ごしています。

1年以上～5年未満

現就労状況	回答
正社員 正職員	障害児入所施設で勤務していますが、ある程度言語理解があり高い年齢の利用者様に対して、不満や要望等を言語化するのに役立っているのではないかと思います。
	仕事での面談
	職場での困り事以外でも、普段の会話から傾聴に心掛けています。何気ない会話から信頼が築けていると思います。
	社員や家族といった属性を問わず、誰かの話を聴く際は「傾聴」するよう普段から心掛けてはいます。応用と言われると「？」ですが…。
	職場のカウンセリング業務や、主に仕事上の接客
	電話対応、接客などの場面で。お客様の言葉に対し、伝え返しをする機会が増えた。

正社員 正職員	部下、家族等との話を聞くととき。
	お客様からのクレーム対応、クレームの原因となった職員の事情聴き取りなど。
	部下との面談やクレーム対応など不安なく行えるようになりました。
	カウンセラーの仕事はしておりませんが、職場で相談や問い合わせを受けることが多く、傾聴することで、最終的には相手の希望に沿えない結果になってもご納得いただけたたり、代替案を探す手助けになっています。
	1on1ミーティング（職場での面談）で活用しています。
	人事の仕事をしているので、社員との面談時に傾聴を意識しています。
	仕事上の社員の面談、相談対応
	事業所での担当者との会話において、困りごとを聞き出すとき
	部下からの相談
	教員をしておりますので、学生との対応で活用しております。
	従業員との面談時に意識しています。
	日々の業務で数分程度は技法を活用している
	家族らから相談されたときに傾聴を意識して、相手が望んでいることを感じながら、話を聴いた。
	会社内での面談員として活動、復職支援にも対応
	部下とのコミュニケーション
	医療関係なので患者とのコミュニケーションで活用している
	特に込み入った場合、共感的理解を示せるように努めております。
契約社員 嘱託社員	総務的面談で、使用しています。メンタル不調の方、会社での出来事の話聞いて欲しいとか、話を伺うことが多いので、使用しています。
	応用展開という事がよくわかりません。
	職場で仕事の悩みや愚痴、プライベートでの悩み。
	傾聴を技法とってしまっていた時期を乗り越えた感覚があります。技法ではなくて、基本的な姿勢なのだろうと考えます。
	職場での面談
	仕事以外でも、家族や友人からの相談を受ける場面などで
パート アルバイト	職場で若い人に仕事するのにムラがある時、傾聴している
	仕事の窓口相談で活用
経営者 自営	職場での会話や、相談を受けたとき。
	技法を使う、という意識は特にしていませんが、傾聴の姿勢、無条件の肯定的態度は常に意識しています。
	顧問企業におけるキャリア面談の場面
	公私コミュニケーション。
無職	相談会等でクライアントさんの悩みに応じて、展開したりします。
	どんな相手でも、傾聴技法が生かされていると日々感じています。近頃はよく色々な人から相談されることが多くなり、自己肯定感も上がっている気がします。傾聴はどんな場でも生かせる、人生を豊かにする技だと思っています。
	ボランティアの電話相談活動に。
	特にありません

無職	現在携わっているキャリアコンサルティングの相談業務の中で、傾聴の技法を活用しています。 主には、公的職業訓練や専門実践教育訓練等の受講前のキャリアコンサルティングですが、件数は多くないものの、訓練に直接関わらない労働者キャリアコンサルティングも担当しています。 相談者の中には、訓練受講や就職・転職といった具体的な相談だけでなく、これまでの職業経験への思いや、現在抱えている不安、今後の働き方への迷いなどを話される方もいます。そのような時には、すぐに助言や情報提供をするのではなく、まずは相談者の話を丁寧に聴き、言葉の背景にある思いや気持ちを理解することを心がけています。 1回限りの面談が中心ですが、話を聴いていく中で、相談者自身が考えを整理したり、自分なりの方向性に気づいたりする場面もあり、傾聴の大切さを感じています。
----	--

1 年未満

現就労状況	回答
正社員	部下との面談
正職員	日常の業務に活用している。

会員質問	①あなたはこれからの人生において、産業カウンセラーの資格をどのように活用したいですか？
	②その為にあなたは、どんな勉強や準備、行動を行っていますか？

20年以上

現就労状況	回答
正社員 正職員	①職業として活かすとともに、プライベートでもコミュニケーションの技法として活用したい ②自己理解を深めるための定点観測的な研修受講
	現在資格の積極的な活用は考えていない。
	① 副業に活用したいが、本業が激務で現役の間は難しい。
	② 関東方面の支部で情報を集めたり、フリーランスコミュニティで繋がりを作ったりしている。
	①活用したいが今のところ思い当たらない
	①特に決めていない ②研修会への参加
契約社員 嘱託社員	①現在のように依頼があれば研修講師やカウンセリングの場において活用したいと考えております。
	②防災士資格も保有しており、災害発生時の惨事ストレスや自殺防止のための講座等に参加しております。
	①人の話を聴く姿勢として、仕事だけではなく生活する場でも活用できると思います。
	②知識のブラッシュアップのため、講習を受けたり関係する本を読むことは続けています。
	活用方法を、どう行うかを、今の自分の生活環境から考えている段階です。
パート アルバイト	①業務の中で、職場内のトラブルの解消に関わる際の、メンバーとしての信用度を高めるため ②日々の自己研鑽、興味関心がある研修会への積極的参加
	傾聴のワークショップなど
	①産業カウンセラーにしかできないこと、復職支援や社員さんの悩み・困難さに寄り添いたい。 ②カウンセリングの質の向上のための事例検討会や様々な本を読みこむことを続けている。
経営者 自営	①仕事に生活に活かしている。②研修参加や本、メディア、CLから学ぶ。
	①特にこの資格単独では使用を考えていません ②更新講習のみです
	①相談を受けていきたい。有料でも無料でも ②協会開催の研修、他の研修など
	①ボランティア ②気になる書籍を読む
	①長年、企業のカウンセリング等で活用しています。
	②産業カウンセラー、キャリアコンサルタントの他にも資格があるため、資格更新のための講座や興味のあるテーマの研修会に参加しています。
無職	①資格を有していることで、客観的なスキルの持ち主であることの証明として活用 ②過去に出版された書籍をもう一度読み直すことで、理解を深めています。

①あなたはこれからの人生において、産業カウンセラーの資格をどのように活用したいですか？

②その為にあなたは、どんな勉強や準備、行動を行っていますか？

無職	① カウンセリング ② 講座 ①傾聴を含め、カウンセラーのスキルを活用できる場面は多々あると考えています。高齢者やその家族、特に介護実践している家族、障害児を抱えている家族、若者たちのキャリアコンサルタントなど地域の生活者に根差した活動ができたかと考えています。 ②やっとキャリアコンサルタント資格の更新研修を終了したばかりです。退職後の実際の活動の場の開拓はまだ着手していませんが、そろそろハローワークなどにも来所してみたいと考えています。
----	--

15年以上～20年未満

現就労状況	回答
正社員 正職員	①福祉施設等で話を聞いてほしい人たちに活用したい ②「カウンセリング」の敷居を軽減するためにカラーボトルセラピーやタロットカードを学んでいる
契約社員 嘱託社員	①現在の仕事に活かしたい ②協会主催の研修に参加している ①産業カウンセラーとして、出会った人と職場全体がより健康的に成長していけるようにしたいです。現職以外でも、可能な範囲で協会活動に参加できればと考えています。 ②実践的なカウンセリング講座、産業カウンセラー協会などの研修、スーパーバイザーに相談、図書館で様々な本を読んでまとめる、日記でメタ認知のトレーニング。 ①産業界の法律や支援に関する知識は今後も維持し、主たる仕事は教育分野のカウンセリング(子ども対象)ではありますが、間接的に活用(保護者支援等)出来たらと考えています。 ②今後も、研修を受けさせて頂き学びながら、一定の技量は保ちたいと考えています。 ①医療系養成校で講師をしています。引き続き、傾聴などの基礎的な考え方や技法など、授業の医療面接や行動変容などで活かせたらと思います。 ②研修への受講がスケジュール的に難しい時が多いのですが、最小限ですがみなし研修など受講しています。 ①仕事場で活かしていけたらと思います。 ②新しい知識の習得や療法の勉強のため、研修や勉強会に参加しています ①今後ボランティア活動に活用 ②養成講座の指導や研修参加 ①仕事である相談業務で活用 ②産業カウンセラーだけでは、知識不足の為、他の資格を持っている方が講師の勉強会に参加しています。 ①企業や東北支部からの依頼があれば活用したい ②産業カウンセラー協会で行っている研修に参加している。また他の団体で行っている興味のある研修に参加している。 1：人生の全て 2：来談者中心療法の体験を深めること(クライアント体験、研修参加)。

①あなたはこれからの人生において、産業カウンセラーの資格をどのように活用したいですか？

②その為にあなたは、どんな勉強や準備、行動を行っていますか？

契約社員 嘱託社員	①主に仕事 ②傾聴の研修は継続的に受講。キャリアに関する講座も、協会主催以外のものでも必要性あれば参加する。 ①仕事にも使えますが身近なところで子育てなどに役立ちます ②現時点では何かも勉強しておりません
パート アルバイト	①他の資格とダブルライセンスを強みにして、働く人や女性を応援したい ②所属団体や仲間から情報を得て、活動に役立ちそうな研修を受けている ①ボランティア活動などライフワークに活かしたい ②支部活動や研修に参加しています ①地方ではまだまだ認知度が低いいため、まずは知ってもらう ②名刺交換の際、可能な場合は産業カウンセラーについて話をする。勿論研修等の勉強も重要 ①様々な場面での円滑な人間関係を構築するため ②通信制大学への編入・地域活動への参加
一般派遣労働者	①様々な背景を持つ人が試験を経て得た資格なので、その多様性をあえて活かしたい。私は心理学を専攻していたが、そうではない人が多数派の「産業カウンセラーの資格」保有者ならではの長所があると思っている。経歴を活かして自分なりの活用の仕方をしたい。 ②どんな分野でも人の心につながっていくと思うので、趣味も含め興味がわいたところから分野を問わず、少しずつでも広く深い知識を学び（知り）続けている。同時に、カウンセリングを学んで知った、聴く姿勢を実践し続けるようにしている。また、気が合う資格保有者に出会えたら、つながり、できれば影響しあい、互いの利益にもなるようにと心がけている。
経営者 自営	①資格を持っているから仕事ができるのではなく、お客様に「さすがだね」と言ってもらえるようなカウンセラーになるために名刺に書いて恥ずかしくないように活動したい ②自身での研修企画運営、研修参加、上位資格取得のための準備、関連業務との提携展開 ①今まで通りカウンセリング・講座等で活用 ②自身に求められていると感じることや必要と感じることについて、知識を得るための情報収集と支部や運営部研修への参加経験の両輪 ① 人生ですか。（大きいな！）わたしの場合は、仕事に必須の資格なので、仕事を得るために活用しています。 ② 誰に聞いても同じだと思いますが、常に学び続けることです。仕事をいただく上で、期待に応えられるようにレベルを維持することに時間とお金を使います。 ①中小企業の組織内コミュニケーション改善の支援をするコンサルティング ②カウンセリングを含めた心理学の、主に読書を中心とした勉強 傾聴は、どの場面でも役立つスキルなので、産業カウンセラー資格というよりも、傾聴スキルを役立てていきたい。 民生委員に従事していた際は、学童、お年寄りなどの支援に活かされていました（無意識に）。

①あなたはこれからの人生において、産業カウンセラーの資格をどのように活用したいですか？

②その為にあなたは、どんな勉強や準備、行動を行っていますか？

経営者 自営	①人口減少や老化により、人間関係が希薄になってきています。できるだけ孤独の人を作らないようにしたい ②サークルなどの人間関係構築のためやメンバーがしやすい場づくり、ご近所の方とのコミュニケーションを取る。例えば、会ったら必ず挨拶をする、短い立ち話で話をする機会を持つ。知らない人でも挨拶をする、困っている様子の方には「お手伝いできることはありますか？」など話しかけてる
	①仕事の依頼があれば仕事を続けますが、引退時期も視野に入れています。 ②老害にならないよう興味のある研修を受講したり、幅広い年齢層と話したりしています。

10年以上～15年未満

現就労状況	回答
正社員 正職員	①特に考えていない ②他資格や他の勉強も検討
	①業務として行う、内部通報窓口の相談受け付けや、ハラスメント等の職場問題の再発防止対策の支援。②シニアカウンセリングの講座への参加
	①ビジネスとして有料相談を考えています。カウンセリングルームに勤務するか、自分で起業するか検討中です。 ②会計事務所の起業相談を受けたり、研修を受けています。
	①まもなく60歳で今の業界から卒業し、教育関係の業務に転職を検討しており、活用を図っていききたい。 ②大昔、目指していた教員の現状の把握等。
	①今の仕事で必要であるので、仕事に活かします。 ②研修を受講したりしている。
	①定年退職後に活動したい。講師など。90歳すぎてまで働きたい。 今後は定年75歳時代が来るとか。高年齢職員に対する研修に対応できるところはない。排他的特権層として活躍したい。 ②実技指導者としてカウンセリングについて深く考察している。
	①機会があったら。(稀に資格を必要とする転職先もあるので) ②どちらかというとキャリアコン技能士の勉強に傾いています。
	①生かしたいが場がない ②心理士資格取得のため進学
	①傾聴スキルを活かしたい ②情報をアップデートしている
	1.定年後 2.臨床心理の資料等の確認
	①本業の活動でいかしたい ②支部の研修への参加
契約社 嘱託社員	仕事で活かしています。
	キャリアコンの資格と併せて活用していきたいです。
	キャリアコンサルタントと併用
	①就労支援で。 ②更新研修への参加

①あなたはこれからの人生において、産業カウンセラーの資格をどのように活用したいですか？

②その為にあなたは、どんな勉強や準備、行動を行っていますか？

契約社 嘱託社員	①できるかぎり長くカウンセリングの仕事を続けたいと思っています。
	②常に世の中の動きを捉えるために必要な情報収集に努めています。
	①産業カウンセラーとして、労働者の心の健康保持に貢献していきたい ②昨今の労働者の離職理由の一番は人間関係によるハラスメントが多く、ハラスメント防止 コンサルタント資格取得を目指しています。
パート アルバイト	①傾聴スキルを普段の生活で。
	②支部研修参加。
	産業カウンセラーの資格だけでは充分とは言えないと考えています。 社会的認知も低い。臨床心理の大学院で学んで、いま臨床心理士を目指しています。
	①資格そのものというよりは、学んだ傾聴の姿勢を、職場や家族、友人との関係において、 また自己理解の上で活用したいと思っています。 ②機会をとらえて、（協会に特定せず）研修や学びの場に参加したり本を読んだりしていま す。
経営者 自営	①産業カウンセラー関係の勉強会への参加
	②会員報やHPは必ず目を通す
	①これまであまり活用していなかったが、名刺に書いてみようかなと思いました。 そこから話題が広がったり、自分を理解してくれる人が増えたりするかもしれません。
	②資格はスタートラインに立ったところ…と考えると、何らかの形で学び続けることが大切 だと思います。
	① 産業カウンセラーとして学んだ傾聴技法を活かし、対人支援だけでなく、日常生活の中で 自分自身の心に気づき、整えていくセルフケアの提供に活用していきたいと考えています。
	② セルフケアの一つの方法として「自分詩ジャーナリング」を位置付け、その技法の実践と 研究を進めています。
	傾聴を基盤として、自分の内面に耳を傾け、感じたことや思いを言葉にすることで自己理解 を深める方法として整理し、日本芸術療法学会で発表するとともに、論文としてまとめて提出 しました。
	①既に活用している（個人事業として） ②スキルアップのための知識習得（自学）
無職	①すでに活用しています（相談員業務に従事）
	②師匠のもとで、厳しく相談対応のトレーニングを受けました。
	①日々の業務において活用させていただいているので、引き続き研鑽に励みたいと思います。
	②定期的な研修及び振り返りです。
無職	①特に、カウンセラーとしての活動は考えていないが、普段の生活の中で活用していきたい。
	②基礎的なものを繰り返し行いたい、機会を見つけられていない。

①あなたはこれからの人生において、産業カウンセラーの資格をどのように活用したいですか？

②その為にあなたは、どんな勉強や準備、行動を行っていますか？

無職	①資格を仕事として活用することは、現時点では展望が持てません。 あくまでも私生活の中で、ボランティアや、ライフイベントなどに遭遇した時に活用したいと考えています。 ②学習はおろそかとなっているのが実情です。
	①機会があれば、まず再就職を考えてきましたが、一度家庭に入ると育児、介護、看取り、相続と続き、全く目度が立ちません。このまま社会復帰して資格を活かせそうにない状況が残念ですが、人生においては学んで本当に良かったと思うことばかりです。 ②以上から、生活の中でいつも「傾聴」を心がけて生きています。カウンセリングに係る最近の情報を定期的に取りるように心がけています。パワハラなどについて、ニュースを見た時には、どこに問題点があり、自分ならどのように当事者それぞれに対するか、など想定する機会にしています。

5年以上～10年未満

現就労状況	回答
正社員 正職員	①カウンセラーとしての支部ボランティア参加 ②支部などの研修受講
	①活動の場があれば活かしたい
	②最新情報（法律とかトレンド）の情報収集と個別の会話（相談や悩み）を聞くときは意識して対応する、他人にフィードバックをもらう
	①活用する機会はないと思います ②特に行っていない
	①会社内外での相談対応 ②資格の維持のための勉強
	①本業が落ち着いたら職場で悩みを抱えている人のカウンセリングをしたい。
	②今は年に1回程度シニア産業カウンセラーの講座を受講しています。
	①職場でのメンタルヘルスの対策に役立てたい。特に予防に注力できるように努めたい。
	②研修に積極的に参加し、職場の仲間にメンタルヘルスについて話題提供するなどして、意識してもらえるように心がけている。
	①企業でのカウンセリング ②セミナーに参加したり関係書籍を読んでいます。
契約社員 嘱託社員	①社員さんとの面談に活用 ②時々研修に参加する
	①現在活用中 ②Webでの各種講座の受講
	カウンセリングの効用の啓発活動
	①就職支援や管理しているスタッフの相談を聴く際に使用した
	②キャリアコンサルタントの資格も取得したいと思い調べている
	①カウンセラー資格での身近な資格 ②この資格が業務するうえでの条件にある為活用を考えていない
	①副業として ②心理学
	①仕事で活用している。
	②産業カウンセラーのロールモデルとなる方からお話や体験をお聞きして、自分に何が必要か確認している。

①あなたはこれからの人生において、産業カウンセラーの資格をどのように活用したいですか？

②その為にあなたは、どんな勉強や準備、行動を行っていますか？

パート アルバイト	①傾聴という業務に携わっていきたい。
	②今の仕事の上での研修と、産業カウンセラー協会の研修。
	検討中
	①今の職場で活かしている。退職後は傾聴ボランティアなどをやっていきたいと思います。
	②定期的に勉強会に参加したり、更新講習などを通じて常に自己研鑽を積んでいます。
経営者 自営	今のところは、あまり特に考えていません。
	①カウンセラーとしての活動
	②支部実施の研修はもちろん、自主的な研修への参加やカウンセリング対応時の振り返りの実施など
	①個人で相談業を営みたい。
	②特に何も出来ていない。有償・無償にかかわらず、カウンセリングの臨床経験を積み上げたいが、何処にアプローチすれば臨床に携われるかが分からない。
無職	①年齢的に仕事というより、プライベートな面で活用していきたいと考えます。年齢を重ねるにつれて頑固で意固地になるので。
	②支部、地区会での勉強会に参加していきたいと思います。
	①コンサル実務で、またはカウンセリングを必要とする個人や団体に対して。
	②現在の実務での応用活用。
	①個人的なカウンセリングはもちろん、それ以外の仕事でも相手の話をうまく引き出し、整理し、真に到達したいゴールのイメージの引き出しに活用したい。
	②何よりもまず自身のカウンセリングのスタイルの確立と発展のために手法を絞って勉強と実践に取り組んでいる。手法については概念だけではなくその手法による始め方から終わらせ方、様々な対処法まで一通りそろっているものに絞って実践している。
	①産業カウンセラー、キャリアコンサルタント、メンタルコーチなどを複数を組み合わせて支援に活用している
	②専門的なキャリアカウンセリング研究団体に所属してスキルを磨いている
	①私は産業カウンセラーの資格を、学習グループの活動において、自分の拠り所を示すラベルの1つとして活用しています。カウンセリング文化があまり根付いていない地方では、カウンセラーが怪しく思われることもあるので、ある程度公的な資格を初対面の段階で提示できるメリットは大きいと感じています。
	②私は学習グループでの勉強会のほかに、さまざまな心理療法の学びを深め、日々自己研鑽に励んでいます。具体的には、ゲシュタルト療法、ブリーフセラピー、交流分析、ナラティブ・セラピー、アサーション、オープンダイアログなど、幅広いアプローチを学んできました。専門書によるインプットはもちろん、リモート受講で全国の多様な講座にも参加しています。また、電話相談ボランティアでの活動は、傾聴の貴重な経験となっています。私にとって、人の話を聴く日々の場面の多くが、カウンセリングの経験を積む大切な場になっています。

①あなたはこれからの人生において、産業カウンセラーの資格をどのように活用したいですか？

②その為にあなたは、どんな勉強や準備、行動を行っていますか？

無職	①退職しているので、来年6月以降外部との接点として“産業カウンセラー”として活動できればと思っています。
	②研修受講。身近なところでは親の介護等で悩んでいる友人の話は傾聴の技法をもって対応する。
	①活用できるシチュエーションがあれば活用したいと考えます。
	②日々の研鑽の必要性は十分に理解していますが、実行できていません。
	①産業の分野において、支部登録カウンセラーとして活用したい。
	②支部活動や支部研修へ参加すること、社会情勢の変化、新法・新制度等について情報収集すること。日常生活を豊かに過ごすこと
	①特に考えてません。
	②日常生活の中で興味がある講座や講演があるときは参加するようにしています。

1年以上～5年未満

現就労状況	回答
正社員 正職員	①関わる人の心の健康や気持ちの言語化の手助けをしていきたい。
	②仕事の都合上なかなか研修等に参加できないが、研修に参加していきたい。また、心の健康という部分に関して精神保健福祉士の資格取得を検討している。
	①まだカウンセラーの資格をとっていない（受験済）のですが、仕事の一部として活用していきたい。
	②オンラインで傾聴の勉強会などに参加している。
	①現在の仕事を定年退職後も相談業務に関わりたいです。
	②キャリアコンサルタント資格取得を目指しています。
	①特に考えてはいないです。
	②行っていません。が、少しでも協会や産業カウンセラー仲間との繋がりを持つため、教室長主催の勉強会には参加しております。
	①家族や職場での人間関係において
	②常に意識し、振り返る
	①自身のキャリアアップ
	②シニア講座を受講し、更に深い知見を学んでいる。
	①退職後、企業カウンセリング、研修等開催できるようになりたい。
	②登録カウンセラー資格取得、研修講師資格取得、支部認定講師資格取得のため、支部研修受講、シニア研修受講、キャリアコンサルタント研修スタッフ、2級技能士受験準備など。
	①人材育成 職場環境改善 ②養成講座テキストを何度も振り返っている
	①就労支援コンサルタント業の起業 ②就労支援事業所でのボランティア活動等

①あなたはこれからの人生において、産業カウンセラーの資格をどのように活用したいですか？

②その為にあなたは、どんな勉強や準備、行動を行っていますか？

正社員 正職員	①現在の仕事でも不安をお持ちの方からの問い合わせがくるので、そういった方々に傾聴で安心してもらえるようにしていきたい。 ②現在は、講座で使用した教材を見返したりしていますが、今後は更に視野を広げて、様々な角度から傾聴することに関しての知識を増やしていきたいと考えています。
	①産業カウンセラーの資格を活かして、保護司や民生委員として活動できればと思っています。 ②今後キャリアコンサルタントも取得して、産業カウンセラーの学びも深めていきたいです。
	①仕事やプライベートで活用したい。 ②忙しい日々を過ごしており、勉強ができていないです。
	①社内での相談業務、働きやすい環境づくり ②社会保障制度の理解を深める、必要に応じて外部専門家の意見を聞く
	①相談をされたときの対応は、相手を思い遣ることであり、産業カウンセラーの技術が大切に思う。 ②自分成長のための講習会に参加している。
	①まだ見えていません ②関心がある研修等に積極的に参加
	①現在も学ばせていただきつつ技法を業務に取り入れています、業務自体が多忙で、さらに学んで資格を活かせるセカンドキャリアも検討しなければと思っています。 ②これから探索するところです。
	①資格を活かすことよりも学んだこと（学んでいること）を仕事で活かしたいと思っています。 ②支部主催の研修だけでなく、他支部の研修も受講しています。
	①まだ考えていません ②何も行っていません
	①専門的に活動するために活かしたい。 ②仕事で時間が取れず、機会は限られているが、東北支部から紹介を受けた講座を受けたり、本を読んだり、地域の勉強会に参加したりして、なるべく研鑽に努めている。
	①現在の業務を行いながら、副業としてカウンセラーの仕事をしたい ②面談員としての経験を積み、障がい者雇用の受け入れ職場としても推薦を受けている
	①自己啓発 ②図書、ネット
	①自分のメンタルヘルスの維持と仕事やプライベートでの人との関わりに活かしたい ②テキストを見返したりして復習している
	1 資格がありませんが、キャリアコンサルタントの資格を教育分野で活かしていきたいです。 2 あまりできておりません。日々の仕事で精一杯になってしまっています。
	①会社で悩んでいる方とか、メンタルをやられる前に話を聴いてあげられるような保健室を作って離職者を減らしていきたい ②まずは、受験して産業カウンセラーの資格を取ること。

①あなたはこれからの人生において、産業カウンセラーの資格をどのように活用したいですか？

②その為にあなたは、どんな勉強や準備、行動を行っていますか？

契約社員 嘱託社員	①生業としたいと考えています。
	②研修に参加したり、仲間との情報交換をしたりしています。
	①若い子に対して活用していきたい ②研修と職場での傾聴
	①資格があるからどうということではなく、身につけた基礎をブラッシュアップします。目の前に相談者があらわれたら、その方自身が少しでも前に進むための手伝いできればと思います。
	②最新の動向や情報を追うこと。関連分野も含めて、興味関心を持ち続けること。
	①今の仕事をする上でベースとなっていると感じています。資格を持っているだけでなく、誠実に謙虚に信頼されるように自己研鑽に励みたいと思います。
	②キャリアコンサルタントの養成講座で、さらに学びを深めています。
	①登録カウンセラーとして活動したい ②研修を受講中
パート アルバイト	①障害者も含めて悩んでいる人に寄り添いたい
	②傾聴力、語彙力を磨きたいので月1回の勉強会に参加している。
	お仕事の現状維持
経営者 自営	①できれば職場で生かしていきたいと思い、上司に相談中です。
	②本や新聞、メディア等で情報収集。
	①開業、臨床しています。いつか、カウンセラー育成も行いたい。
	②心理療法の研修に定期的に参加、最新の技法や理念について書籍を読む、クライアントからのフィードバック、AIでのデータまとめ。
	①顧問先企業様のキャリア面談等において活用やがん患者支援。
	②とにかく実務での経験値を増やす。
無職	人とのコミュニケーションに活用したいです。今は、生活環境が仕事と親見守りで手一杯なため、勉強や準備や行動する心身余裕はありません。
	①資格を活かしたくも自分の気持ちだけ、高齢である事に周囲の目も気にしながらの活動です。でも活動の場を見つけながら社会貢献したいと考えています。
	②横のつながりの中からアンテナをはりつつタイミングを見つけたいと思う。
	①私にしか出来ないメンタルヘルス改善、普及活動をしたい。社会参加できていない人の生きがい、働く場を作る、繋げる活動をしたい。
	②協会登録カウンセラーを目指し講座を受講するなど自己研鑽している。 また、今月からキャリアコンサルタント養成講習を受講開始し、国家資格取得を目指している。
	①あまり考えたことがなく、ぼんやりとですが、ボランティアでいいので対面のカウンセリングへ活かしていきたい。
	②登録カウンセラーの講座を受講。自己理解のためにフォーカシングの会で勉強。

①あなたはこれからの人生において、産業カウンセラーの資格をどのように活用したいですか？

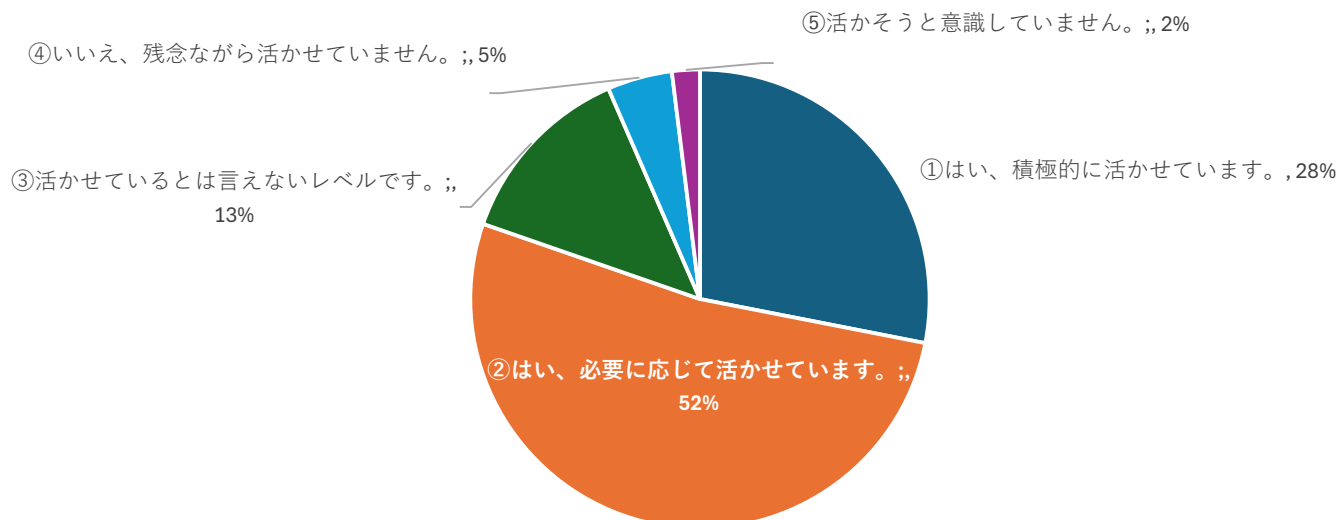
②その為にあなたは、どんな勉強や準備、行動を行っていますか？

無職	① 現在はキャリアコンサルタントとして相談業務に携わっていますが、今後もこの経験を大切にしながら、産業カウンセラーの資格や学びを生かしていきたいと考えています。できれば、件数は多くなくても、働くことや生き方に悩みを抱える方の話を丁寧に聴き、心理的な支援により近い相談にも携わってみたいと思っています。無理のない範囲で、一人ひとりの方と丁寧に関わられるような活動を長く続けていければと考えています。 ② 現在のキャリアコンサルティングの実務を通して、さまざまな相談者のお話を聴く経験を積んでいます。また、産業カウンセラーやキャリアコンサルタントとしての研修・講習への参加、カウンセリングや心理支援に関する学習も続けています。最近では、フォーカシングやトラウマ、職場復帰支援などについて学ぶ機会もありました。まだ十分とは感じていませんが、実践と学びの両方を少しずつ積み重ねながら、自分なりの相談支援のあり方を考えていきたいと思っています。
----	---

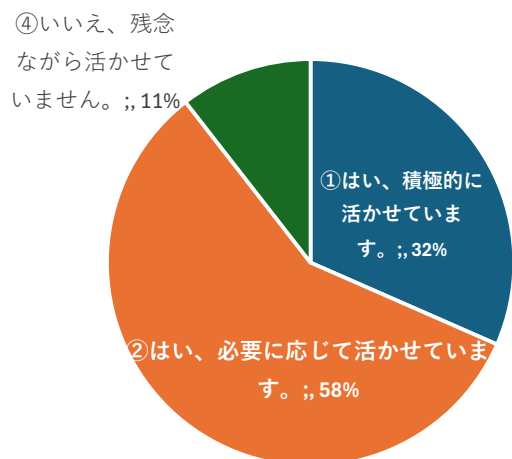
1 年未満

現就労状況	回答
正社員	①人事の資格として使う ②面談
正職員	①メンタルケアを含め従業員への対応に活用したい。②知識を蓄えている。特に法律系。

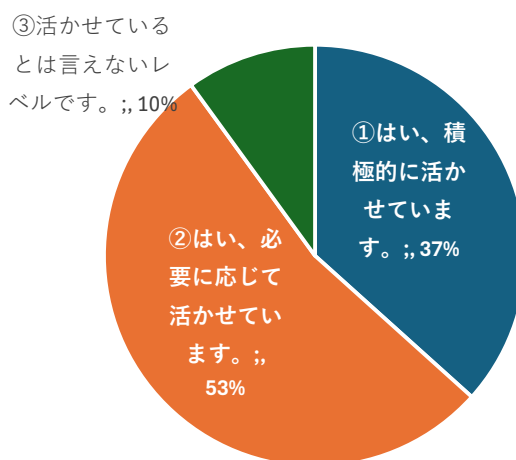
全体回答



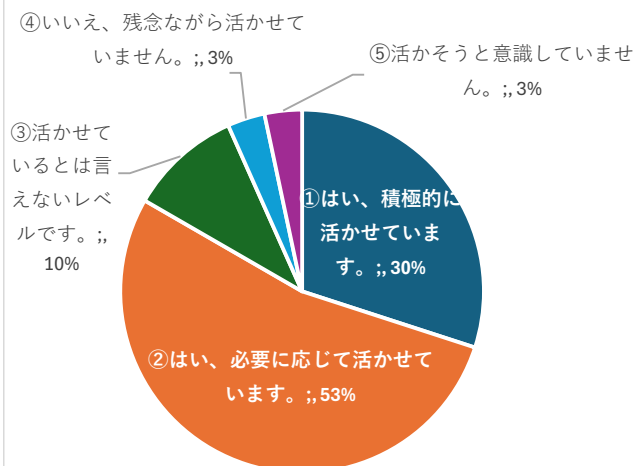
会員歴20年以上の方々の回答



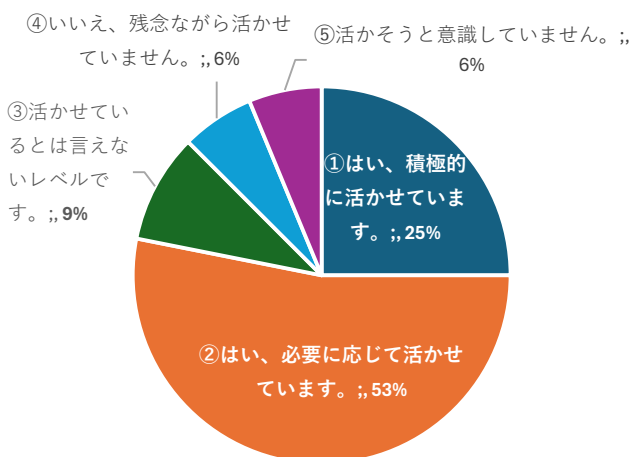
会員歴15年以上20年未満の方々の回答



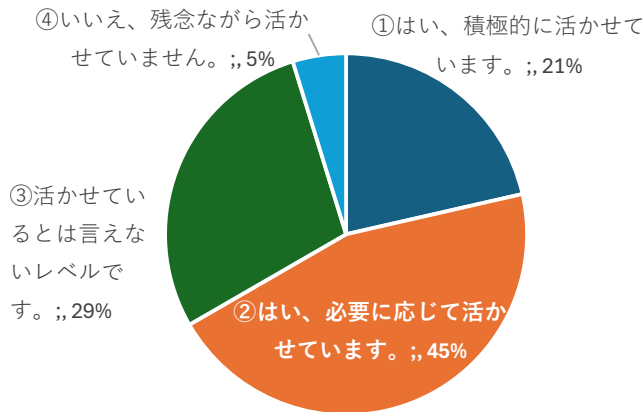
会員歴10年以上15年未満の方々の回答



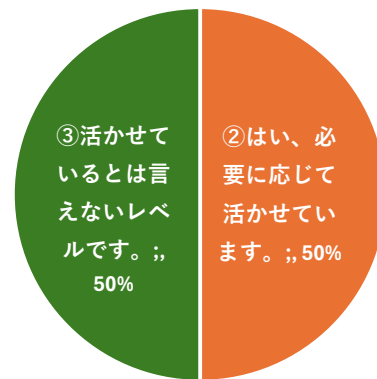
会員歴5年以上10年未満の方々の回答



会員歴1年以上5年未満の方々の回答



会員歴1年未満の方々の回答



前項の回答の理由を教えてください。

活かしている場合は具体的に、活かしていない場合は、何故なのかを教えてください。

20年以上

現就労状況	回答
正社員 正職員	業務上必要なことだから
	人との付き合いの上で重要と思うため
	現職が激務でそれどころではない
	心理学が好きだから
	民間企業でのキャリア相談。
契約社員 嘱託社員	カウンセリングの機会はそれほど多くは有りませんが職場の良好な人間関係の構築の為に少しは活かしております。
	一番活かしているのは、仕事の現場だと思えます。
	自分自身の勉強不足を感じており、もっと資格を活かすための勉強する時間を増やす努力が必要と思いながら、行動に移していないことだと思ってます。
	キャリアコンサルタント資格があるからこそ、継続できる業務についている
パート アルバイト	傾聴のスキル
	必要に応じて、この場面では説得や説明よりもその人の気持ちを聴くことが大事と思ったときはそのようにしています。
	説得が必要と思ったときは粘り強く関わっていきます。
経営者 自営	仕事や生活に活かしているため。
	自分の思考上活用しています。
	仕事に活用しています
	生業として心理学の知識は活かしてます
	仕事以外にプライベートでも、心理学で学んだことを心掛けています。
無職	企業から委託された集合研修等において、グループワーク等として活用させていただいている。また、研修等の経験を重ねる毎にスキル向上が図られていると考えています。
	いろいろな場面で使えている

無職	前述しましたように在職中は、職員のキャリア支援や人材育成、障害児の家族支援の場で活用していました。退職後は、家族との日々のかかわりの中で自分の行動変容を考える機会が多く、その際に役立っているように思います。
----	---

10年以上～15年未満

現就労状況	回答
正社員 正職員	人として、周囲と対等に、を意識している
	職場問題の解決支援の際に、自身をもって所属長に提案ができる。
	自己理解を深めることでセルフケアできている。特に、深く落ち込むことなく、気持ちの切り替えが早くなった。
	現状の接客業務で苦情、クレーム対応に活かされています。
	相手のちょっとした仕草や言動の変化に気付け、今どんな心理状態のか見立てられる
	人と関わる時全般に使っている。カウンセリングまではしない。
	自分の日常生活や感情を、そこまで論理的に考えたくない、という気持ちがあるからでしょうか。
	活動の場がないため
	行動、円滑な人間関係
	場面が無い
契約社員 嘱託社員	サービス業の仕事をしていますので、お客様との対話で活用しています。
	自分の動揺する度合いを感じながら接することができています。
	コミュニケーションに役立つものである。
	ケーススタディとして対応しています。
	仕事で活用している
	相談業務なので。
	家族や友人との付き合い方、関係性を客観的に思考できる。
パート アルバイト	自分と異なる考え方を行ったん受け止めることができる。
	個人面談や電話相談の仕事を受けているので。
	活かしているレベルなのか判断出来ない。
	見立てる場面で。
経営者 自営	他者とのコミュニケーションにおいて、傾聴の姿勢を心がけることは既に習慣となっています。自己満足にならぬように心がけなければなりません、人と心の交流ができたと感じることは、私の喜びでもあります。
	仕事の時に使用しています。
	技法などは、職場でも身近な人に対しても使っています。
	心理学は大学で概論を学んだくらいで、産業カウンセラーの勉強でも少しかじったくらいであり、とても学んだとは言えず自分の興味のある分野について今後学んでみたいと思っています。
	理論として正確に実施しているわけではないですが、私の相談対応のベースは「行動療法」です。心理学（この場合はカウンセリング理論）の裏付けがあると、相談対応もスムーズに進みます。

経営者 自営	産業カウンセラーとして学んだ傾聴技法を活かし、対人支援だけでなく、自分自身の心に気づき、整えていくセルフケアの提供に活用していきたいと考えています。 その理由は、カウンセリングの実践を通して、悩みや問題が深くなってから支援するだけでなく、日常の中で自分の気持ちや思いに気づき、自ら心を整えることの重要性を感じてきたためです。 具体的には、傾聴を基盤として、自分の内面に耳を傾け、感じたことや思いを言葉にする「自分詩ジャーナリング」をセルフケアの一つの方法として位置付け、実践・指導しています。指導の際にも、相手の言葉を評価や否定をせずに受け止める傾聴の姿勢を大切にしています。 さらに、この実践を研究として整理し、今後も、産業カウンセラーとして学んだ傾聴技法を基盤に、自分自身の心に気づき、言葉にすることで自己理解を深めるセルフケアの方法として、「自分詩ジャーナリング」の実践と普及につなげていきたいと考えています。
	活かすことが顧客とのコミュニケーションを図る上でメリットが大きいため。
	仕事から、日常的に事業所や労働者からの相談を受けているためです。
	自力で活かせる場所を使っています
無職	普段の生活の中で。常に活かさなければと考えるとつかれるので、「人の話を聞きましょう」を「人の話を聴きましょう」として活用する。相談が必用な場合が発生した時は、その場を進める判断も活用している。
	様々な年齢、状況の人に対する時に、意識的に当事者の感じていることにフォーカスしようとし、「その人そのままのありようを受け取ろうとする姿勢」に活かしていると実感があるから。
	ボランティアや、ライフイベントなどで、傾聴している自分を感じる事が多々あり、学習したことは役だっていると感じています。

15年以上～20年未満

現就労状況	回答
正社員	理論と企業組織の実態に乖離があるため
正職員	自分の生きるモチベーションを気づくことができるため
契約社員 嘱託社員	日常生活を送るうえでの参考になっている 産業カウンセラーとして、来談者中心療法を中心に様々な心理学知識の引き出しを少しずつ広げることで、日々のカウンセリングが変化していると感じます。日頃の生活では、自我理解・自我受容をはじめとして、セルフケアに役立てています。 対人関係や自身の心の整理などにいかしていると思います。 学生との面談や担当授業その他で活かしています。 理由は特にありません。その場、相手にあった言い方を模索するのにも役立つからでしょうか。 人間関係特に初対面の方 相談業務や周りとのコミュニケーションに活かしている 自身が不適合により落ち込んだ時のセルフカウンセリングに活かしている

前項の回答の理由を教えてください。

活かしている場合は具体的に、活かしていない場合は、何故なのかを教えてください。

契約社員 嘱託社員	仕事に活かしている 自身のストレス管理。メンタルヘルスを保つため、得た知識を使ってケアしている。 自信がないからだと思います
パート アルバイト	職場の人間関係、家族との関係に活かしている。人と関わりながら生きていれば、どのような場でも活かせるチャンスがあるように思います。 仕事に結びついております。 明確な相談場面でなくても、例えば身近な人の悩みを聴くことがあった時などある程度アドバイスできている 仕事で活用しているからです。
一般派遣労働者	仕事・地域・家族親戚だけでなく、人と交渉するときなど、人と関わる時全般に。
経営者 自営	人間関係トラブル回避 相手を思いやるときに心理学が背景にあると客観的にも理解が深まる 生活の糧になっています。 会社勤めをしていた時に、部下との面談で活かすことができた。 いつも自分がカウンセラーの状態ではないので、ラポールが取れなかったり、傾聴できなかったりする 心理学の知識を日常的に生かす場面がないので。 6年間の民生委員（地区の会長も）として、地域包括センターや福祉施設関係者との連携に活かされていました。 仕事の業務で活かしています。

1年以上～5年未満

現就労状況	回答
正社員 正職員	傾聴スキルは、関わる人の自立を促す第一歩だと考えています。自分の人生を自分らしく生きるためには、自分がどうしたいのかを明確にする必要があると思います。誰に対しても産業カウンセラーのマインドで接しているの、直接的にカウンセラーの仕事に就いていなくても活かしていると考えています。 仕事が相談業務なので、それに活かしている。 困り事のかかえている方に気付き、挨拶や声掛けをすることで孤立化しないように働きかけています。 「傾聴」や「アサーション」といった手法を意識はしています。が、活かしていると胸を張っていえるレベルではなく、役に立っている位のレベルかと…。 講習で指導いただいた時のことをいまだにいつも思い出している 現在の職務内容にフィットしていないから。 話の聞き方をかえている。話をじっくりと聞いてほしい人に対しては、傾聴に徹する。将来について不安を抱えている人に対しては、キャリアコンサルタントの展開を意識している。 人の気持ちを大切にしようと思えるようになった。

正社員 正職員	アンガーコントロールや傾聴姿勢は自身になかった意識で、EQが上がったと感じています。
	仕事で問い合わせや相談を受けることがあり、その中で相手の気持ちに寄り添うことができるようになった。また、クレームがあっても慌てたり不安になるばかりでなく、相手がどのような考えや気持ちになっているか考えられるようになった。職場内での人間関係について、自分自身の気持ちや考えを受け止めて客観的に考えるようになった。
	学んだことを活かそうと意識しているわけではないので、目に見える形で活かしているかと言えばまだそこまでいってないと感じています。
	人事の仕事をしているため、社員からの相談などを受けています。
	客観的な考え方をすることで、必要以上に悩むことがない
	日常的な、会話で、ふと相手を傷つけていないか、真意をくみ取っていないか、振り返るときに活かしています。
	日々の仕事に追われ、心に余裕が持てないため。
	主に学生との間で、日頃の対応から相談に関わる場面まで、広く活用させていただいております。
	仕事で意識的に活用するようにしているためです。
	本来の業務において特段必要としない
	4月に異動して仕事の内容が大きく変わり、生活リズムの変化や仕事で接する人の反応、それらに起因するモチベーションの低下など、メンタルヘルスが疲弊していると感じている。学んだ内容を自分自身にうまく活かせられれば改善の見込みもあるかもしれないが、改善できていないため。
	会社内での面談員として活動、復職支援にも対応
	部下とのコミュニケーション
	人とのコミュニケーションを客観的に捉えたりしてよい関係性を維持できている。
	目の前の仕事で手が回りません。
	総務として、相談業務や面談業務がありますが、まずは傾聴するところを大事にしています。
契約社員 嘱託社員	内省する時間を取ります。その事で自己一致できるようになります。
	まだ修行が足りないと実感する場面も多いから
	子どもの教育（ボランティア活動）や、業務においては企業の方のコンサルティングまでいかないうちで活かしていると思います。
	相談を受けることが多いと感じています。
	仕事上のコミュニケーションに活かしている
	相談件数は少ないですが、少しでもレベルアップしたくて模索中
パート アルバイト	実感がない
	上司に相談中です。
経営者 自営	開業、臨床に使っているのです。
	自分の生活とはあえて切り離しているため。
	今は、生活環境が仕事と親見守りで手一杯なため、勉強や準備や行動する心身余裕はありません。
	友人の困り事等などの会話等でも

前項の回答の理由を教えてください。

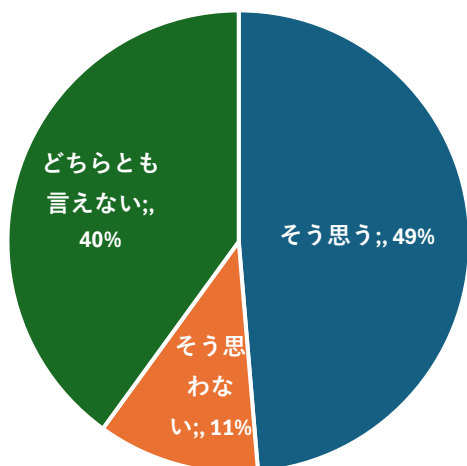
活かしている場合は具体的に、活かしていない場合は、何故なのかを教えてください。

無職	ほっと一息など相談支援に参加したり意欲に繋がっていると思う。
	今まで意識していなかった自分に気づいていくことで、生きることの景色が楽しく変化していく体験をしています。俯瞰してみる自分から見てくる世界が変わることが楽しいです。
	現在、病気療養中のため
	キャリアコンサルティングの仕事では、相談者の話を丁寧に聴き、その方の気持ちや考えを理解しながら関わることを心がけており、産業カウンセラーとして学んだ傾聴の姿勢や技法が活かされていると感じています。 仕事以外では、十分に活かしているとは言えない部分もありますが、相手の立場や気持ちを考えようとしたり、自分自身の気持ちを振り返ったりする際に、これまで学んできたことが役立っていると感じることがあります。

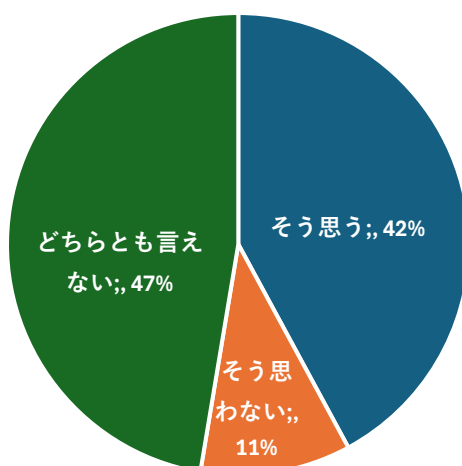
1 年未満

現就労状況	回答
正社員	産業カウンセラー自体の活用ができていない
正職員	自分のストレスケアに役立てている

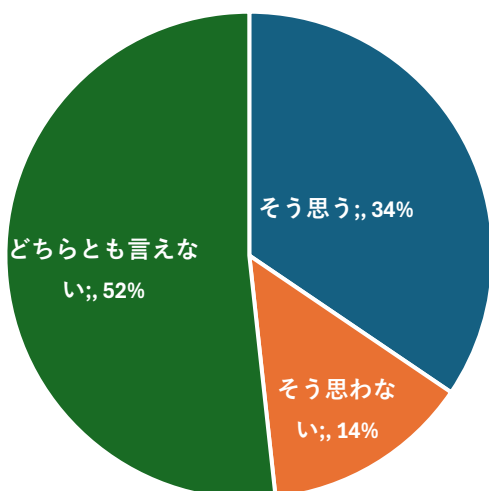
全体回答



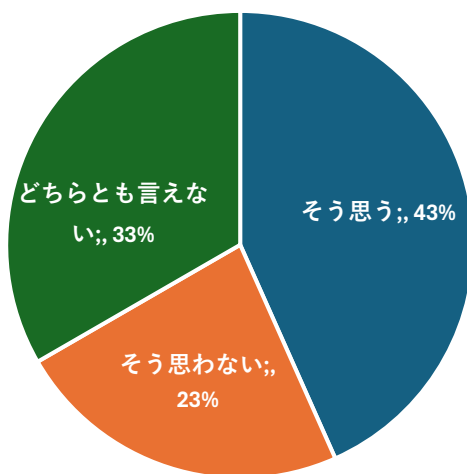
会員歴20年以上の方々の回答



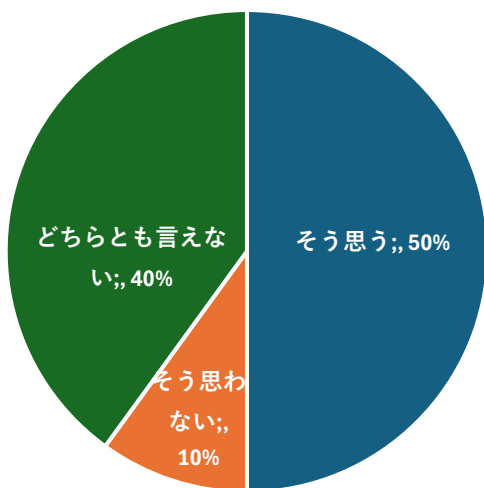
会員歴15年以上20年未満の方々の回答



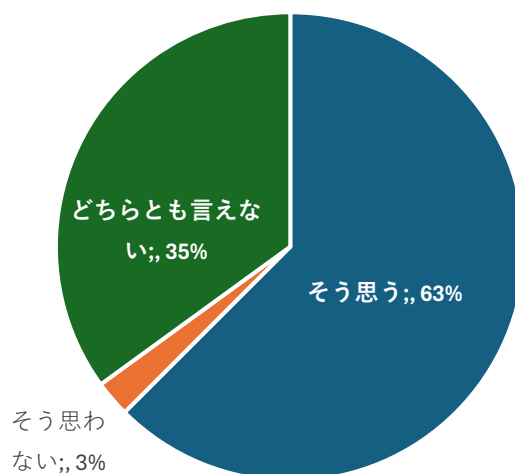
会員歴10年以上15年未満の方々の回答



会員歴5年以上10年未満の方々の回答

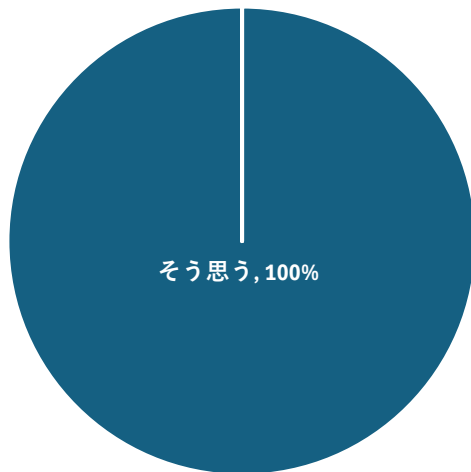


会員歴1年以上5年未満の方々の回答



資格は持っていても、なかなか活かせる機会がありません。
スキルアップをはかるにも専門的な講座ばかりで参加に躊躇してしまいます。皆さんはどうですか？

会員歴1年未満の方々の回答



事務局質問	前項の質問と関連し、気軽に手軽に参加できそうな講座とはどのようなものが考えられますか？
-------	---

20年以上		
前項選択回答	現就労状況	回答
そう思う	正社員 正職員	リスキルのためのワークショップ。 参加しやすい金額帯の勉強会や面談実習など 今を語り合う安心できる場があれば良いと思う
	パート アルバイト	エンカウンター あえて言うのなら「夫婦喧嘩を回避するには？」とか、「嫁姑の問題を減らすには？」とか、「ハラスメントを受けないためには？」とか、「これって倫理違反？」でしょうか？
	契約社員・嘱託社員	軽い食事を交えての講座や、講座あとの簡単レクを行うなどはどうでしょうか
	経営者・自営	ピアカウンセリング、練習会
	無職	場面に応じた対応や、困ったことがある事例等についての話し合いの場などがあれば嬉しいかな
そう思わない	経営者・自営	カルチャーレベルでの実施であればお手軽感はあるかもしれないが、産業カウンセラーと言えるのか疑問。
どちらとも言えない	契約社員 嘱託社員	気軽に参加できるものという前に自己分析を通して自分に足りない部分はないか、やってみたい分野は何かという部分も講座選定の基準と成り得ると感じております
		参加費が安価で、WEB受講やオンデマンド受講など、受講時間が1時間程度などだと手軽な参加が見込めそうに思います。
		専門性が自己研鑽につながるので、気軽ばかりでは物足りない

どちらとも言えない	経営者 自営	傾聴訓練の実施など
		手軽さは個人の価値観によるものであり、答えられない
		日常で生かせる心理学ではないかと思います。
	無職	様々な立場や考え方などがありますが、結局どのような内容でも自分が意味付けして価値のあるものにしていかなければならないと考えます。気軽に講座であっても楽しく学べばうれしいですし、若干ステップアップしている内容も興味深いものがあり、刺激になります。 参加しやすい講座としては、高齢者の傾聴ボラを体験しながら、それを振り返る機会など実践的な内容があると学びやすく、身近な実践の場の開拓にもなると思います。

15年以上～20年未満

前項選択回答	現就労状況	回答
そう思う	正社員	傾聴ロールプレイング
	正職員	平日 1 8 時くらいから 1 時間程度のセミナー
	契約社員 嘱託社員	ベテランカウンセラーさんの力をお借りできるなら、経験談をうかがいながら、事例の理解を一緒に深めるようなグループワークができたと思います。
		ボランティア活動関連
		時間は短めで事例を元にしたもの
	パート・アルバイト	短時間、オンライン、視聴メイン（話し合いやワークがないもの）の講座など
	経営者・自営	専門分野にとらわれず、実践に必要な包括的なスキル
		気軽に手軽にというよりも、カウンセリングの理論も様々だと思うので、こういう系統のカウンセリングに興味がある場合は、こういう流れでこういう講座で勉強していくといいとか、要するに講座同士の関連性などを示してくれると参加しやすい。
アデクション関係の講話、会員の方で独立型カウンセラーの経験談とか		
そう思わない	経営者・自営	気軽に手軽な講座で何を学ぼうとしているのか見えません。興味を持ったものなら少し上のレベルでもチャレンジしなければ自分のものにならないと思います。 おそらく多くの人が感じているのは、カウンセリングで収入を得たいがどうしたらいいかわからないということだと思います。実務経験は大事です。実務経験がないから何をどう学んだらいいか見えてこないのだと思います。そういうことであれば、どんな小さなことでも実務経験を積めるのであれば積極的に参加してみることをだと思います。（まさにクランボルトの計画的偶発性理論の実践ですね。）
どちらとも言えない	契約社員 嘱託社員	実際に仕事に活かして就労している方から、これから就労を考えている人への情報交換の場

どちらとも言えない	契約社員 嘱託社員	手軽さでいえば、オンラインもしくはオンデマンド形式であると受講しやすいと思います。
		自分に必要かどうかなので、専門的であっても興味があれば参加するように思うため、日常にいかせる点を押し出していけば、気軽に参加する人が増えるように思います。気軽さでいうと、参加費との兼ね合いもあるのかなと考えました。
	パート アルバイト	最近少し増えてきたように思いますが、短時間で安価なものはやはり手軽に感じます。
		内容については人によって様々な考え方があるのかと思います。わかりやすいことと言えば受講料ができるだけ安いことも重要かと思います
	一般派遣労働者	・実習時間が多く、講師とその内容からだけでなく他の参加者の発言からも情報が得られる。
		・会場まで近い（所要時間が短い）。
	経営者 自営	いい案が浮かびません。
		いろいろな講座を用意することができればよいと思うが、予算面で厳しいのではないかな。

10年以上～15年未満

前項選択回答	現就労状況	回答
そう思う	正社員	近くで開催される少人数の勉強会。
	正職員	短時間、無料な講座
	契約社員	生活の中で活かせる講座を希望します。
	嘱託社員	地元開催とZoom研修の機会があれば、気軽に参加できそうです。
	パート アルバイト	エンカウンターグループ、日常のコミュニケーション講座、ハラスメントケア
		自身の体調不良や介護が始まり、時間が取れない状態であるため、本当はオンラインでもカフェなどに参加したいですがいまは頑張りすぎないような講座などがあるかだけはチェックしています。
	経営者 自営	会員が気楽に集まることができる機会を提供し、そのコミュニケーションの中でニーズを把握してはどうでしょうか。
	経営者 自営	専門性をさらに深めることも大切ですが、日頃から自分自身の心の状態に気づき、ストレスを整える「予防的なセルフケア」の視点も重要だと考えています。 その一つの実践方法として、日々の気持ちを短い言葉で振り返る「3行ジャーナリング」を起点に、自分の思いや気づきを言葉にしていく「自分詩ジャーナリング」を、セルフケア支援の一つの技法として習得できる機会が考えられます。 これは単なる講座としての提案ではなく、産業カウンセラーが学んで

そう思う	経営者 自営	きた傾聴技法を活かしながら、誰もが日常的に取り組めるセルフケアとして実践・指導できる方法として位置づけるものです。「自分で明日を創る」という視点を大切に、産業カウンセラーの活動領域を職場や相談場面だけでなく、日常のセルフケア支援へと広げる一つの方法になるのではないかと考えています。
	無職	技術的なものは、zoomなどでできるが、対面での基本的なものが必用かと思う。いろいろな先生方を揃えるのもいいかと思うが、支部にたくさん指導者がいるのにそれを活用しないのはもったいないと感じている。資源（失礼かな）の活用。
		産業カウンセラー養成講座での「人の話を聴く」体験は、大学に行かなくても心理学を専攻しなくても、それを体験できるということは、思っている以上に素晴らしいことなのだと思います。 学生、プレママ、子育て中、介護中の人などから「どんな勉強をしたのか」尋ねられるたびに、そう感じてきました。 もしかしたら、資格を持っていて活用できずにいる人だけでなく、いっそのこと様々な人に「聴く体験」を楽しんでもらう？ような講座ができれば良いかもしれないと思います。 もしかしたら就職準備講座、結婚や出産、復職準備講座など、『聴く』ことが有益なライフイベントを控えている人のためにも活かせるかもしれないと思います。 産業カウンセラー養成講座を薦めるときにも、お試しで受けられるような一般向けのような「聞く」と「聴く」の違いを感じられる体験ができる、実体験型講座があるといいなと思っています。 曖昧で申し訳ありません。 私ごとですが、仕事から離れてしまっているので、専門性が深いと自信がなく、参加するのが申し訳なくなってしまう、参加できずにいます。たまに、集中して「聴く」時間があつた養成講座の場面を思い出し、短時間でもできるなら、ブラッシュアップというかりスキリングしたいと思っています。
		学習サークルが実施する勉強会など。
そう思わない	正社員 正職員	そう思わないため、気軽に手軽に参加できそうな講座開催は必要ないと考えます。専門的な講座を優先的に開催してください。講座参加に躊躇している方は、言い訳にすぎないのでないのでしょうか。なぜカウンセラーの資格取得を目指したのか、当初の気持ちを振り返ってみては、いかがでしょうか。 自分が興味を持つ講座に対してそのように思います。また知っている方が参加または講師を担当されるのであれば参加しやすいと思います。
	契約社員・嘱託社員	カジュアルミーティング

前項の質問と関連し、気軽に手軽に参加できそうな講座とはどのようなものが考えられますか？

そう思わない	契約社員 嘱託社員	私自身は、専門性を高めることに重点を置いていますので、今のままで良いと考えます。
	パート・アルバイト	気軽とはどういう意味ですか。 心理の仕事に気軽に参加するというのは一般の方ならそれでいいでしょうが、会員が気軽にというのは理解できません。
	経営者・自営	「正確でなくてもよいので、実務に使える内容にする」。要点だけを取り上げて、細かな説明は割愛し、「アウトライン」だけを理解できるようにします。面接実習ではなく、「対話例の読み上げ」なども体験学習に当たるので、効果があります。 「具体的な学問領域」ではなく、「ハードルの低い講座設計」が大切ではないかと思います。
どちらとも言えない	正社員 正職員	生け花やカラーコーディネーター的なもの？
		ちょっと考えられない
		だいたい気軽な講座だと思う。シニアとかでない限り、値段も比較的安い。
		時間や場所など、物理的な制約でなかなか参加できないことは多いですが、内容的にはそれほどハードルが高くない、興味深い講座を実施しているように思います。
	契約社員 嘱託社員	参加ハードルが低いものと社会貢献につながる活動に直結するような講座
		相談実習があると同一資格を持つ方だと緊張するという方が多いのでは。グループワークにとどめた実例などの講座。
	経営者 自営	初級向けのロールプレイとか、グループでの傾聴の練習会などもおもしろいかもしれません。→あまりアイディアがなく、すみません。
		意見交換会など
		実践力をつける工夫。 お金をもらいながら学ぶつもりなんて考えがよくない。

5年以上～10年未満

前項選択回答	現就労状況	回答
そう思う	正社員 正職員	夜間仕事帰りに参加できるもの
		数時間か半日程度などの講座
		事例検討会、カウンセリングロールプレイなど
		参加型ワークショップ
	契約社員 嘱託社員	逆ハラスメントの講座などをききたい、普通の注意でもハラスメントだとさわぐ派遣社員がいて何もいえなくなるケースもあるので
		・経験、体験されての講話は納得感があり、腑に落ちるのでそのような話のできる方の講座
		・講師一方通行でない、双方の対話のある講座 ・2、3時間の短時間の講座

そう思う	契約社員 嘱託社員	会員同士の交流から何が受けて良かったとかこの講座面白いとか情報共有の場がないと受けにくい。
	パート アルバイト	登録カウンセラーなどはハードルが高いと思いますが、その他は単発の研修が多いと思います。その間の研修、例えば産業カウンセラーの資格取得後のプレカウンセラー的な面談の研修があればいいと思ってます。できれば数ヶ月単位で長く学べるような。
		会員は無料にして有名な先生の講義を聞きたい。
	経営者・自営	基本的なものを振り返る、傾聴など
	無職	学習グループで実施しているような、緩やかな形式の勉強会はいかがでしょうか。毎月有志が集まり、仲間が講師になって自分が勉強していることを紹介したり、気になっている本と一緒に読んだりする程度ですが、おかげさまで10年続いています。「産業カウンセラー」は働く方とのご家族を支援するため、カウンセリングの対象は多様です。まずはカウンセラースキルを持つ人を社会に多く輩出し、地域で心理学の素養を持つ方々が増えれば、社会はもっと良くなり、もっと気軽にカウンセリングを受けられる地域になるのではないかと考えています。
		基本は養成講座で学んだ傾聴の取り組みを反復継続することと考えます。カウンセラー役、クライアント役、観察者によるロールプレイ法による面接の体験を反復継続し、気付きの視点や見立て方を学ぶ。そのような体験を重ねる中で相互の情報交換を活性化し、自己理解を深め、ひいては目標の設定につながるものと考えます。
そう思わない	契約社員・嘱託社員	1時間程度の講座。
	経営者・自営	会員同士のお茶飲み話のようなものは、不要と感じる。
どちらとも言えない	正社員 正職員	気軽に参加できる講座。。。難しいですね。クライアントが抱える問題の大きさに比例したカウンセラーの技量を担保できているのか？そこに自覚的か？本気でカウンセリングをすればするほど慈善事業や善意のみでは携われないと感じるだけに「気軽に」と言われると思いつかないです。
		講師の先生から知識をいただく形式ではなく、グループで話し合うようなワークショップのようなものの方がいいのではないと思う。オンラインもいいが、やはり対面の方がより仲間意識が高まると感じる。
	契約社員・嘱託社員	個人的には気軽だと思っています。しかし参加がそれなりの金額なので気軽とは言えないものもあります。
	パート アルバイト	法改正など時機にあった対応
		オンラインによる講義
		カウンセラーとしてではなく、日常生活の中で役立つ傾聴活用など

どちらとも言えない	経営者・自営	個人的には専門的な内容をより深く学びたいという意識が強いですが、資格を取得したての方であれば傾聴力をさらに高めるような講座や、今の社会の労働者の働き方や悩みを知るような講座などはどうでしょうか。
	無職	オンラインの講座は手軽でしょうが、気軽とは言えない。対面での講座を増やしては如何でしょうか。隣の席の方とのちょっとした会話が情報交換にも繋がるので良い。

1年以上～5年未満

前項選択回答	現就労状況	回答
そう思う	正社員 正職員	オンデマンドや短時間で同じ内容を定期的に行う等
		傾聴の勉強会
		ちょっと思いつかないです。
		短時間でもいいので、無料で参加できるセミナー
		会員交流サロン（オンライン）をもう少し広く周知し、参加者が広がればそこが悩み共有の場になるのではと思う。私が参加したときは、3～4名程度の参加者しかいなかった。
		様々な手法による講座。
		資格を活かしているケースを紹介してもらおう。金銭面での負担も気軽なものがよい。
		仕事が平日の夜まであるので、休日に参加できる講座がより多くあると参加する機会ができると思います。
		産業カウンセラー資格を取得でき活かしているつもりでいます。取得後のフォローアップ研修などあればうれしいです。
		八戸在住なので、盛岡とか青森の講座が増えればいいです。
		ゲーム性のあるもの。
		オンライン講座の形式により自分で時間をやりくりできると、より気軽に参加することができると考えます。
		カウンセリング技法から離れていると、講座においてセッションが予定されている場合、参加をためらってしまう。見学だけなら・・・。
		3時間程度の講座
		認知行動療法など、実践も含む初歩的なものがよい
		ネットでの案内
		平日の夜19時以降や日曜日に開催される講座で、振り返り学習のようなものがあればいいと思う。養成講座を受けたきりで、すでに忘れてしまった知識や技能もあるので、深める講座というよりは、復習がしたい。
		養成講座の時のような、ざっくばらんななんでも事例を話せる場。
	契約社員	会員が自発的に起こす倶楽部のようなものでしょうか…
	嘱託社員	事務局で勝手にグループ分けをして茶話会（座談会）

そう思う	契約社員 嘱託社員	2、3時間程度の短時間の研修 オンラインは良いと思うのですが、近場で対面で出来る講座があれば良いと思う
	パート アルバイト	産業カウンセラーの資格をどのように活かしているのかを聞きたいです。以前そのような内容の講座だと思って参加したことがありますが、結局そのような内容ではなかったの。
	無職	あんまりお金の掛かる講座ばかりだと経済的なこともあるので、気軽に集まって研鑽し合える日などがあると参加しやすいと思います。
そう思わない	正社員 正職員	カウンセリングを業としたい場合、専門的な講座でないといけないと思います。 気軽に参加できる講座に何を求めているのかわかりません。 養成講座では傾聴のロールプレイをたくさんしましたが、合格してしまうと相手がおらず練習ができないので、「対面での傾聴ロールプレイの復習」はお願いしたいです。
どちらとも言えない	正社員 正職員	養成講座の同期が集まれるような講座があれば、気軽、手軽と感ずるのではないのでしょうか。
		オンデマンド配信研修や、対面・オンラインのハイブリッド型研修。
		短時間で参加でき、実際の相談場面に結びつくような講座があると参加しやすいと思います。 例えば、傾聴の振り返りや事例をもとにした意見交換など、日頃の実践を振り返ることができる内容です。オンラインや短時間で参加できる形もありがたいと思います。
	契約社員・嘱託社員	思いつかない
	経営者・自営	例えば、実例を参考にしたセッション練習はいかがでしょうか。
	無職	思いつきませんが、例えば講習費は、私が他に持つ複数資格に比べて、とても高く感じています。
		オンラインで東北支部だけの楽しいテーマでの集い等の企画も有りかなと考えます。

1年未満

前項選択回答	現就労状況	回答
そう思う	正社員 正職員	逆にオンラインでなく横のつながりができるような感じの講座がいいです。市と連携するなど

会員質問	多分ですが、これから急速に人工知能が高性能化し、今の仕事の多くを代行するようになります。そんな時代に、人による心理カウンセリングは、淘汰されるという予想もあります。そのような環境でもこの資格の取得者を増やしていくため、どのようなアプローチが有効だと考えますか？
------	--

30歳代

支部会員歴	現就労形態	回答
5年以上 ～10年未満	正社員 正職員	AIはその人に都合のいいことを示すだけで、本当に必要なことを届けているのか疑問な部分が多い。やはり、この分野に関していえば人間に勝るものはないと思う。
	パート アルバイト	人工知能が高性能化すればするほど、カウンセラーとして求められる能力は高度化すると思いますが、淘汰されることは無いと思います。 型にはまった回答やロジカルな整理、一般的なアドバイスなどの「パターン化された関わり」はAIが代替できるようになります。だからこそ、人間同士でしか成り立たない、一緒に感情を共有し寄り添う心地よさ、時間を共有しながらその場の空気を一緒に味わうこと、カウンセラー自身の人生経験があって自己一致したうえでの関わり、これからますます重要視されていくと思います。自己研鑽もますます大事だと思います。
1年以上 ～5年未満	正社員 正職員	人の気持ちは言語化できない、できていない部分にこそ表れるものもあるので淘汰されないとは思いますが、自分の人生の指針を自分で決める、として対他人ではなく、対自分のスキルトレーニングとしても社会人スキルとしても有効なことを打ち出すとかかな、と思います。
		クライアントが救われるのは「言葉の正しさ」だけでなく、「生身の人間が、自分のために時間と心を割いてそこにいてくれる」という体験そのものだと思う。これはAIが情報として模倣できても、存在としては代替しにくい価値であり、カウンセラーは、クライアントの人生に対して倫理的・専門的な責任を負う主体であると思う。そのため、AIは責任の主体になれず、今後も個人カウンセリングだけでなく、組織開発・ファシリテーション・環境調整へと役割を広げ、「産業カウンセラー＝面談する人」というイメージから、「働く場のWell-beingをデザインする人」へとブランドを更新していく必要があると感じる。
		人の温かみや表情などAIでは感じられないものがある。AIとの対話では脳の活動も一部しか刺激されないと脳科学者が言っていました。脳の仕組みも理解して科学的な面からも対人によるコミュニケーションやカウンセリングが必要と学ぶ必要があると思う。
1年未満	正社員・正職員	この人になら話せるという安心感をもってもらうための人間性の育成。

40歳代

支部会員歴	現就労形態	回答
10年以上 ～15年未満	正社員	やはり人によるカウンセリングは必要になると思う
	正職員	AIの限界やデメリットを伝える

多分ですが、これから急速に人工知能が高性能化し、今の仕事の多くを代行するようになります。
 そんな時代に、人による心理カウンセリングは、淘汰されるという予想もあります。
 そのような環境でもこの資格の取得者を増やしていくため、どのようなアプローチが有効だと考えますか？

10年以上 ～15年未満	正社員 正職員	AIには今のところ限界がある。学生相談のケースだが、学生は最初はAIに相談相手になってもらったそうだが、だんだんと限界を感じてほんとのカウンセラーに、相談に来るケースが散見される。なお、発達障害のある人などは、AIの相談が明確でぴったりくるようだ。 AIを取り込む方向にシフトしていくのではないのでしょうか。自分も小さな悩みなどはよくAIに相談しますが、プロンプトの作り方やハレーションへの対処法などを、有資格者が指導できる、とか、AIを有資格者が自身のカウンセリングに取り込む方法を作ること、併存でき、有資格者の存在意義も維持できるのではないのでしょうか。
5年以上 ～10年未満	正社員 正職員	産業カウンセラーができる仕事を増やす 生の人と話をする機会に良さを実感できるよう、聞く時の対応に注意している AIとは違う強みは何かを整理して、PRしていくことが一つの手段と考えます。 社会に必要性をアピールする
	経営者 自営	わかりません。ただ、人対人の直接の対面でこそ、カウンセリングによるクライアントの深い心の癒しは進むと思いますし、人工知能の無機質な感覚を人間は直感的に感じると思うので、人工知能に淘汰されかけた後に、生身の人間のカウンセリングが見直される様な気がします。
1年以上 ～5年未満	正社員 正職員	AI回答には「虚偽」が存在する場合もあること。人対人でしかわかりえない、非言語的な部分からの話の展開が人間にはできること。この辺りからAIが全てを代行できるとは考えにくいと思います。また、産業カウンセラー単体ではなく、他の資格や知識との組み合わせで有効な活用ができることなどを理由に取得を勧めることはできるかな？と考えますがいかがでしょうか？ 対面でカウンセリングを受けることで、カタルシスをより実感すること。 医療従事に関わるような領域に近いところまでレベルを上げ、心療内科の一手前くらいの効果を得られる業務を行う。メンタルヘルス、発達障害など、需要はかなり高い。 人が悩む原因になる物事には少なからず人が関係していると思うので、やはり人対人のカウンセリングが大事になってくると思う。 また、カウンセリングを学んだ本人も自分を本当の意味で知る機会を得て、抱えている悩み等についても向き合うことができるようになるため、カウンセラー本人もクライアントとして自身のゴールに近づくことができると思う。 カウンセリングを主体とするのではなく、企業に対するコンサルタントを担えるような人財開発。

多分ですが、これから急速に人工知能が高性能化し、今の仕事の多くを代行するようになります。
 そんな時代に、人による心理カウンセリングは、淘汰されるという予想もあります。
 そのような環境でもこの資格の取得者を増やしていくため、どのようなアプローチが有効だと考えますか？

1年以上 ～5年未満	正社員 正職員	人工知能は心に寄り添っているようで、無責任な寄り添い方になると思います。あくまでも人工知能は質問されたことに対して質問した人が一番得する選択を助言するので、一見いいように思っていますが、他の人への影響とか、ハレーションを考えないです。それはいろんなニュースで証明されています。人工知能が発達していくからこそ、心が大事な時代になっていくと思うので、心理カウンセリングそのものは人間だからできることであることをアプローチしていけばいいと思います。
		自分自身も悩みをAIに相談したことがあります。しかしAIは質問が多く傾聴はなくて、ありきたりな回答が多いと感じ、カウンセリングとは違うと思います。体験すればこの良さがわかると思うので、まずは気軽にカウンセリングを体験できる機会があればいいと思います。
		人によるカウンセリングだからこそできること、人にしかできないことを知ってもらう
		深くクライアントに向き合うこと。
		機械対人よりも人対人。とか
		A Iについてまずは理解を深めるべき。
		AIがいつも正しいとは限りません。人のカウンセリングも絶対視してはいけないと思っています。それぞれの関係性の中で、共感や共感的理解を重視し、その利点を周知していくしかないのではないのでしょうか。
1年未満	契約社員・嘱託社員	事務局側が人工知能に慌てないで継続して地道に今と変わらぬ活動する
	経営者・自営	対面のカウンセリング研修。スーパーバイズ。
	無職	人と人のぬくもり(あたたかさ、温度感)を感じ、安心感を得られること、孤独から少しでも救われる支援ができるのが人によるカウンセリングだと思う！ハードルの高いカウンセリングを、もっと身近にできるよう社会に働きかけていく、体験できる機会を作っていくことが必要だと私は思います。
1年未満	正社員・正職員	淘汰される（仕事が減る・活動領域が狭まる）予測のもとで資格取得者を増やすアプローチ、の質問の意図がわからないので回答は遠慮します。

多分ですが、これから急速に人工知能が高性能化し、今の仕事の多くを代行するようになります。
 そんな時代に、人による心理カウンセリングは、淘汰されるという予想もあります。
 そのような環境でもこの資格の取得者を増やしていくため、どのようなアプローチが有効だと考えますか？

50歳代		
支部会員歴	現就労形態	回答
20年以上	正社員 正職員	カリキュラムにAI理解の学びが必要。AIを知らないでAIに淘汰されると怖がるのはナンセンス。対面とAIの違いやメリットデメリットを提示できるようにすべき。その上で、違いを打ち出した訴求が必要。 AIはデータを基にしたコミュニケーションで、ユーザに都合が良い応答になりがち。個人個人の曖昧さ、表情や視線から見え隠れするところの動きには、どんなに性能が上がっても対応できないと思っています。 境界をしっかりとった状態で、自身の感受性を育て、活かす事が有効と考えます。
	契約社員・嘱託社員	AIによるカウンセリングの長所・短所を知ること。上手に受け入れることも考えるべき。
15年以上 ～20年未満	正社員・正職員	感情の無い装った肯定的関心とは違う依存をさせない人による傾聴技法
	契約社員 嘱託社員	人工知能は共感や寄り添いは得意かと思うので、今後、人間によるカウンセリングは、その人がいるだけで落ち着くといったような、人となり、その人自身の魅力が大事なのかもしれません。魅力ある人になるという意味でも、本心を引き出していく本物の傾聴が鍵のように思います。
		カウンセリングにこられる人は、最近一度はAIに聴いてみたということが増えました。こちらとしては、参考にさせてもらって、それでも来訪した意味が何かを聴いて、どうなったらきてよかったのか尋ねるようにしています
		相談して一時的に優しい言葉をもらいたい、すぐ答えがほしい場合は人工知能でよいと思う。自分の気持ちを言語化できないと、ほしい答えはもらえない。しかし、人対人の間では、非言語のコミュニケーションもやり取りされている。言語化が難しい年代の方と関わりある人や職業の方にアプローチしても良いと思う。
	パート アルバイト	「人による心理カウンセリングは、淘汰されるという予想」自体を再考する世になるよう場面場面で発信したい。
		AIに聞いてみては如何でしょう。
	一般派遣労働者	淘汰について具体的に考え、調査し、その結果からアピールの方向性を見つけたいと思う。個人的には、人による心理カウンセリングは、ある程度は他に代わりが出て、残りは（少なくともすぐには）淘汰されないと思っている。
	経営者・自営	結果として「聴いてもらって良かった」と思える人が増えれば資格の宣伝になるし、その周囲に取得希望者が出てくるとおもう
		傾聴スキルの重要性、大切さを、地道に訴えるしかないのではないか。

多分ですが、これから急速に人工知能が高性能化し、今の仕事の多くを代行するようになります。
 そんな時代に、人による心理カウンセリングは、淘汰されるという予想もあります。
 そのような環境でもこの資格の取得者を増やしていくため、どのようなアプローチが有効だと考えますか？

15年以上 ～20年未満	経営者・自営	カウンセリングも含めた、心理学全般を学べるような講座を開発していくとか、もっと教育機関と連携するとか。例えば、コーチングの講座があっても良いと思う。でもコーチングはキャリアコンサルタントに近いかな？
10年以上 ～15年未満	正社員 正職員	「そう思わない」という人の意見を公表する
		産業カウンセラー国家資格とすること。資格の維持費を安価にすること。産業カウンセラーの知名度を上げること。職業として成り立たせること。質の高いカウンセリングでクライアントから信頼を得ること。
		現状、まだ自分自身の考えがまとまっていないので、回答を控えます。
		最後は人と人とのつながりだと思います。
10年以上 ～15年未満	契約社員・嘱託社員	人工知能が自分の自己成長を助けてくれるツールのひとつと認識されるのであれば難しいと思います。日本人の繊細なところに触れられるとどのように変化するのかを体験いただくことはいかがでしょうか。
		AIの受容共感はすごいと感じていますが、対面ならではの伝達力はやはり武器なと思います。興味はあっても受講料が高すぎるとの声も聞かれます。もっとリーズナブルに取得できる環境を整えるのはいかがでしょうか。
		人と関わることへの怖れを引き受けることができる力を、自分自身が備えたカウンセラーの養成が求められると考えています。そのためには、まずは自分自身の感情と向き合うことが必要になるかと思っています。具体的には自己理解や自己受容のトレーニングを充実させていくのも必要かと思っています。
		まず、AIがカウンセラーの仕事を代行することはあり得ません。AIは文章としてははていねいな「伝え返し」をしますが、相手の表情や態度まで理解できるまでには至っていません。人間同士だからこそ伝わってくる「空気感」は、AIと一線を画する大きな強みです。
10年以上 ～15年未満	経営者 自営	一方、AIはタイパ・コスパ、その人に応じた現実性の高い提案をする力があり、それだけに相談者は「AIの言うとおりにやってみよう」と思うことがあります。人間カウンセラーは、単に空気感を大事にするだけではなく、AIと同等程度のコスト意識、現実妥当性のある解決策と一緒に検討できるように、とにかく勉強することが求められます。
		人工知能と人は違うので、個人的には淘汰されるとは思っていませんが、そういったことをSNS等で発信し広く周知していくことが必要かと思っています。
		対している人同士の間で感じることも、ものを実際に体験してもらう機会を増やすことかもしれないと感じています。
		AIを体験したけれど、やっぱり人に聞いてもらいたいと言っていた方がいました その違いや（優れている点、劣っている点）をしっかりと把握し、お伝えできることは有効ではないかと考えます

多分ですが、これから急速に人工知能が高性能化し、今の仕事の多くを代行するようになります。
 そんな時代に、人による心理カウンセリングは、淘汰されるという予想もあります。
 そのような環境でもこの資格の取得者を増やしていくため、どのようなアプローチが有効だと考えますか？

5年以上 ～10年未満	正社員 正職員	人と人との対面での傾聴は、体験しないとわからない。カウンセリングというハードルを下げて、身近に話を聴くという場所や機会を多くつくるのが先だと思います。
		待ってるのではなく、聴きにいかないと広まらないと思います。 また、カウンセラーは大人だけなのではないでしょうか。児童や学生が傾聴を学ぶチャンスが身近にあれば、関心も増えるし、安心して話せる機会も広まるのではないかと思います。
		今は思いつきません。申し訳ありません。
		AIは仕事で使っていますがキャッチボールがうまくいかない場合もある。人でなければできないこともあると思います。資格を取得したことで社会的にステータスがあがったり給与があがったりがあるように民間資格ではなく国家資格になるといいと思います。
	契約社員 嘱託社員	産業カウンセラー協会の養成講座のレベルは本当に高いと思っています。たくさんの方の事を学び、今の私のベースとなっています。この技術と指導者の人格の高さを一番理解しているのは協会であると思います。その素晴らしさを働く人たちにもっと積極的に伝えてほしい。カウンセリングを受けることが身近になる社会を望みます。働く人のためでもあり、日本社会のためでもあります。もしかしたらイメージ戦略など必要かもしれません。
	パート アルバイト	悩みをChatGPTなどのAIに相談する人が、かなりいる。私自身もそうである。参考として、それで済むこともあるのは否定しないが、対面の効果はあると思っている。答えが欲しい訳じゃなくて、誰かに聴いて欲しいに寄り添うことが大切と思う。
		いまの段階で、感情面や気持ちなどを学習させるには難しい（違和感）と感じています。最終的には期間を要するカウンセリングは残ると思います。なので、残ると仮定したメリットを打ち出していくことが大切だと考えます。増やす、だけが策ではないかもしれないので将来的に淘汰された場合からの施策ではないでしょうか。
		現段階で具体的な考えは思いあたらない
		対人でなければならない部分を強調する。 資格者を増やすだけでなく活躍する場を作らないと発展はない。
	経営者 自営	人口知能が進んでも人間対人間だと思う。アプローチ まずはAIによるカウンセリングというものがどういうものなのか？これをもっと知る必要がある。我々はAIが（現状）できないことを知る必要がありそうだ。
1年以上 ～5年未満	正社員 正職員	実際にAIを活用した相談アプリも今後増えてくると思います。対象者のための資格であると同時に、カウンセラー自身の生き方のための資格でもあり、資格を取得させて頂けてよかったと考えております。

多分ですが、これから急速に人工知能が高性能化し、今の仕事の多くを代行するようになります。
 そんな時代に、人による心理カウンセリングは、淘汰されるという予想もあります。
 そのような環境でもこの資格の取得者を増やしていくため、どのようなアプローチが有効だと考えますか？

1年以上 ～5年未満	正社員 正職員	難しいですが、淘汰されることはないと思っています。人と人との関係ですから。資格を増やしていくには、もっと産業カウンセラーの活躍の場を増やすような取り組みをしていくことが必要だと思います。ソーシャルスクールワーカーなどのように、きちんと求人を出していけばいいと思っています。
		人工知能にしかできない広い見識やバリエーションを求める方もいると思います。
		人工知能にはできない、言葉だけではない、人との暖かな心のふれあいを求める方もいると思います。
		はい。そう思います。
		資格者が増えても、活用機会が増えなければニーズの奪い合いになってしまいます。カウンセリングの保険適用など、実際に利用する人が増えるようなロビー活動が必要です。人間との対話でしか得られない充足感があり、質の高いカウンセラーは残ると思います。
		AIとの差別化は難しいと思うが、多くに当てはまる一般的な正解答ではなくクライアントの個を理解するための多様なアプローチこそが人の価値だと思うので、そういった面のアピールがもっと必要と思う
		人間としての温かみや、1人じゃないという不安を取り除き、安心感をあたえる。
	契約社員 嘱託社員	オンラインでの面接受注ができるシステムはいかがでしょうか。
		AIを活用できるかどうかは、心のなかにある様々な気持ちなどを言語化するスキルが必要です。言語化する技術は、そう簡単にできるものではありません。他者の関わりがあって、はじめて言葉にできる自分の思いもあろうかと思っています。やはり人間によるアプローチが重要であることを、AIを使いながら考えていくのが良いと考えます。
		「～とAIは解答していますがどう思いますか？」ということに答えてくれる人間が必要だと思います。最終的には、人だと思います。
	経営者・自営	今は心身に余裕がないので思いつきません。
	無職	わかりません

60歳代

支部会員歴	現就労形態	回答
20年以上	正社員 正職員	アプローチの提案は特にない
		わからない
		一対一の個別面談形式だけでなく、グループでのワークショップや、体験形式の内容。

多分ですが、これから急速に人工知能が高性能化し、今の仕事の多くを代行するようになります。
 そんな時代に、人による心理カウンセリングは、淘汰されるという予想もあります。
 そのような環境でもこの資格の取得者を増やしていくため、どのようなアプローチが有効だと考えますか？

20年以上	契約社員 嘱託社員	時代の流れ、また若い世代が対面のカウンセリングよりもAIを選択するようになるのは致し方ないと思っております。また公認心理師資格などもあり、産業カウンセラー資格への需要を高めるにはどうしたら良いのか事業部の方だけでなく皆で考えて行く必要性を感じております。
		アプローチとして有効かどうかは分かりませんが、学ぶ中で自己理解、自己覚知が出来るようになって良かったと思いました。これは自分自身で腑に落ちたと感じた事で、AIが普及しても代替できないのではないかと思います。
		人によるカウンセリングのA Iとは違う寄り添い方、温かみがある寄り添い方などを模索すべきでは
	パート・アルバイト	対面での活動
	経営者 自営	知名度を上げ、組織には必ず産業カウンセラーを設置するなどの制度化。
		資格の周知等
		相談がAIで一般化する事でAIに限界を感じた人がリアルを求めてくる可能性はあると思う
		公的資格5分類の中で、産業・労働分野の対象者はA Iに変わることが多く、また、使いこなせることも求められる。先陣を切り大胆にA Iを使いこなせる、カウンセラーへのシフトを今から行う事はどうであろう。
		人工知能（AI）が急速に普及する中で、カウンセラーの仕事も今後変化していくのではないかと思います。AIによって情報提供や相談の一部ができるようになる一方で、人にしかできない関わりもあると考えています。
		カウンセリングでは、言葉だけではなく、表情や声のトーン、沈黙等を通して相手の気持ちを感じ取ることが大切です。
		また、カウンセラーから伝わる心の温かさや思いやりを肌で感じることで、「この人になら安心して話せる」と感じられることも、人との関わりならではの大切な要素だと思います。
		さらに、カウンセラーには守秘義務や倫理的な配慮、相談者の心身への影響を考えたリスク管理など、専門職としての責任があります。
	無職	その責任を持って一人ひとりに向き合うことが、相談者の安心感や信頼につながるのではないのでしょうか。
		だからこそ、AIの普及によってカウンセラーの仕事がなくなるというよりも、これからはカウンセラー自身の資質がより問われる時代になると考えています。
		そのため心理学の学びだけではなく、自分自身を見つめ、自己成長につながる学びを続けていくことが大切だと思っています。

多分ですが、これから急速に人工知能が高性能化し、今の仕事の多くを代行するようになります。
 そんな時代に、人による心理カウンセリングは、淘汰されるという予想もあります。
 そのような環境でもこの資格の取得者を増やしていくため、どのようなアプローチが有効だと考えますか？

20年以上	無職	おそらく対象者の求めているような回答をAIが提供するのではないかと思います。生身のコミュニケーションだから可能な疑問や悩みの1問一答の回答にとどまらず、重層的な考えや自分の思考パターンの気づきからのキャリアの深まりの促進など、未来に向けた心構え、姿勢、意識変容に関しては継続的な、繰り返しの支援が必要と考えます。これから発展が深まるAIで可能になるのかもしれませんが、総合的な考え、悩みから深めていく思考、柔軟な受け止め方は人による心理カウンセラーならではの機能と考えます。生の人でしか難しい機能の明確化をアピールしていくことで資格の取得者を増やしていくことができると思いますし、職場はますます社会的な対応やコミュニケーションが難しい若い職員が増加していることから、より多くの中間職、管理職の人材育成の必須項目になりうると考えます。
15年以上 ～20年未満	正社員・正職員	AIを使うのは人間であることを前提に、基礎的な考え方を養成する
		カウンセリング体験の機会を増やす(学校、市町村等との連携)
		確かに、新時代はAIと上手く共存することが肝要です。人によるカウンセリングは、言葉にならない言葉を全身で感じて理解しようとしします。特に非常時は、言語化しにくい体の反応があるため、大切になります。人が人に話す、そのつながりが心を支えます。しかし今後は、幼少期からAIを使うことで、話す・聴くスキルが成長しにくくなることが懸念されます。人と企業が様々な場面で葛藤を抱えながら成長するために必要だと、研修やカウンセリング実践を通して伝えるのも、1つの方法ではないかと思います。
	契約社員 嘱託社員	対人関係が必要と思われる職種や、mailの普及で対人を苦手とする若い方々への、コミュニケーションの取り方など、実践的なトレーニング（ロールプレイなど）必要でしょうね。
		データベースに頼るだけでなくエビデンスを伴う臨機応変な対応
		ひとり一人、考え方が違うため一般的なAIでは、最初は良いが段々AIの回答に「違う」と感じ違和感に気づくのではと思います。 表情など読み取りができるようになるが、トータル的に読み取りができる資格を持った人間が必要だとアピールが必須だと思います。
		ユーチューブやテレビCMでの宣伝
		わからない
		A Iの寄り添いは素晴らしいです。が、顔の表情などは対面でしか察知できない場面があります。知識量は負けますがこころを読むのはニンゲンだと思います。
	パート アルバイト	AIと張り合わず、共に、味方に、というスタンス。 生身の人間と関わる体験の場。

多分ですが、これから急速に人工知能が高性能化し、今の仕事の多くを代行するようになります。
 そんな時代に、人による心理カウンセリングは、淘汰されるという予想もあります。
 そのような環境でもこの資格の取得者を増やしていくため、どのようなアプローチが有効だと考えますか？

15年以上 ～20年未満	パート アルバイト	相手が人でなくAIであるからこそ手軽（気が楽？）と感じる傾向もあるのかと思いますが、一方で様々な問題点も指摘されているかと思います。人によるカウンセリングだからこそおすすめのなのだとすることを伝えるのはとても難しいと考えます
	経営者・自営	対面でカウンセリングをすると、AIの回答で納得していたが直接話すとやっぱり気持ちが違うという声をいただく。ここがアプローチのポイントの一つと考える。
		AIには実務経験がありません。情報がたくさんあるだけです。それを凌駕していくのは経験値だと思います。そもそもAIが本格的なカウンセリングをやるにはまだまだ時間がかかります。今は”話し相手”や”ラジオ人生相談”レベルです。自分のスキルを”ラジオ人生相談”レベルからカウンセリングレベルへ高めるのは、実践経験とそれに根差した知識じゃないでしょうか。
10年以上 ～15年未満	正社員 正職員	人のためではなく、自分の心を成長させることができる。 少しでも生きやすくなる方法が学べる。
		会員に向けて：心理カウンセリングの職場での活用方法、人工知能の正しい活用の仕方の講座の提案。 一般の社会人や企業に向けて：アンガーマネジメントの講座のような、ネットで受付する傾聴を短時間で学べる有料講座の提供
	契約社員 嘱託社員	分かりません
		分からない。
		AIには出来ないような温かみを感じるようなアプローチ
		AIとHIの共存。AIを活用してもHIは判断などしっかりと整理する
		テレビや新聞、その他メディアへの広報活動
	パート アルバイト	AIには無い、人と人の心のふれあいの大切さについてのアプローチが有効だと思います。
		人にしか出来ないカウンセリングの事例を学ぶ。
		人間力。どれだけ学んでいるかが問われる。
	経営者 自営	どのようなアプローチなのかは、お答えすることが難しいのですが、AIを頼っている方々を見ているとAIは肯定しかしていないようで、できないことについての説明ができていないように感じます。できないことや難しいということを伝えるには、傾聴だけでは限界があるのだと思います。
		カウンセラー自身が、AIを利用し使いこなすことが必要になってくるのでは。 AIには自ずから限界があると思われ、対面によるカウンセリングの必要性は残るはず。

多分ですが、これから急速に人工知能が高性能化し、今の仕事の多くを代行するようになります。
 そんな時代に、人による心理カウンセリングは、淘汰されるという予想もあります。
 そのような環境でもこの資格の取得者を増やしていくため、どのようなアプローチが有効だと考えますか？

10年以上 ～15年未満	経営者 自営	AIが急速に高度化し、カウンセリングを含む多くの業務がAIに代替される時代においては、人にしかできない「聴く力」「感じる力」「言葉を紡ぐ力」を、AIと組み合わせて活用することが重要だと考えます。 例えば、日常のストレスケアとして取り組みやすい「3行ジャーナリング」から、自分の思いや気づきをより深く言葉にしていく「自分詩ジャーナリング」へと発展させ、AIをその過程を支える道具として活用する方法が考えられます。私自身、「AIと表現療法（割箸象書画）の融合による次世代セルフケア支援の実践と考察」として日本芸術療法学会で発表し、論文にまとめました。 こうしたAIとの共存を前提とした新たな技法を、産業カウンセラーが学び、活動に取り入れていくことも、これからの時代に資格の可能性を広げる一つの方向ではないかと考えています。
	無職	人工知能はあくまでも使役するもの。実際に人工知能を使用したものも積極的に行っていくのも必要かと思う。ただ、人対人にはまだまだ、およばないかと思われる。 AIは緻密なフローチャートで導く結論のようなものだと思います。有効なアプローチは思いつきませんが、既に心理学の研究者などが将来の課題や、求められるカウンセラー像などの研究をしているのではないのでしょうか。そこに糸口があるかもしれないと思います。
5年以上 ～10年未満	正社員・正職員	確かにその傾向はあると思いますが人にしかできない事もあります。 体験カウセリングを実施しAIと比較して貰う。
	契約社員 嘱託社員	人間でなければできない部分があると思います。
		医療従事者にターゲットを絞る。
		わからない
	パート・アルバイト	難しい時代になると思う。
	経営者 自営	淘汰されるとは思いません。むしろ生成AIを積極的に利用しながらカウンセリング技術を高めていく方向で利用していければと考えます。 淘汰されるレベルのカウンセリングならクライアントがAIと人を選べるわけだからクライアントにはよいこと。取得者を増やすには、有資格者を求める場を丁寧に探り、誰かがモデルとなり些細な需要を創造すること。これからカウンセラーを志す有資格者予備軍には、資格を応用できる場面が身近にあることを、わかりやすく伝えることが大切なのではないのでしょうか。これらを継続すれば、資格のミスマッチが減り、脱会も少なく更新継続率も維持しやすいのではないのでしょうか。
	無職	人工知能の対応だけで満足するのかという疑問有り。研修受講等で研鑽を積んでいくことが肝要と思う。

多分ですが、これから急速に人工知能が高性能化し、今の仕事の多くを代行するようになります。
 そんな時代に、人による心理カウンセリングは、淘汰されるという予想もあります。
 そのような環境でもこの資格の取得者を増やしていくため、どのようなアプローチが有効だと考えますか？

5年以上 ～10年未満		心理カウンセリングの必要性を認識するか、制度設立がなければ申込者は増えないと思います。
	無職	人工知能がどれだけ進化しても、人によるカウンセリングが完全に淘汰されるとは思いません。むしろ、AI時代だからこそ、この資格の価値を高めて受講者を増やすチャンスだと考えます。有効なアプローチとして、以下の3点が挙げられます。 1つ目は、AIには真似できない「身近な人間関係を心地よくする等身大の心理学」としてアピールすることです。AIは正しいアドバイス（解決思考）は得意ですが、人間同士が「ただ黙ってお話を拝聴する」という安全で穏やかな対話の場や、家族間で「ありがとう」を増やしていくような日常の温もりまでは代替できません。 2つ目は、「資格を自分の日常や人生を豊かにするための実用的なラベル（道具）」として提示することです。大学で心理学を学んでいなくても、客観的な社会的信用を得られるのがこの資格の強みです。企業での活用だけでなく、「まずは自分のため、家族のため、地域の身近な人のために心理学の素養を身につけよう」という切り口で間口を広げれば、取得したいと思う人は増えるはずですよ。 3つ目は、対面でのワークショップやグループカウンセリングなど、「人と人が直接交わる実践の場」を強化することです。AI相手の対話では得られない、受講生同士の「日常的な対話」や、複数名でのチーム対応（オープンダイアログ的なアプローチ）を経験できるカリキュラムにすることで、AIにはない「人間同士のつながり」という付加価値を実感してもらえるのではないのでしょうか。
		資格の取得者を増やすことに直ちに結びつくことではないが、産業カウンセラーとして真摯に活動し、企業や働く人たちにその必要性を理解していただくことしかないと思う。
1年以上 ～5年未満	正社員・正職員	機械より、優れたコミュニケーション能力
	契約社員 嘱託社員	生身の人間と話すことは、AIにはないお互いの表情や声のトーンなどを感じることが出来ることなどを伝える AIでは人のこころの奥深いところの解説は無理だと思うので、カウンセリング資格は重要だと思ってます
	パート アルバイト	人間相手の対応をアピール 人工知能はあくまでも人間ではないので、対面でのカウンセリングは、大事だと思います。表情から感じるものとか話し方とかは人工知能が発達しても難しいのでは？

多分ですが、これから急速に人工知能が高性能化し、今の仕事の多くを代行するようになります。
 そんな時代に、人による心理カウンセリングは、淘汰されるという予想もあります。
 そのような環境でもこの資格の取得者を増やしていくため、どのようなアプローチが有効だと考えますか？

1年以上 ～5年未満	経営者・自営	他の業務（キャリアコンサルタントや他の士業等）と組み合わせて活用していくことも一つの方向性だと考えます。また、生身の人間と人間が対面で行うカウンセリングの需要は、AIがどれだけ進化してもなくならないと考えますし、むしろそこを積極的にPRしていくべきだと思います。 ただ、それに反して、貴会が力を入れている「オンライン資格取得」については、資格を取得するための手段として一定の需要があることは理解できますが、対面で話すことで得られる相手の表情、声の微妙な変化、間の取り方、その場の空気感などを感じ取る力は、カウンセリングを行ううえで非常に重要ではないでしょうか。 AIとの差別化を図り、「人が人に向き合うこと」の価値を資格そのものの強みとして打ち出していくのであれば、資格取得の過程においても、対面での実践や人と直接向き合う経験を重視する必要があると考えます。オンラインの利便性を活かしつつも、対面だからこそ身につく力をどのように養成していくのかという視点が、今後ますます重要になるのではないのでしょうか。
	無職	難しい問題で、十分な考えがあるわけではありませんが、AIにはない「人が人の話を聴き、関係を築きながら支援すること」の意味を、これまで以上に伝えていくことが大切ではないかと思います。 また、資格を取得した後に、実際にどのような場で活動できるのか、どのように仕事や地域での支援につながっていくのかが見えやすくなることも、資格取得を考える方にとって大切なのではないかと思います。

70歳代

支部会員歴	現就労形態	回答
20年以上	パート・アルバイト	心理カウンセリングがAIによって今後どうなるのか、予想もできませんが、人と人とのかわり合いはなくなならないもの、人とのことは人で解決できるものと今は思っているので、今の学び方を続けることは必要なことと思っている。AIのことは学びつつも。
	無職	対人関係においては客観的な見方よりも主観的な捉え方がものをいうと思います。 人工知能（AI）はあくまでも蓄積されたBigデータによる客観的な判断が主となり、いわゆるマニュアル化可能ではないかと考えています。よって、主観的な理解を大事にすること、第六感を養成することも必要。
15年以上 ～20年未満	経営者 自営	人間にしかできない部分を見出していくしかないと思います 私が民生委員として6年間活動した経験から住民との信頼関係を構築してカウンセリングが可能ですが、AIはこのような対応が可能か疑問を感じます。

多分ですが、これから急速に人工知能が高性能化し、今の仕事の多くを代行するようになります。
 そんな時代に、人による心理カウンセリングは、淘汰されるという予想もあります。
 そのような環境でもこの資格の取得者を増やしていくため、どのようなアプローチが有効だと考えますか？

10年以上 ～15年未満	経営者 自営	難しい言葉の丸暗記や過去の論文分析だけならAIに勝てない。 感じる力をつけること。 実践力をつけること。 座って待ってないで、動きながら、ニーズを拾いに出向くこと。むしろAIの苦手分野の力が必要だと思います そこを育てていく
5年以上 ～10年未満	無職	人工知能の回答について、良し悪しの判断および、補足意見が言えるカウンセラーである必要がある。
1年以上 ～5年未満	正社員・正職員	人間は自律し、人生の意義を求めて生きていく宿命とおもいます。AIに頼る、カウンセラーに頼ることは、本来の人間が生きる道ではありません。なぜならそこに自分は無く、周りに左右され、本当の自分を見失っているからです。自分探しの道を支援するのがカウンセラーではないですか、カウンセラー自身が成長すれば、周囲に広がると思います。職業としては生き残れるか、医者ではないのだから。
	経営者・自営	人と人、心と心との触れ合いは人工知能とは又違う温かさがあると思う。
	無職	悩みをAIに相談すると、ちゃんと相談に応じてくれるが、問題は解決してもさみしい感じが残る。対面で、人間と人間が関係づくりから進めていくカウンセリングはAIに淘汰できるとは思われない。ので、養成講座も対面を大事にしてほしい。（zoomは便利だが。）

養成講座部 質問	養成講座の受講者募集周知チラシや無料説明会案内チラシなど、配架可能なおすすめの場所をご存じでしたら、是非教えてください。
-------------	--

青森回答

支部会員歴	年代	回答
15年以上～20年未満	60代	役所の人事課
10年以上 ～15年未満	60代	FBやInstagram等のSNS等ですかねー？
	50代	具体的に広告の専門家ではありませんが、自分が利用していることから思いついたのは、図書館や交通機関(電車、バス等)の社内広告。(広告宣伝費は高いと思いますが、注目度は高いのでは?)
1年以上 ～5年未満	70歳以上	こちらに、郵送してくれば、事業所訪問時に配ります。
	50代	ありましたら、お声がけさせていただきます。

秋田回答

支部会員歴	年代	回答
10年以上 ～15年未満	50代	チラシではなく、SNS、YouTubeの活用が刺さるのではないかと思います。 「カウンセラーの業務内容紹介」など、動画をアップするのも方法です。そこから、資料等をDLできるように誘導してみてはいかがでしょうか。
1年以上 ～5年未満	70歳以上	今までの周知チラシの場所にプラスして多くチラシ配置場所を探して見る事かなあー。

岩手回答

支部会員歴	年代	回答
15年以上～20年未満	60代	ハローワークや福祉センターなど良いと思います。
5年以上 ～10年未満	60代	おもいあたりません。
	70歳以上	高校以上の各学校の窓口
	50代	市町村のお知らせコーナー、社協会、スーパー、道の駅、駅、回覧板等
1年以上 ～5年未満	60代	図書館 町内の回覧板
	50代	久慈市に「あーとびる麦生」という廃校を活用した芸術村があり、配架をお願いできると思います。 企業とか地域の広報にいれる。
	40代	大学や公民館だと勉強に興味がある人が集まるので、いいかもしれません。



養成講座の受講者募集周知チラシや無料説明会案内チラシなど、
配架可能なおすすめの場所をご存じでしたら、是非教えてください。

山形回答

支部会員歴	年代	回答
10年以上～15年未満	60代	全面的にメリットがある内容にしないと何処に置いても同じだと思います。
15年以上	70歳以上	市役所、公民館、集落センターなどに配架できると思います。
～20年未満	60代	公共施設（保健所、駅、図書館、市民活動センターなど）
5年以上 ～10年未満	60代	例えば、高校や大学、専門学校など、若者が集まる場所はいかがでしょうか。以前は「タイパ（タイムパフォーマンス）」が流行っていましたが、最近では「メンパ（メンタルパフォーマンス）」という言葉が注目されるほど、今の若者はメンタルケアへの関心が高いようです。カウンセラーの仕事は自己理解の深さが成果に大きく影響するため、若い時期からこの分野に触れる意義は大きいと感じます。若い世代の幸せが社会全体の幸福度を高めることにもつながると思いますので、ぜひ若い方に刺さる広報活動を展開していただきたいです。
	60代	男女参加センターなど？
	40代	大学とか高校
1年以上 ～5年未満	60代	公共施設しか思い付きません
	40代	仕事上、健康管理の研修を受講しているのですが、その研修場などで配布できればいいと思います。主催者は協会けんぽ等です。

宮城回答

支部会員歴	年代	回答
20年以上	70歳以上	将来も含めて配架可能というのであれば、心療内科や精神科、整骨院、接骨院もありかと思う。
	60代	ハローワークなど
		駅、役所、生涯学習センターなど。
		駅 会社の厚生担当職員の自主的な学びのみならず、人材育成や管理者研修などとリンクさせて養成講座を活用していくような職場との連携やシステムがあればとよいと思います。
15年以上 ～20年未満	60代	外部であまりチラシを見かけたことはありませんが、図書館などの公的な場所は無理なのでしょうか？
		特に存じませんが、ご要望があれば、職場で回覧可能か所属長に確認することはできます。
		図書館
		仙台ですとメディアテークなど図書館などでしょうか。
	50代	市民センターなど。 紙での配布は時代と合わないと思います。
10年以上 ～15年未満	60代	アナログな募集方法によらず、SNSをもっと活用すべき。
	50代	県や市の公的機関窓口、図書館など
		商工会議所や市民活動センターなど 置いてくれるかわかりませんが、ハローワークなど。

養成講座の受講者募集周知チラシや無料説明会案内チラシなど、
配架可能なおすすめの場所をご存じでしたら、是非教えてください。

10年以上 ～15年未満	50代	既に配布されてると思いますが、市民活動サポートセンターでしょうか。 なかなか難しいところではありますが、人がたくさん集まるセミナーなどでしょうか
	40代	産業カウンセラー協会の有料のカウンセリングなどのチラシとともに、法テラスやハロワ、年金事務所、労基署などの困った人や支援する人がきそうな行政機関はどうだろうか、思いつきですが。
5年以上 ～10年未満	50代	ランチにくる割引券の裏刷りさせてもらう、大学の無料コピーの裏に広告、バスの広告。
		チラシの配布場所より、新聞記事、コマーシャル、メディアに取り入れてもらう。ドキュメントなど。
1年以上 ～5年未満	50代	申し訳ない、公民館、図書館など公共の場所位しか思いつかない。
		病院などどうでしょうか。
		合同庁舎内など1階によくチラシが置かれています。
		紙のチラシがいいのでしょうか、、、
	30代	学校。
		各市民会館や市民センターなど。
		実際に配架可能かは確認しないと分かりませんが、病院やクリニックで働く方々へ図書館、生協、生涯学習支援センター、児童館(のびすく)は、無料相談や説明のチラシは受け入れてくれます。
		可能かどうかは分かりませんが、図書館 図書館や公共施設など

福島回答

支部会員歴	年代	回答
20年以上	60代	資格の学校等
15年以上～20年未満	50代	イオンなどの大きなショッピングセンターの総合カウンター前などはどうでしょう。
10年以上 ～15年未満	60代	インターネットでの紹介
		福島県いわき市ですが、地元スーパーのマルトでは、本部にチラシを置かせていただけるようお願いし了承をいただくと各店舗に置いていただけるとお聞きしたことがあります。かなり前はその店舗の店長さんの采配だったがそのように変わったとお聞きしました。（違っていましたら申し訳ありません） (道の駅などは、どうでしょうか)
5年以上 ～10年未満	60代	ハローワークはいかがでしょうか？ 医療系大学、看護学校、病院、介護施設など。
	30代	ハローワーク。教育訓練給付金の対象になっていることと、求職中に何か資格をと考えている人が一定数いると思う。
1年以上～5年未満	40代	ごめんなさい。ちょっと思いつかないです。

養成講座部
質問

- ①養成講座受講後、周りの方等に受講を勧めたことがございますか？
②おありになる方は、その時に「これがあれば便利！」と思ったツールがあれば教えてください。

青森回答

支部会員歴	年代	回答
20年以上	60代	勧めたことがない
15年以上～20年未満	60代	職場であれば有利と思い進めた。
10年以上 ～15年未満	60代	上司と部下の面談等と違う点をまとめたもの ①「カウンセラーに向いてると思います」と話したことは何度かあります。
	50代	①なし
5年以上～10年未満	50代	①ある ②パンフレット
1年以上 ～5年未満	70歳以上	ない
	60代	① あり ② YouTubeでの案内
	50代	ありましたら、お声がけさせていただきます。
	40代	①②なし

秋田回答

支部会員歴	年代	回答
15年以上 ～20年未満	70歳以上	①受講しようかなと思った方が、資格を取得していた私に相談にきた ②ホームページでの分かりやすい説明やネット上でのお試し講座
	60代	①ある ②今いただいているツールを基に資格取得者が熱く語る（答えになっておりません…）
10年以上 ～15年未満	50代	ない
		①あります。 ②ネット上のコンテンツ
5年以上～10年未満	40代	①ある ②もう少し費用が安ければ・・・

岩手回答

支部会員歴	年代	回答
20年以上	50代	①なし
15年以上 ～20年未満	60代	① あります。ハローワークや職業訓練校でのキャリアコンサルティングの中で、けっこうな方に紹介してきました。
		② 講座の中身は興味を持った人しか見ようと考えません。その前に、この資格がその人にとってどんな価値があるのかを見える化したものがあればいいと思います。
		ありません
5年以上 ～10年未満	70歳以上	ない
	60代	特になし
	50代	①あります

①養成講座受講後、周りの方等に受講を勧めたことがございますか？

②おありになる方は、その時に「これがあれば便利！」と思ったツールがあれば教えてください。

5年以上 ～10年未満	50代	①職場の人に進めたら、指導者が依頼に対して対応してくれず、途中で辞めたと言われた。その指導者は、ペアーで相談内容を録音し終わったら消すルールでしたがペアーの男性が記録として消したくないと言ったので指導者に困りますと言ったが指導者がスルーで大変困った。今でも不安ですと言われた。2度と受けたくないとも言われた。
	30代	あります！ツールは特に思いつきません！！
1年以上 ～5年未満	50代	①あります ②特になし
		①あります。②どんな時に活躍できるとか、料金表
	40代	①コーチング仲間に伝えたことがあります。
		②特に思いつくものはありません。
		①なし
		①無しです

山形回答

支部会員歴	年代	回答
10年以上～15年未満	60代	無い
15年以上 ～20年未満	70歳以上	要点（メリットなど）を記述したパンフレットを作成すること。
	60代	①あります。 ②養成講座体験ツアー
10年以上 ～15年未満	60代	資格取得のメリットを教えられると良いと思います。
		①あります ②養成講座の最新パンフ…必要な時に手元にない場合が多いです
5年以上 ～10年未満	60代	活動に関わった何人かには、実際に養成講座を勧めて参加してもらったことがあります。その際、「これがあれば便利！」と感じたツール（アピール方法）は、費用対効果が分かりやすく伝わる案内です。講座の費用は高額なので、一般の方が理解できる専門用語を使わない学習内容の紹介や、それを学ぶことで自身の日常にどんな良い効果が期待できるかが分かると、「お得感」があって勧めやすくなると感じます。大学で心理学を学んでいなくても取得でき、社会的な信用もある資格です。企業での活用を謳うのも良いですが、対応できる人は限られるため、まずは間口を広げて資格を取得する人数を増やすためのアプローチ（ツール）があると良いのではないのでしょうか。
		①ありますが受講料が高く辞退されました。②そこまで勧めてません。
	40代	①ない
1年以上 ～5年未満	60代	①ある
		②ホームページ上の受講に関する箇所が「究極にわかりにくい」。ホームページの全面リニューアルを目指してほしいが、まずは受講に関する箇所だけでもわかりやすく、かつワンストップで完結するような仕組みに改めてほしい。
		残念ながらありません
	40代	①ないです。②特にありません。

①養成講座受講後、周りの方等に受講を勧めたことがございますか？

②おありになる方は、その時に「これがあれば便利！」と思ったツールがあれば教えてください。

宮城回答

支部会員歴	年代	回答
20年以上	70歳以上	①勧めたことはある
		①勧めたことはあるが、口頭での勧め方だった。
		②コンパクトなチラシや案内があれば持ち歩いて便利。
	60代	ある
		①有ります ②回答の範囲…？
		①ある
		②受講したいと思った時に、体験や説明会に参加できるシステムがあれば良いなと思います
		①ある ②今のツール（HPやメールマガジン等）
		①ある
		①ある ②資格活用事例
		①ある ②検索すると簡単に見れる1つ、2分くらいの動画
		①受講後の良さを実感しているので数名の身近な同僚に勧めたことがあります。
		②実際の受講者のメリットや時間や費用の捻出など個々の生の声が反映されたパンフレットがあると興味を持ちやすい。また、限られた職種のみならず、どなたも生活の中で学びが生かされ、自己成長につながることを強調するとよいのではないかと？
		①毎年、1名は受講しているようです。
		②特に思い当たりません。ご紹介するときはHPを見ていただくことを勧めています。
	50代	①あり ②特になし
		①あります。 ②紹介専用の講座申し込みリンク
15年以上 ～20年未満	60代	情報提供をした時は、ホームページを見ていただくことをお勧めしました。
		①あります。②現在の案内チラシで対応しました。ペーパレス化を進めているので、HPで対応可能ではないかと思います。
		①ある ②ポケットサイズのチラシ
	50代	①ある ②とくにない。
		①なし →受講料が高い、課題が多くハード、辛い→忙しい知人たちには勧められない。 (受講すると他では得られないものが得られることは体感していますが)
		ここ数年はありませんが、過去に一度ありました。当時はホームページからプリントしたと思います。 今ホームページがどうなっているかわかりませんが、案内チラシがダウンロードできればよかったかと思います。
		ありません。

①養成講座受講後、周りの方等に受講を勧めたことがございますか？

②おありになる方は、その時に「これがあれば便利！」と思ったツールがあれば教えてください。

10年以上 ～15年未満	60代	①ある ②特になし
		①ある ②特になし
	50代	①ある ②特にない。自分の体験を話すので。
		①あります。②協会ホームページをもっと見やすくしていただければ。
		①あります。
		②お試し講座など、イメージが伝わり、やってみようと思った時に実際に体験できるツール。
		①ありません
		①あります
		②簡単な説明が載っている名刺サイズのものとかでしょうか。
	40代	①ある。
		②ホームページが複雑なので、すぐにアクセスできるようにする。試験問題集を販売する。協会のカウンセリング割引券。
5年以上 ～10年未満	60代	①有る ②特に無し
		なし
	50代	勧めてみたが、受講料が高いのと、取得後何ができるのか、どんなところで活動できるのか説明できなかった。また、職業としては求人など少ないことで、選択外になってしまうようです。
		①とくに進めたことはない。
		②カウンセラーに向いてるかどうかの簡単なWEBチェックツールとかWEBアンケート
		なし
	40代	①あります ②HP
		①ありません
1年以上 ～5年未満	60代	思いつかない
		①ありません
	50代	受講料が高額のため、勧めたことはありません。
		①ありますが、やはり金額の面で話が進みません。
		①ある
		①ある ②企業訪問の機会をつくる
	40代	①クライアントさんで、カウンセリングがきっかけでカウンセラーを目指す目標が出来た方にすすめたことがある。
		②特になし
		ありません
		①職場の方に勧めたことがあります。
		②進めた時は、インターネットで調べてこういった講座があるとお話ししましたが、パソコンがないとその場ですぐに説明できないので、小さなパンフレットがあると便利だなと感じました。

①養成講座受講後、周りの方等に受講を勧めたことがございますか？

②おありになる方は、その時に「これがあれば便利！」と思ったツールがあれば教えてください。

1年以上 ～5年未満	40代	ありません
	30代	①ある ②講座の流れや費用がわかるチラシ 既存のチラシがたまたま手元になかった。宣伝HPのQRコードでもいいのかも
		①ある ②ロゴフォームなどの電子媒体

福島回答

支部会員歴	年代	回答
20年以上	60代	特になし
15年以上 ～20年未満	60代	①知り合いに勧めた ②特になし
		①受講を勧めたことがある ②分かりやすい割引制度のチラシ（文字ができるだけ少ないもの）
	50代	①養成講座を勧めることはなかったですが、産業カウンセラーの良さを伝えることはありました。
		①ある。 ②登録しておけば、募集開始したら案内が来るように設定できるツール。まだかなあとHPをいちいち見に行かなくても済むように。（すでにあるのかもしれませんが）
10年以上 ～15年未満	60代	毎年、職場の人を育てる。 ①勧めたことはありません。
	50代	①無し
	40代	①ある ②チラシ
5年以上 ～10年未満	60代	積極的に勧めてないのでわかりません。 昔は勧めたが、今は勧められない。
	30代	①ある ②ホームページのURLを送って説明をした。それで、十分だと思うが、料金やどれくらいで資格を取得することができるのかなど、一目で分かる記載があればよりよいと思う。
1年以上～5年未満	40代	①ありません

養成講座部 質問	養成講座中に、受講者同士でやってみたいと思ったことや、指導者に聞いてみたかったことがあれば、教えてください。
-------------	--

青森回答

支部会員歴	年代	回答
10年以上 ～15年未満	60代	長期にわたるカウンセリングの事例(提供される傾聴以外の技法、カウンセリングの終結の見極め方) 指導者の方々は普段どのような仕事をしていて、資格をどのような形で活用しているのかを聞きたかったです。
1年以上 ～5年未満	40代	資格取得後のビジョンを描けるような、活動や自己研鑽の具体的な話
	60代	心理テストの見方YG CAS クレペン等

秋田回答

支部会員歴	年代	回答
15年以上～20年未満	60代	指導者がこの道に進んだきっかけ等

岩手回答

支部会員歴	年代	回答
15年以上 ～20年未満	60代	自分を過大評価する相談者にプライドを傷つける事なく現実を知ってもらうことば、話法を知りたい 私が一番知りたかったことは、この資格を取ってどんな仕事につながるのか、でした。
5年以上 ～10年未満	60代	忙しくて考える時間がないです。
	40代	見立てについて詳しく聞いてみたかったです。
1年以上 ～5年未満	40代	指導者の方が苦労した実体験ややりがいを感じたことなどもっと聞きたかった 指導者へ生業の詳細をお聞きしてみたかったです。(今でも聞く機会があれば)
1年未満	50代	オンラインだったので、講座後でもいいので、正式に会える機会が欲しかった。受講するためのハードルは下がるがやっぱり面と向かって話ができるかどうかは違うと思った。



山形回答		
支部会員歴	年代	回答
15年以上～20年未満	70歳以上	実践的な傾聴訓練。
10年以上 ～15年未満	60代	宴会や同期会の発足
		逐語の読み方は、やり方に気づくまで時間を要しました。グループ学習を行い、お互いの考えを伝えあうことで、早めの気づきができたのではないかと思います。
		体験話
5年以上 ～10年未満	60代	大学の心理学科を卒業した仲間から、「産業カウンセラーの講座はロールプレイングの時間が多く、実際にカウンセリングができる人材を養成している」と聞いたことがあります。これは人の話を聴きたい受講生にとってありがたい内容ですが、私が参加した講座では説明がピンとこず、十分に理解できたとは感じられませんでした。実際にカウンセリングができるようになったのは、資格取得後に多様なワークショップに参加して学んだことが大きいです。それを踏まえて、受講者同士でやってみたいと思ったことは、「カウンセリング的でない反対の対話」です。また、指導者に聞いてみたかった（見せてもらいたかった）ことは、指導者自身が良いと思い実践しているカウンセリングのやり方を、受講生の前で実際にデモンストレーションして見せてほしかったということです。複数の指導者がそれぞれに違う説明やアプローチをされていたと感じましたので、カウンセリング体験の少ない受講生にとっては、多様なバリエーションのカウンセリング（実演）を経験できたとおもいます。実際のカウンセリングをイメージできれば、もう少し養成講座中にレベルアップができたように思います。いまの方はタイパを気にします。余談ですが、当時も依頼はしましたが、なぜか「絶対に嫌」と拒否されました。いまから考えると、講師もストレスフルだったのでしょうね。
		継続カウセリング
1年以上 ～5年未満	70歳以上	目まぐるしい受講内容だったので、時間的に余裕があれば受講者同士または指導者と語りあえたように思う。人間関係作りに活かして、対面のセッションがより充実するように思う。
	40代	指導者との面談を一回行いましたが、もっとたくさんの指導者の皆さんとお話したかったです。



宮城回答

支部会員歴	年代	回答
20年以上	60代	自分が受講した頃と現在では大分違うようなので回答が難しいです。当時は指導者の方々お一人お一人が真摯にご対応戴きました。
		大学の単位認定だったため回答できません
		2泊3日程度の研修会
		私が受講したころは、24時間のエンカウンターがあった。その頃は面倒と思っていたが、後には良い経験となった。
		基本的なスキルを受講したあとになるかもしれませんが、職場の人材育成や研修の中でどのような企画プログラムができそうか？グループ活動でイメージ化できると実際の職場で生かしやすくなるかもしれません。
15年以上 ～20年未満	60代	みなさんが資格をどのように活かそうと思っているか、実際に活かしているか。
		指導者の成功体験、苦労されたことを気軽に聴きできるといいかも知れません。
		指導者の受講中における成功失敗談
	50代	指導者の方々が、指導者以外で産業カウンセラーとしてどんな活動をされているか。
10年以上 ～15年未満	60代	養成講座の期間中の休日に受講者同士で集まって実技の練習会や試験対策をやりました。指導者には養成講座の時間中以外には直接聞けないといった雰囲気があったように記憶しています。
	50代	産業カウンセラーの方が実際どんな面談しているのか体験したい
		失敗例と克服の仕方
		数分ほど会話をし、話し手の感情を捉えるゲーム感覚的な体験をしてみたい。
	40代	問われているものと異なりますが、実際のカウンセリングを受けたことがなかったので、協会とかで別日にでもカウンセリングを受けてみたかったです。
5年以上 ～10年未満	50代	ロールプレイング
		指導者の方の、職業は他にもあるのでしょうか。
1年以上 ～5年未満	50代	やはりセッションの練習を多く積んでいきたいと思った
		飲み会。受講後、どのような道があるのか、指導者の先生方のことを詳しく聞いてみたかったです。
		懇親会や勉強会などいろいろやっていただいたので、充実していました。
		副業の機会について
	40代	指導者に臨床で実際にあった難しいケースの事例検討
		講座受講中は、目の前にあることをやるので精一杯でしたが、カウンセラーとして仕事をされている指導者の皆様に現場でのことを伺ってみたかったです。
		指導者さんのカウンセリングを1度体験してみる、オブザーバーで見学できると傾聴とはがイメージしやすかったのではないかと感じております。
	30代	講座取得前と後の変化のちょっと先輩からの体験談を聞く
		ライブプレイ方式がメインだったが、ロールプレイ方式も取り入れて、両者を実践したときの感じ方の違いとかも共有してもいいのではと感じた。

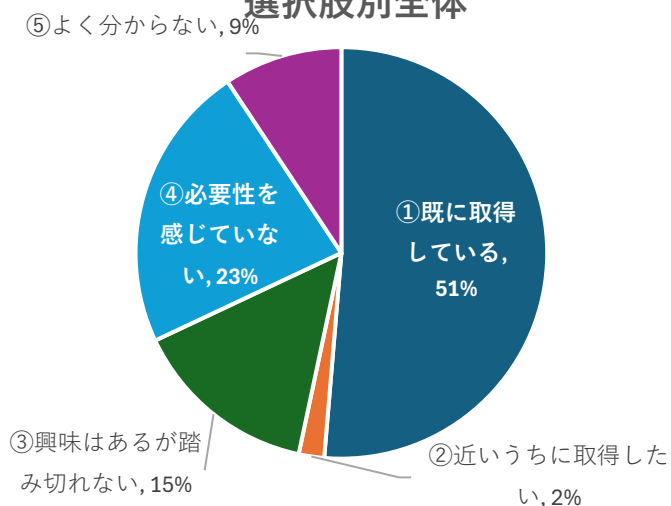
養成講座中に、受講者同士でやってみたいと思ったことや、指導者に聞いてみたかったことがあれば、教えてください。

福島回答

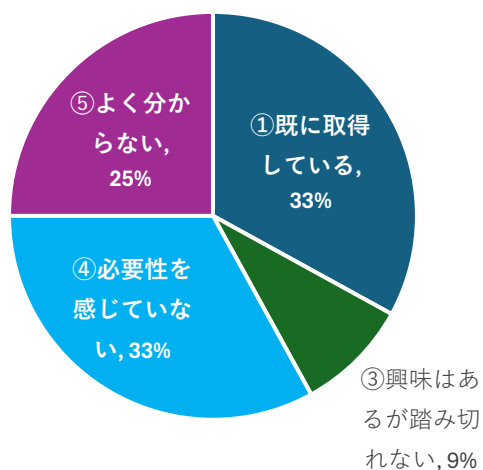
支部会員歴	年代	回答
15年以上 ～20年未満	50代	大学に行った（心理を学んだ）ことで、試験を受ける資格を得たため、養成講座の経験がありません。 こまぎれではなく一回分の面接実習を、見るだけでも経験してみたかった。例えば、実技指導者がカウンセラーとして。叩き台として。
10年以上～15年未満	50代	実技が多いのは良かったです。筆記試験はほぼ放置に近く、試験に苦勞しました。特に、過去問や事例の解説がわかりにくい。試験対策に力を入れてほしい。
1年以上～5年未満	40代	受講中よく他の受講者と話していましたが、指導者同士のロールプレイをみてみたかったです。



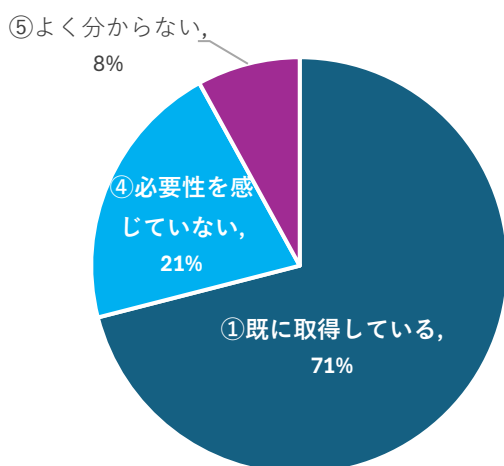
選択肢別全体



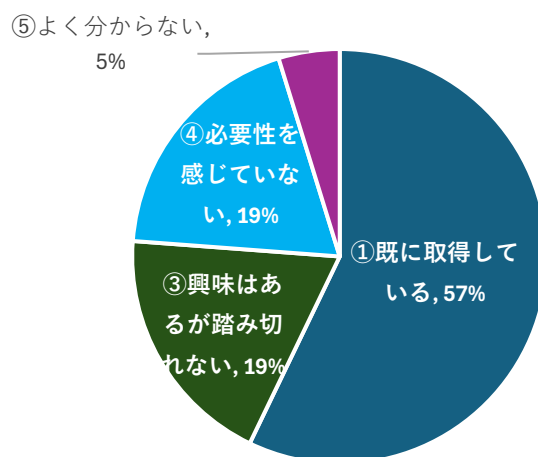
青森会員回答



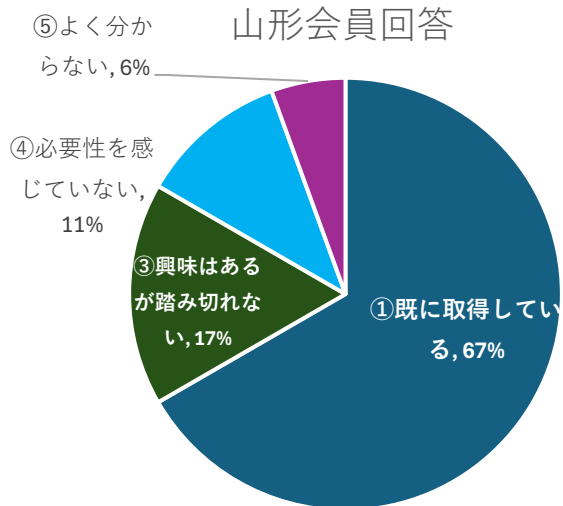
秋田会員回答



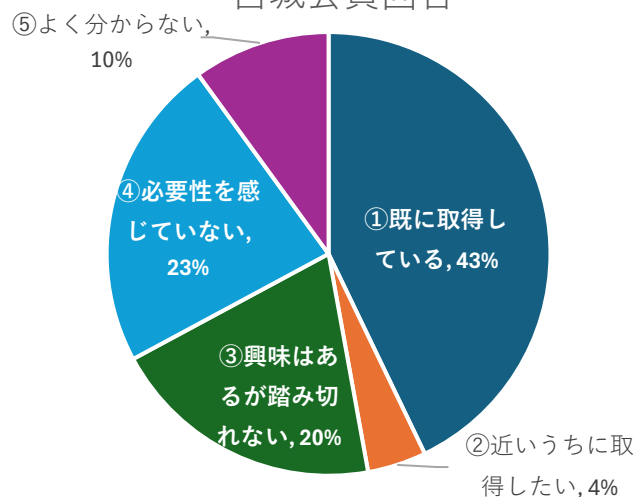
岩手会員回答

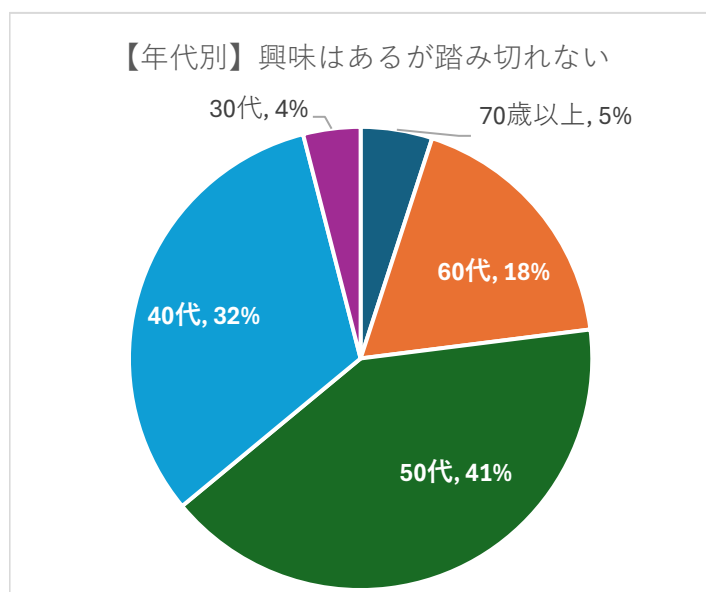
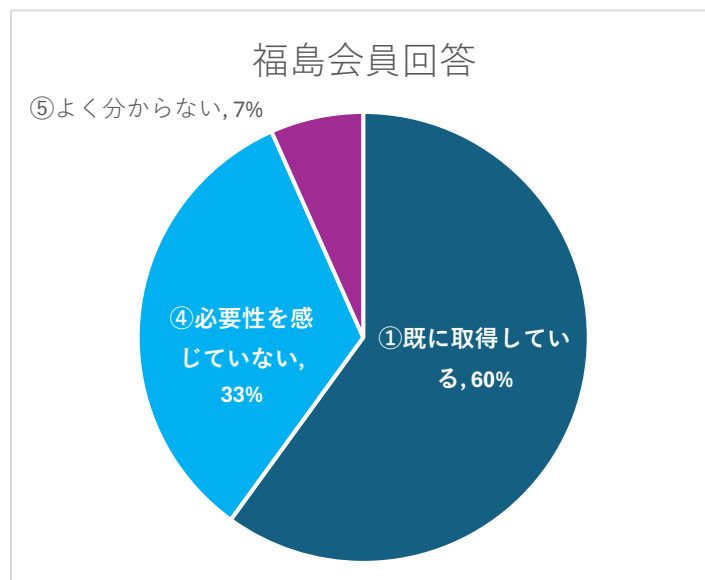


山形会員回答



宮城会員回答

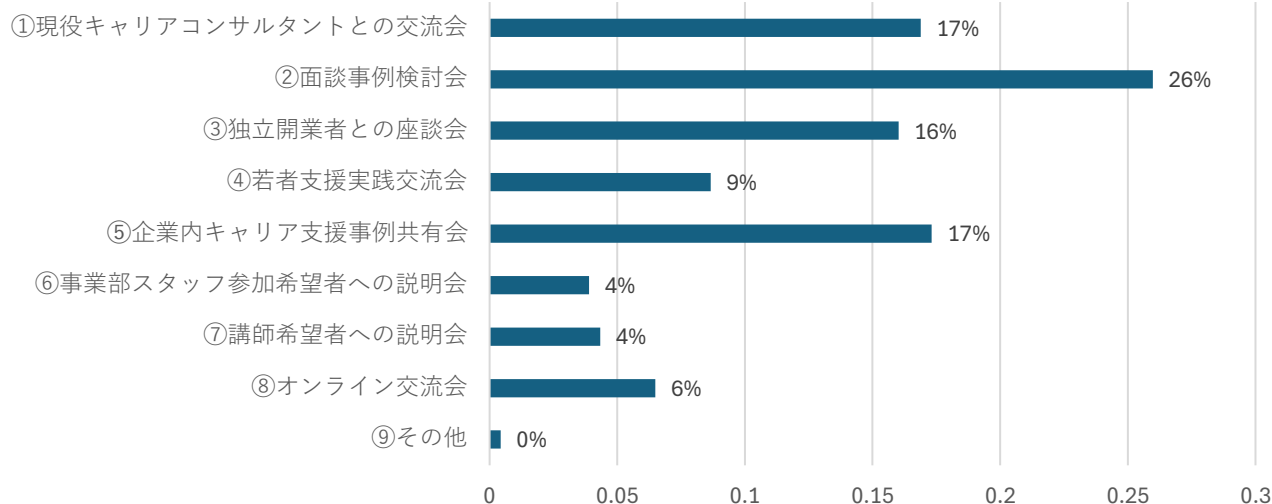




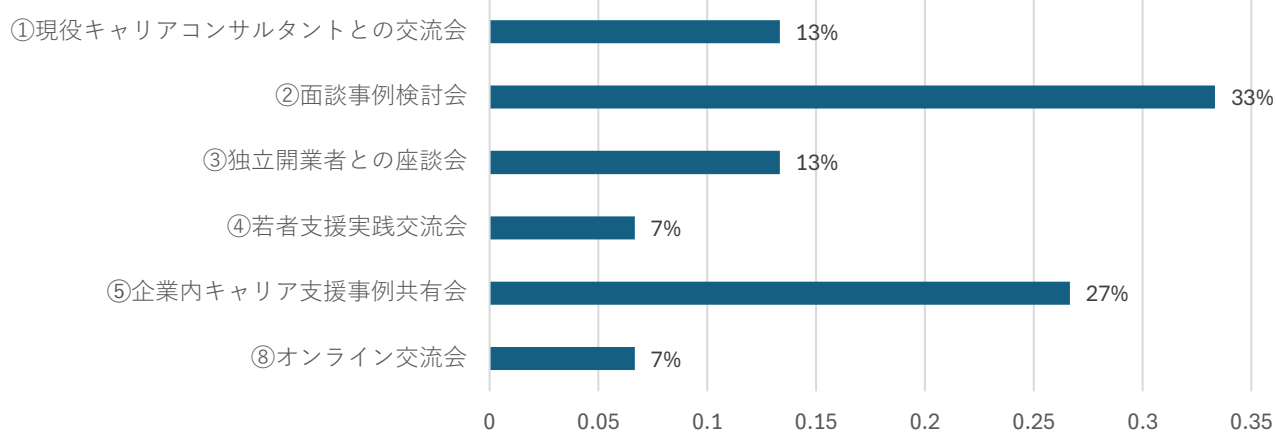
踏み切れない理由があれば教えてください。

①費用が高い	41%
②試験が難しそう	25%
③活用イメージが無い	16%
④メリットが分からない	10%
⑤その他	8%

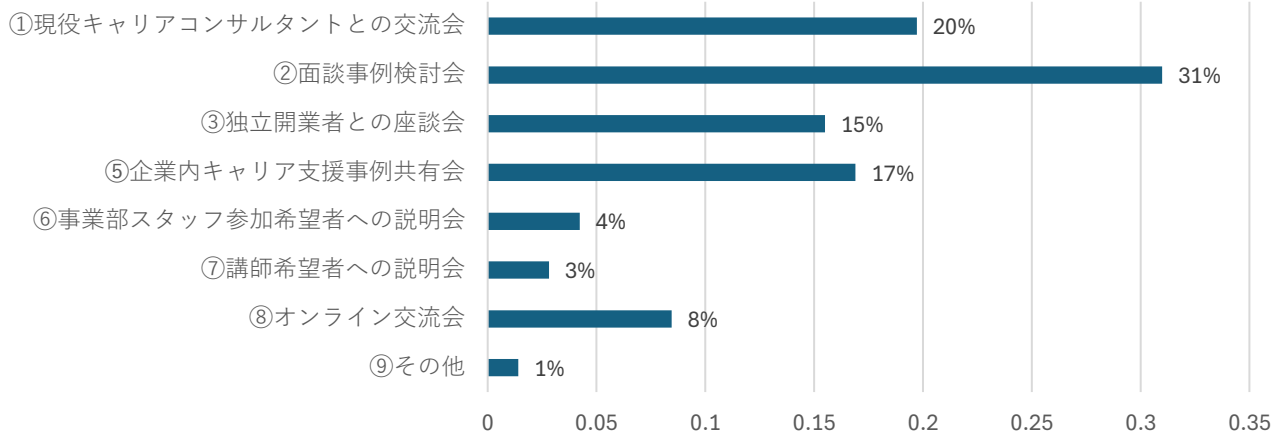
全回答



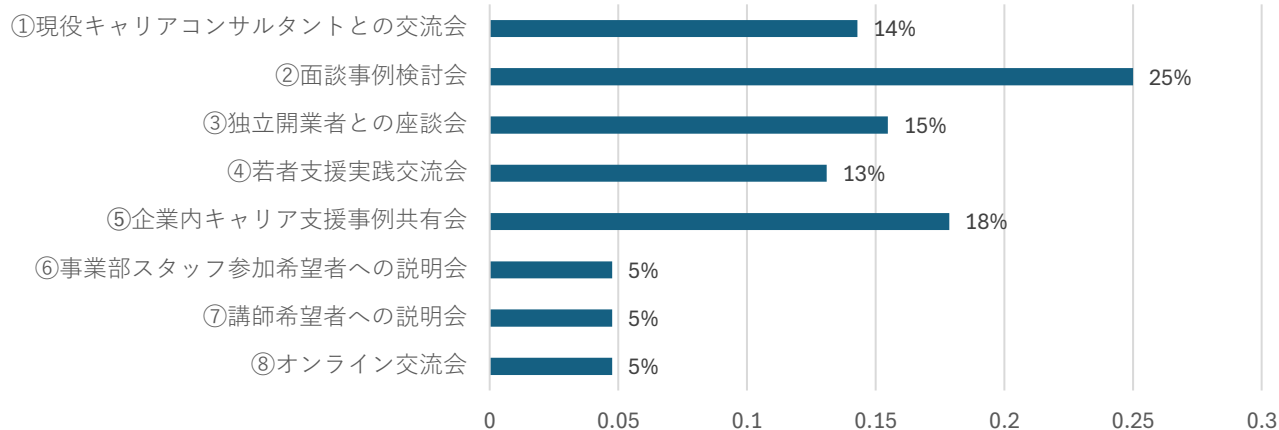
70歳以上回答



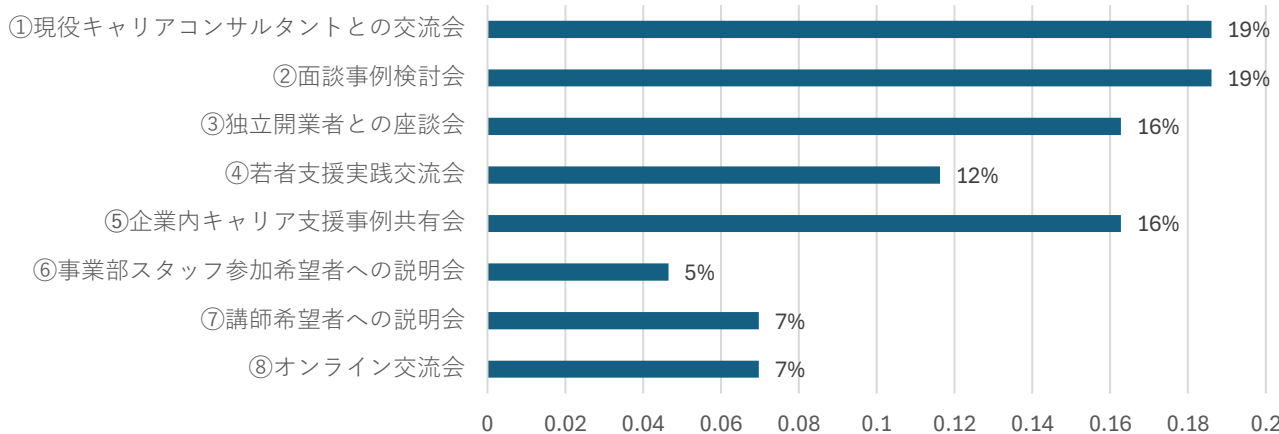
60歳代回答



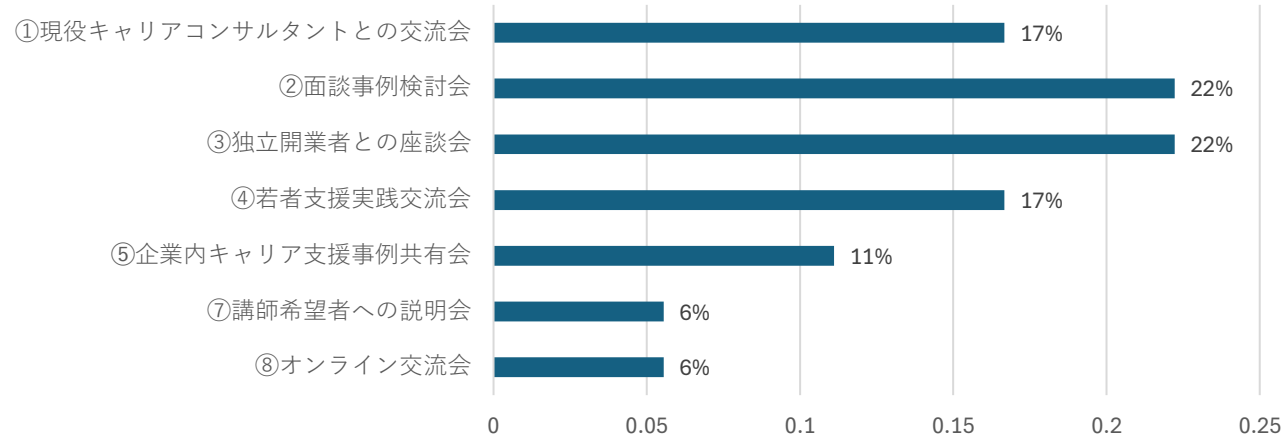
50歳代回答



40歳代回答



30歳代回答



相談事業部 質問	相談事業部は相談員の育成と自死対策支援の活動を行っております。 どのような研修があれば、積極的に参加したいと思いますか？具体的な研修についての要望がございましたら教えてください。
-------------	--

青森回答		
支部会員歴	年代	回答
10年以上 ～15年未満	60代	地域毎に存在する困窮者の支援制度の紹介 ①希死念慮に対する相談対応研修 ②ハラスメント被害者相談対応研修
1年以上 ～5年未満	70歳以上	電話相談研修
	60代	デブリーフィングの仕方
	50代	今は心身に余裕がないので思いつきません。
	40代	複数の実例に基づいた実践的な研修
	30代	実践形式の研修

秋田回答		
支部会員歴	年代	回答
15年以上～20年未満	60代	前回のような自死に関わる学びは関わる勇気がもてるのでシリーズ化していただくこともうれしいです
10年以上 ～15年未満	70歳以上	仕事があり、時間が取れなかったから、Zoomとかなら、参加できたり、後から、見ることも出来る。
	50代	カウンセラーもクライアントも暗くならない方法
		「電話相談のコツ」「SNS相談のコツ」など、相談媒体に特化した対応の仕方についてe-ラーニング形式で行います。電話相談もSNS相談も、対面と比べて情報量が大きく少ないので、どのように相談者理解をするかを解説します。カリキュラムには必ず、OJT（相談実務に数日間従事する）を入れるといいかもしれません。
5年以上～10年未満	60代	事例検討会

岩手回答		
支部会員歴	年代	回答
20年以上	50代	具体的相談事例紹介とその対応例。好事例と逆に悪い事例も。
15年以上 ～20年未満	60代	トラウマケアです。
		対応に自信がないので積極的に参加を躊躇してしている
5年以上	60代	参加希望します
～10年未満	50代	クライアントに死にたいと言われた時の対処法について。
1年以上 ～5年未満	50代	能力も経験も乏しい自分には何もできないと思っていましたが、講師のお話は命を守る使命感にあふれていて勇気をいただきました。やはり現場に精通している意識の高い先生による研修を望みます。
		講座のように、どこかに集まって、こういう話をされたらこう答える的な実践を見てみたい。
	40代	相談員になるための勉強がまだよくわかっていないので、今は要望はありません。
1年未満	30代	死というセンシティブな話題に対してどう向き合うかは学びが必要

相談事業部は相談員の育成と自死対策支援の活動を行っております。
 どのような研修があれば、積極的に参加したいと思いますか？
 具体的な研修についての要望がございましたら教えてください。

山形回答

支部会員歴	年代	回答
10年以上 ～15年未満	60代	電話相談対応 精神疾患の理解とその対応 ゲートキーパー
5年以上 ～10年未満	60代	時々、自殺をにわたせるクライアントからの相談を受けることがあり、自身のレベルアップの必要性を感じています。そのため、実際に多くのこうした相談に対応している「経験者」と、その対応方法をきちんと解説できる「理論的な知識のある方」の両方が参加する、ロールプレイングのワークショップであれば積極的に参加したいと思います。なかなか両方の要素が揃う講座は少ないように思います。 活動の内容を知りたい
1年以上 ～5年未満	70歳以上	電話での危機対応への具体的な対応の方法や事例研究。
	40代	相談となると傾聴だけでは不足だと思います。傾聴以外のテクニックを教えてください。

宮城回答

支部会員歴	年代	回答
20年以上	70歳以上	ポストインターベンション
		理論的なものを皆で輪読する会、それを実践する会、などがあると実践力の向上につながる。
	60代	以前実務で自死事案発生時の職場に対するアフターケアをやっておりました。そういった分野の必要性も感じております。
		産業カウンセラーが、中小企業で相談室を作るための仕組み作りの実例。
		認知行動療法
		自死対策支援は、専門性が問われると思いますし、相談内容也多岐にわたりますから、シリーズで学べるもの、実際に近い事例検討などができる機会があるとありがたいです。
		事例検討会
	50代	対決場面、危機対応
自死対策支援は積極的に参加したいが、まず、東北支部でやっていることを知らなかった。（神奈川支部の講座に参加しようと思っていた）		
15年以上 ～20年未満	60代	事例検討やロールプレイ
		経験豊富な精神科医、カウンセラーの事例を交えた研修。
	50代	あまりお金がかからない。
		現在相談員を実際にされている方々の経験を伺うことができるような研修。 専門性の高い講師と内容であれば参加をしていました。
10年以上 ～15年未満	50代	飽きない講座。
		危機対応やグリーフ支援の研修
		事例検討

相談事業部は相談員の育成と自死対策支援の活動を行っております。
 どのような研修があれば、積極的に参加したいと思いますか？
 具体的な研修についての要望がございましたら教えてください。

10年以上 ～15年未満	40代	リファラーの仕方に関する研修。提携医療機関の紹介などの研修。人格障害への対応の研修。
	60代	グリーフケア
5年以上 ～10年未満	50代	能力向上教育のような、実技研修付きのがあると嬉しい。初心者や、久しぶりの方に参加して欲しいと書いてると安心して参加出来る。
		受講した先に活動できるところがある。とわかれば、受講したい。
		企業における相談事例にみる時代の変遷と現在の企業動向。
		シニア講座のような科目を設定して単位取得形式が良い
1年以上 ～5年未満	50代	メンタルヘルスの講習会（無料、もしくは安価な設定で）
		逐語記録の研修。
		セルフケアの研修
		もっと小さいうちからカウンセリングに親しめたらと思います。
		学校ではまだカウンセリングは敷居が高いとされています。先生ですらそうです。
		基本的な講座受講の機会。
		自身ができるだろうか、と踏み出せない気持ちがあるので実際の支援の場の見学機会があればうれしい
	40代	教室で講座を受けていた時と実際のカウンセリングは違う部分もあると思うので、そういったところを聞いてみたい。
		以前参加させていただいた、いのちの電話さんからの講習や、相談員経験者からの事例、ケースの研修会など学びを深められると安心して参加してみようと思えると思いました。
		グループワークや事例検討ができるとイメージアップできると思います。
	30代	都合が合えば参加したい。
		相談員自身のメンタルケア（セルフケア・グリーフケア）に関する研修を希望する。重い相談を継続的に受ける中で、二次的外傷性ストレスやバーンアウトのリスクを感じる機会がある。相談員が長く活動を続けるために、自らの心を守る方法や、事例を安全に振り返る場（グループスーパービジョン等）についての研修があれば参加したい。

福島回答

支部会員歴	年代	回答
15年以上 ～20年未満	60代	事例検討
	50代	事例情報提供と、そこから得た教訓。加えて、さらにいい方法があるかどうかについての討論（提供者を否定しない配慮を必須で）。
		機会（日時のタイミング）があれば、受けてたいです。

相談事業部は相談員の育成と自死対策支援の活動を行っております。

どのような研修があれば、積極的に参加したいと思いますか？

具体的な研修についての要望がございましたら教えてください。

10年以上 ～15年未満	60代	自死対策支援活動で、電話相談があれば参加したいです。その際には、参加条件をあげていただいて、研修時間を何時間など設けていただければと思います。
	50代	事例検討会
	40代	メンタルヘルス

相談事業部
質問

カウンセリングの実務において、困難を感じる場面がありましたら教えてください。

青森回答

支部会員歴	年代	現就労形態	回答
20年以上	60代	契約社員・嘱託社員	見立ての困難さを感じています
10年以上	60代	正社員・正職員	情報共有の線引き。
～15年未満	50代	正社員・正職員	カウンセリング業務に日常従事していないため、場面がありません。
1年以上 ～5年未満	70歳以上	正社員・正職員	上司、人事との調整
	60代	正社員・正職員	カウンセリング自体を苦痛と感じている人
	50代	経営者・自営	今は心身に余裕がないので思いつきません。

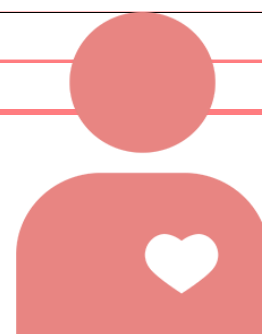
秋田回答

支部会員歴	年代	現就労形態	回答
15年以上～20年未満	60代	経営者・自営	情報共有の線引き
10年以上 ～15年未満	70歳以上	経営者・自営	職場の連携
	50代	正社員・正職員	職場との連携
	50代	経営者・自営	私が直面したのは「倫理的判断」でした。義務の衝突は、相談員としては理解を深め、自分なりの線引きをする必要があります。
5年以上	60代	契約社員・嘱託社員	・職場との連携 ・情報共有の線引き
～10年未満	40代	正社員・正職員	経営者の理解が進まない



岩手回答

支部会員歴	年代	現就労形態	回答
20年以上	50代	契約社員・嘱託社員	・職場との連携 ・上司、人事との調整 少ない回数や担当が変更 する中でのカウンセラー間の情報共有
15年以上 ～20年未満	60代	契約社員 嘱託社員	職場との連携 見立ての難しさ 見立て
		経営者・自営	・組織的に行う面接、例えば新人のメンタルヘルス面接では、本人は悩みなんか無いと話します。が、それは鵜呑みにはできず、心さえ開いてくれればいろいろな問題を抱えていることがわかります。限られた時間枠の中でそこまでCLに近づけるかどうか、あの手この手で毎回50分1本勝負をしているような感じです。 ・私の場合は、大半のCLが上司からすすめられて来たビジター型の相談者です。上司にどこまでフィードバックすればいいかは、毎回悩みます。 ・若い方のトラウマケアを数回にわたって続けていた時、ある時から来なくなりました。こちらからは連絡がとれないため、どうしているのだろうか、会社を辞めてしまったのか、悪化して外出もできないようになってはいないか、などなど心配ばかり募りました。こちらから積極的に介入できないことにもどかしさを感じました。 ・自殺念慮はままありましたが、自殺企図を繰り返しているとなるとこのまま返してよいものかどうか悩みました。 ・専門医にリファーしたいケースは多々あります。しかし現実的にリファーと言っても情報提供しかできません。それもたいていのクリニックは新患は受け付けないか、半年待ちと言われるようです。なにか秘策はないものかと悩みます。
5年以上 ～10年未満	60代	パート アルバイト	キャリアコン歴長い上司が変な人で困っている。が上司自身気づいていない。
	50代	経営者 自営	フリーランスとして活動しているため、カウンセリングの良さを伝えること
1年以上 ～5年未満	50代	正社員 正職員	実務経験が無いのが悩みです。 見立ての難しさと情報共有の線引き、人事と上司の調整。
	40代	正社員 正職員	自分自身のメンタル調整 見立ては難しいと感じます
1年未満	30代	正社員・正職員	上司との連携



山形回答

支部会員歴	年代	現就労形態	回答
15年以上～20年未満	60代	経営者・自営	職場との連携
10年以上 ～15年未満	60代	正社員・正職員	職場で活用されていない
		契約社員 嘱託社員	職場の理解。特に、創業者とのギャップ。 事業所に倫理的に決定的な誤りがあった場合の伝え方
5年以上 ～10年未満	60代	正社員	CLに回答を求められた時
	40代	正職員	上司、人事との調整 ・見立ての難しさ ・情報共有の線引き
	60代	無職	多様な理由から人を信用できなくなっているクライアントへの対応に困難を感じます。そうした方は、笑いながら表面的な話だけをして面接を終わらせたい傾向があるように見受けられます。カウンセラー側に、話を深めるための「引き出し」やアプローチの技術がないと、双方にとって効果の少ないカウンセリングになってしまうという難しさを実感しています。
1年以上 ～5年未満	60代	契約社員・嘱託社員	見立ての難しさ、情報共有の線引きは難しいと感じることがあります。
	40代	正社員 正職員	職場との連携。面談をする中で、相談者のことを職場の上司は良く思っていないケースが多いので、いかに相談者が悪者にならないか注意して対応しています。また自部門の上司も面談について理解していないので困難を感じています。

宮城回答

支部会員歴	年代	現就労形態	回答
20年以上	70歳以上	パート・アルバイト	情報共有の線引き、倫理的判断
		無職	疾病性が高く、再燃・再発を繰り返しているクライアントへの対応
	60代	契約社員 嘱託社員	ケースによって変化するので例で上げられたもの以外にもあると認識しております。 主治医や職場との連携
		経営者 自営	雇用している障害者（精神疾患を抱え業務がこなせるとは思えない）の相談と休職を悪用していると思われる従業員の対応。 難事例の進め方、倫理ジレンマ
		無職	見立ての難しさはもちろんのこと、職場との連携や情報共有の線引きはある程度の職場環境(キーパーソンやそれぞれの職位の役割など)を理解していないと動けません。また、自分の立ち位置をわきまえていないと公正な判断や対応が妨げられてしまいます。
15年以上 ～20年未満	60代	契約社員 嘱託社員	見立ての難しさ、職場との連携と情報共有の間の線引き。 見立てに伴う支援方針
		パート・アルバイト	他職種との連携、情報の共有
	50代	契約社員・嘱託社員	見立ても難しいですが、直接職場とは繋がれないため、ご本人への助言に限界を感じることは多々あります。
		経営者	記録の取り方

10年以上 ～15年未満	60代	経営者・自営	情報共有の線引き
	50代	正社員 正職員	上司との調整
			過去の体験について恐怖や心の痛みを抱えている方へのアプローチが難しい。
		契約社員・嘱託社員	一方的な高齢者
		経営者 自営	組織にもできることは限られる(従業員が少ない事業場はなおさら)ので、その辺の調整することの難しさは常を感じております。
5年以上 ～10年未満	40代	正社員 正職員	職場での合理的配慮。障害者雇用やリワークなどジョブコーチや就労移行支援事業所との連携
	60代	契約社員・嘱託社員	職場との連携なし
	50代	正社員 正職員	リファー先
			情報共有の難しさは感じる。産業医や保健スタッフとの連携は安心してできるが、会社側と話す時は、相手の知識やレベルを把握するまで心配で共有できない。そこまでの関係性を作るまでが長い。
		パート・アルバイト	見立ての難しさです。
1年以上 ～5年未満	50代	経営者・自営	個人でのカウンセリングは費用が発生するので可能な限りカウンセリング回数を減らしたい一方、継続が必要でも費用面から簡単に「また来週」とは言えないジレンマ。
	40代	経営者・自営	実務に就くまでが難しい。
	60代	パート・アルバイト	見立て
	50代	正社員 正職員	人事との連携、すでに契約しているカウンセラーがいるのでそちらが対応しており関わりそのものが難しい
			まだカウンセラーになっていないのでわかりません。
			上司の意識改革
			情報共有の線引き。
	40代	契約社員 嘱託社員	情報共有の線引きは難しいと感じます。
		パート・アルバイト	企業内相談の守秘義務
			倫理判断
	40代	経営者・自営	職場との連携
		無職	連携を構築していくのはなかなか難しいのかなぁーと思いました。
1年以上 ～5年未満	30代	正社員・正職員	上司・人事との調整



福島回答

支部会員歴	年代	現就労形態	回答
20年以上	60代	経営者・自営	世代間ギャップなど
15年以上 ～20年未満	60代	契約社員・嘱託社員	・情報共有の線引き
	50代	契約社員・嘱託社員	情報共有の線引き（集団守秘義務ありの場合で）
		一般派遣労働者	情報共有の線引き。
10年以上 ～15年未満	60代	パート・アルバイト	見立ての難しさはいつも感じています。担当職員など関係者には必ずその難しさについてはお話しするようにしています。
	50代	正社員・正職員	情報共有の線引き
	40代	正社員・正職員	職場と人事の調整
5年以上～10年未満	40代	正社員・正職員	診断は受けていないいわゆるグレーゾーンといわれる方の面談のとき、どうしても話が噛み合わず難しさを感じている。 受診したこともなく、もちろん医師からの診断もなく、医療にも福祉にも繋げることができずどうしたものかと考えてしまう。

相談事業部 質問	相談事業部が開催している研修やイベントについて、改善して欲しい点がありましたら教えてください。
-------------	---

青森回答	
支部会員歴	回答
10年以上 ～15年未満	毎回、お伝えしていますが、事情は察しますが仙台中心の開催を現状より見直していただき、地方都市(県庁所在地以外も含め)開催を増やしていただきたい。
1年以上 ～5年未満	今は心身に余裕がないので思いつきません。 養成講座の復習ができる講座を設けて欲しい

秋田回答	
支部会員歴	回答
10年以上～15年未満	※ 質問の意図がよく分かりませんので、回答は差し控えます。
5年以上～10年未満	説明がなく不鮮明

岩手回答	
支部会員歴	回答
15年以上 ～20年未満	私たちはプロボノをもっとやるべきだと思います。 それが産業カウンセラーの社会的な地位向上にもつながります。 なのでイベントを増やしてはどうかと思います。
5年以上～10年未満	職場定着のために職場で悩みを相談できない人のための電話相談 登録して仕事に繋いでいただきたいです。独立の仕方を知りたいです。
1年以上 ～5年未満	登録カウンセラー基礎研修10科目が年3科目程度しか開催されず、タイミングが合わないといつまでたっても実践研修を受けられないという課題が解決されようとしていてよかったと思いますが、頑張っすべて履修した者には相応の待遇を与える必要があるのではないのでしょうか。

山形回答	
支部会員歴	回答
5年以上 ～10年未満	登録カウンセラー研修については、過去に受講した際、当時の指導方針や対応に強い疑問を感じる経験があり、現在は受講に興味を持てない状況です。 また、働く人の電話相談等についても、現在は他の電話相談ボランティアとしての活動や、自身の主催する勉強会の運営（ゆっくりと必要な方に心理学の知恵を届ける活動）に時間を充てており、参加を検討していません。
1年以上～5年未満	具体的な表記はわかりやすいので、改善してほしいです。（事務局注：原文ママ）

宮城回答	
支部会員歴	回答
20年以上	働く人の電話相談の受電数が少ない
	ロードマップが分からなくなってしまう、自分の受講歴が中途半端でこれから何を受講すれば良いか選択できずにいます
	資格を取っていける研修の開催 他団体とコラボして其々の療法などの資格
	働く人の電話相談を通常的にやれると助かる人が増える。また、実践力の向上にもつながる。
15年以上 ～20年未満	もし可能であれば、東北支部で受講できるシニア産業カウンセラー講座が増えると嬉しいです。
	研修の具体的な内容がわかるようにしてほしい。
	働く人の電話相談や孤独孤立ダイヤルの周知活動はあまりされていないように思います。勿体なく感じます。
	(昔はテッシュを配ったり、ニュースに出ていたりしましたよね)
10年以上 ～15年未満	自分が登録カウンセラーになりうるには何が必要かよくわからなくなった
	時間の短い講座、午前もしくは午後だけで終了する、時間帯。派遣先リストひよさささ(事務局注：原文ママ)
	直前の情報提供が多いように感じます。スケジューリングに余裕を持ちたいのでなんとかありませんでしょうか。
5年以上 ～10年未満	研修やイベントは基本的に仙台市内ですが、県内のいろいろな場所で開催してほしいです。
	電話相談など会員が活躍できる場所がないとスキルアップなどにもつながらない
1年以上 ～5年未満	もっと実践につながる機会を設けてほしい。
	申し込み用紙がPDFではないほうがありがたいです。
	全てにおいて研修会がもっとあるといいなぁーと感じております。

福島回答	
支部会員歴	回答
10年以上 ～15年未満	登録カウンセラー基礎研修が1年間で完結しない。
	日程もイレギュラーでわかりにくい。
	定期的に開催してほしい。座学などは録画した動画にしてもらってもかまわない。
	現役で働いていると研修日時が固定であると助かる。
5年以上 ～10年未満	福島県での研修の充実
	自分で情報を取りに行っていないからかもしれませんが、あまり開催予定や実績を把握していません。

相談事業部
質問

派遣カウンセラーとして活動するために、どのようなサポートがあると参加しやすくなりますか。未経験の方のご意見もご自由にお願いします。
例)・ケース共有の機会(事例検討) ・活動後のフォロー面談 ・定期的に集まる場 など

青森回答

支部会員歴	年代	回答
10年以上～15年未満	60代	ケース共有の機会提供、経験者によるチューター制度のようなもの
5年以上～10年未満	50代	定期的に集まる場
1年以上～5年未満	70歳以上	例、すべて
	60代	事例紹介
	40代	活動後のフォロー面談はもちろんだが、派遣前に少ない現場経験をサポートしてくれるような、事前講習
	30代	支部単位よりもさらに近くにチューターとなる先生がいる、交流があれば参加しやすい

秋田回答

支部会員歴	年代	回答
10年以上～15年未満	50代	スーパービジョンの機会 事例集の公開
5年以上～10年未満	60代	・活動後のフォロー面談・定期的に集まる場

岩手回答

支部会員歴	年代	回答
20年以上	50代	・ケース共有の機会（事例検討）
15年以上～20年未満	60代	支部内での事例研究会の開催。 共通資料
5年以上～10年未満	70歳以上	派遣カウンセラー事業をしていることさえ知りません。
	60代	困った時にリアルタイムで相談できるパイプが欲しいです
1年以上～5年未満	50代	定期的に集まる場 ケースの共有と、定期的に集まる場
	40代	活動後のフォロー、活動している方の経験談の紹介 派遣先とのやり取り全般。待遇面などの情報提供
	30代	定期的に集まる



派遣カウンセラーとして活動するために、どのようなサポートがあると参加しやすくなりますか。

未経験の方のご意見もご自由にお願いします。

例)・ケース共有の機会(事例検討)・活動後のフォロー面談・定期的に集まる場 など

山形回答

支部会員歴	年代	回答
10年以上 ～15年未満	60代	情報提供
		定期的に集まる場があれば参加してみたい。
		同一事業所に複数のカウンセラーがかかわっていた際の、ケース共有
		情報交換の場
5年以上 ～10年未満	60代	もし派遣カウンセリングが継続的に実施されるものであるならば、対応するカウンセラーを2名体制にいただけると、個人の負担が大きく軽減されると感じます。また、オープンダイアログの考え方を取り入れたグループカウンセリングも選択肢として選べるようになると、対話を通じて解決の方向にも向かいやすくなるのではないかと思います。
		活動後のフローや事例検討
	40代	定期的に集まる場
1年以上 ～5年未満	60代	ケースの共有、フォロー面談
	40代	事前に研修やケース共有の機会があれば参加しやすいです。

宮城回答

支部会員歴	年代	回答
20年以上	70歳以上	ケース共有の機会（事例検討）
	60代	ケース共有の機会
		不定期でのケース共有。
		定期的に半ば強制的研修により能力向上ができると考える
		派遣先の実情や環境、カウンセリングの重要性の認識などがことなりますから、やはり振り返り的な学びの場は必須と考えます。（ケース共有の機会・活動後のフォローの場、個別・集団など）
		スーパービジョン（グループ参加の事例検討会）
15年以上 ～20年未満	50代	少人数制のグループ活動。その中で例に書いていただいたことを実施する
	60代	ケース検討会、カウンセラー同士の交流の場
		活動後のフォロー面談でSVが受けられると、参加しやすくなるかも知れません。
		定期的に集まる場
	50代	複数のカウンセラーでの相談対応 例に記入されているもの全て、そう思います。実践されているのでしょうか。
10年以上 ～15年未満	60代	基礎力のアップというか、もう一度引き上げが必用
	50代	サポート体制
		派遣リスト等
		経験豊富な先輩からのサポート体制
		事例検討及び情報の共有を定期的に行うことかなと思います。
	40代	個人ではなく、協会として保障してほしい。

派遣カウンセラーとして活動するために、どのようなサポートがあると参加しやすくなりますか。

未経験の方のご意見もご自由にお願いします。

例)・ケース共有の機会(事例検討)・活動後のフォロー面談・定期的に集まる場 など

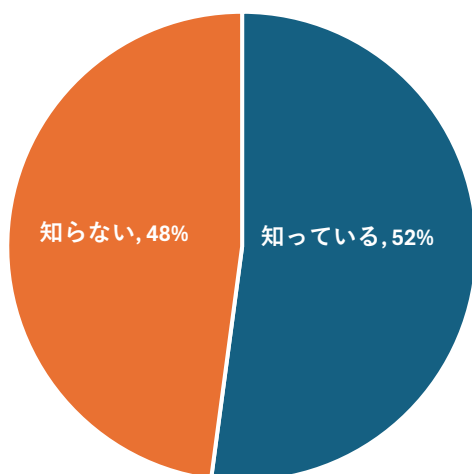
5年以上 ～10年未満	50代	事例の共有があると助かる。定期的な勉強会があると嬉しいし、参加したいと思う。
		派遣カウンセラーとは、こういった活動をしているのかわからないですが、チームとしてケース共有や面談は必要だと思います。
		・定期的に集まる場、これがひいてはフォローから共有まで可能だと思う。
		仕事内容をもっと詳しく知りたい
		活動後のフォロー面談
1年以上 ～5年未満	60代	情報共有ができる場
	50代	定期的に集まる場、ケース検討
		事例検討
		ケース共有の機会。
		ケース共有の機会、講座ではなく気軽に集まる場
	40代	事例検討
		派遣カウンセラーの先輩と共にそばで勉強もしていきたいし学びたい
		活動前後の面談があると未経験で不安があっても参加しやすいと思います。
		ケース共有やフォローの機会があると良いのではないかと思います。
	30代	重い相談を受けた後のフォロー面談やスーパービジョンがあると、安心して活動が続けられます。派遣という単発的な関わりだからこそ、活動後に振り返り、気持ちを整理できる場が重要だと感じます。困ったときにすぐ相談できる窓口・担当者が明確だと、より心強いです。

福島回答

支部会員歴	年代	回答
15年以上～20年未満	50代	例に挙げてくださった、ケース共有の機会（事例検討）。
10年以上 ～15年未満	60代	もし派遣される立場になったら、事例検討会があれば安心できると思います。
	50代	事例検討、活動後のフォロー
	40代	事例検討
5年以上 ～10年未満	60代	・ケース共有の機会（事例検討） ・活動後のフォロー面談 ・定期的に集まる場 すべてどれでも実施しているものに参加することで、サポートが充実すると思われます。
1年以上 ～5年未満	40代	未経験です。上記にもありますが、「事例検討」や「活動後のフォロー面談」があれば、参加を検討してみようかな？という気持ちになりやすいです。



全体

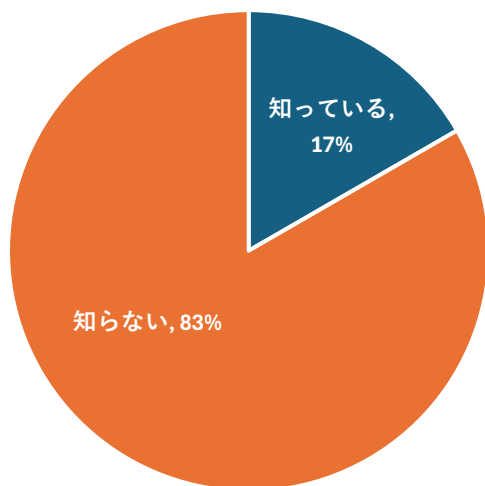


■各回答を100%とした際の支部所属歴

知っている	20年以上	15%
	15年以上～20年未満	22%
	10年以上～15年未満	20%
	5年以上～10年未満	20%
	1年以上～5年未満	22%
	1年未満	1%

知らない	20年以上	7%
	15年以上～20年未満	19%
	10年以上～15年未満	21%
	5年以上～10年未満	21%
	1年以上～5年未満	31%

青森回答

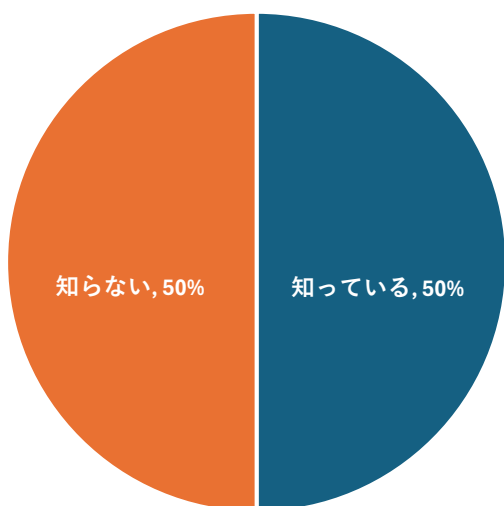


■各回答を100%とした際の支部所属歴

知っている	10年以上～15年未満	50%
	5年以上～10年未満	50%

知らない	20年以上	10%
	15年以上～20年未満	10%
	10年以上～15年未満	30%
	1年以上～5年未満	50%

秋田回答

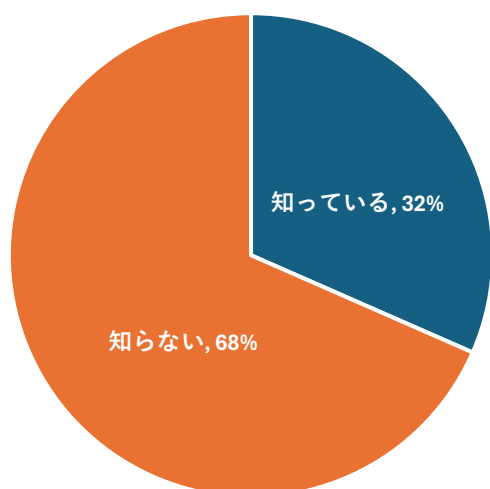


■各回答を100%とした際の支部所属歴

知っている	15年以上～20年未満	29%
	10年以上～15年未満	43%
	5年以上～10年未満	29%

知らない	15年以上～20年未満	43%
	10年以上～15年未満	29%
	5年以上～10年未満	14%
	1年以上～5年未満	14%

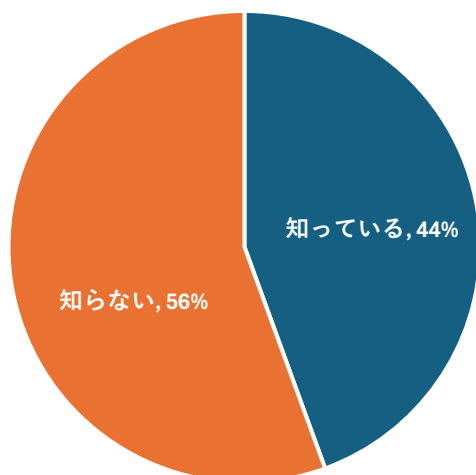
岩手回答



■各回答を100%とした際の支部所属歴

知っている	15年以上～20年未満	17%
	10年以上～15年未満	17%
	5年以上～10年未満	33%
	1年以上～5年未満	17%
	1年未満	17%
知らない	20年以上	8%
	15年以上～20年未満	15%
	5年以上～10年未満	31%
	1年以上～5年未満	46%

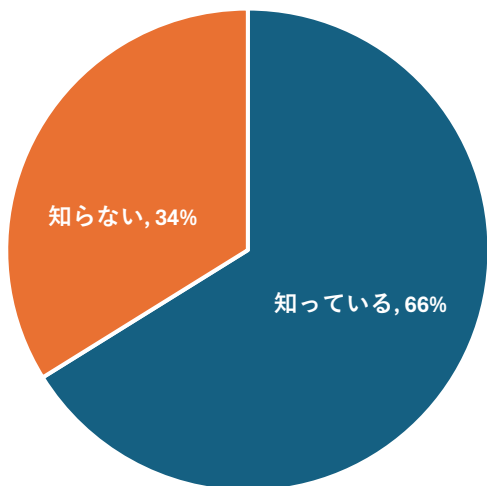
山形回答



■各回答を100%とした際の支部所属歴

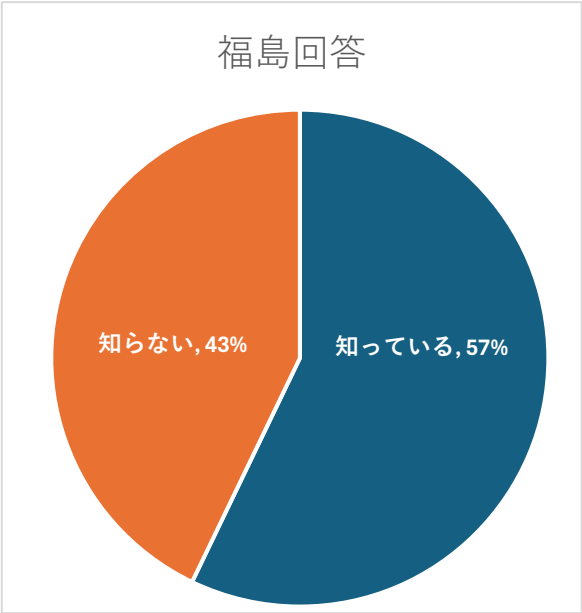
知っている	15年以上～20年未満	25%
	10年以上～15年未満	25%
	1年以上～5年未満	50%
知らない	15年以上～20年未満	10%
	10年以上～15年未満	30%
	5年以上～10年未満	30%
	1年以上～5年未満	30%

宮城回答



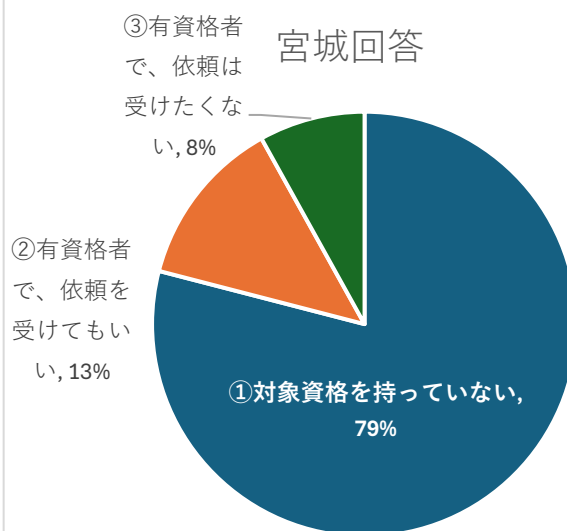
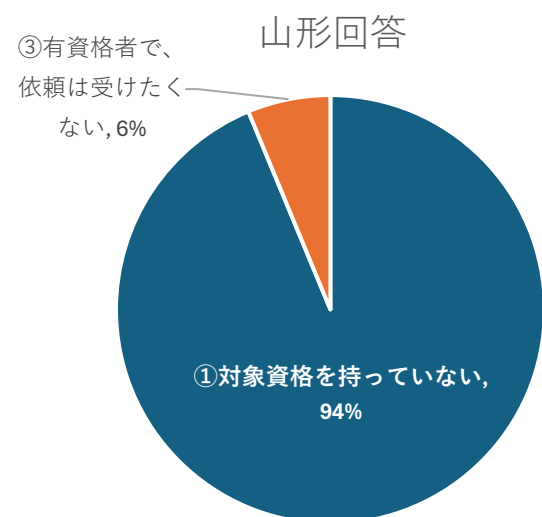
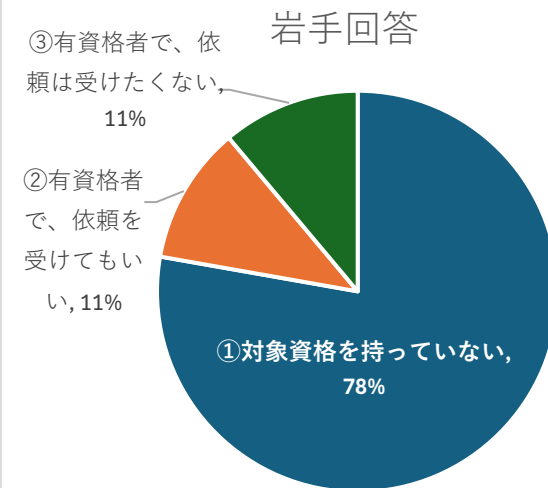
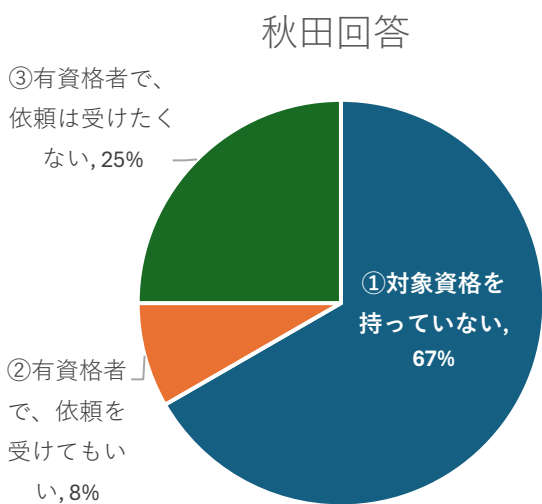
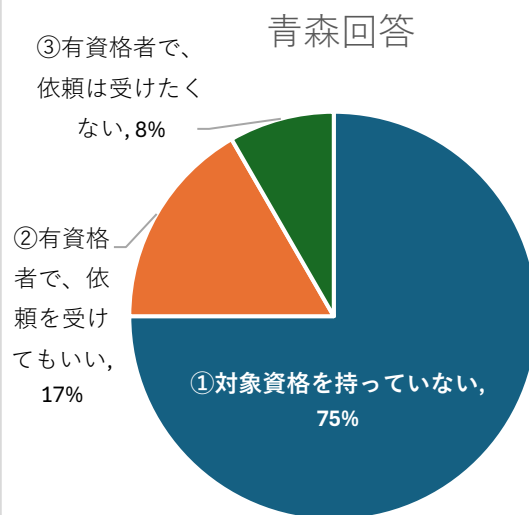
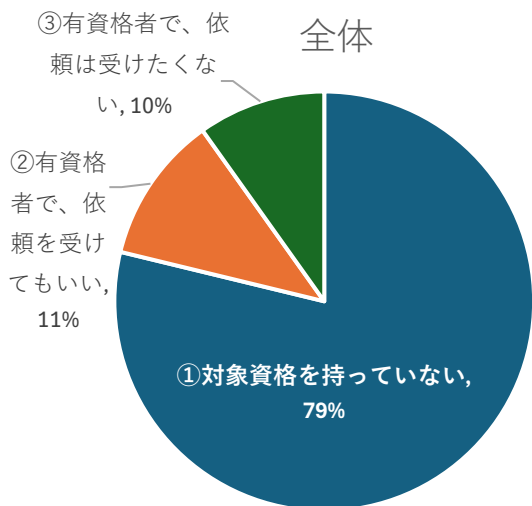
■各回答を100%とした際の支部所属歴

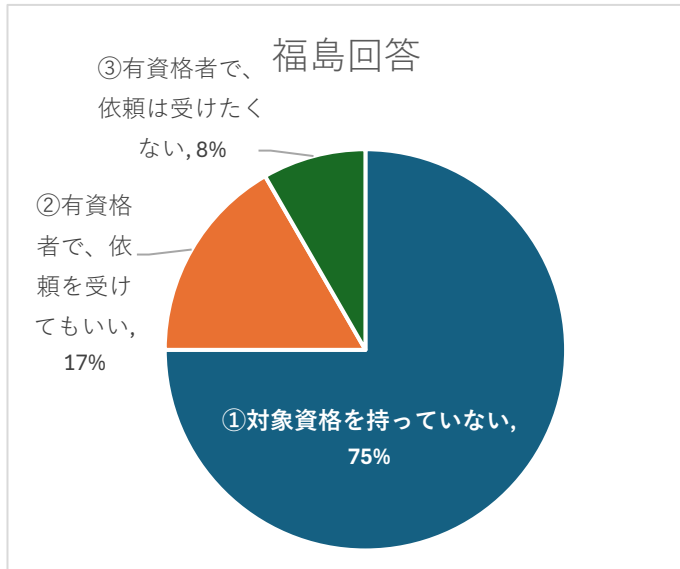
知っている	20年以上	23%
	15年以上～20年未満	21%
	10年以上～15年未満	12%
	5年以上～10年未満	19%
	1年以上～5年未満	26%
知らない	20年以上	14%
	15年以上～20年未満	18%
	10年以上～15年未満	23%
	5年以上～10年未満	18%
	1年以上～5年未満	27%



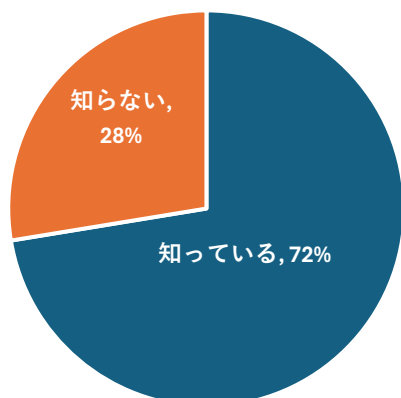
■各回答を100%とした際の支部所属歴

知っている	20年以上	13%
	15年以上～20年未満	25%
	10年以上～15年未満	38%
	5年以上～10年未満	25%
知らない	15年以上～20年未満	33%
	10年以上～15年未満	17%
	5年以上～10年未満	33%
	1年以上～5年未満	17%





全体

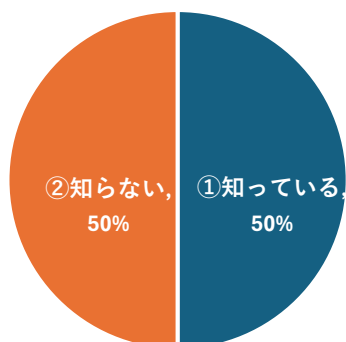


■各回答を100%とした際の支部所属歴

知っている	20年以上	13%
	15年以上～20年未満	22%
	10年以上～15年未満	17%
	5年以上～10年未満	19%
	1年以上～5年未満	28%
	1年未満	1%

知らない	20年以上	13%
	15年以上～20年未満	13%
	10年以上～15年未満	25%
	5年以上～10年未満	25%
	1年以上～5年未満	25%

青森回答

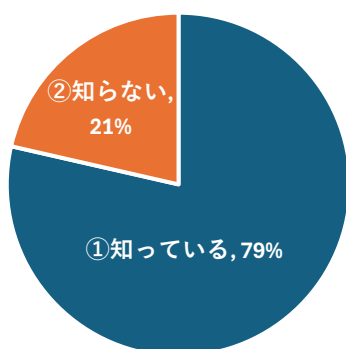


■各回答を100%とした際の支部所属歴

知っている	10年以上～15年未満	33%
	1年以上～5年未満	67%

知らない	20年以上	17%
	15年以上～20年未満	17%
	10年以上～15年未満	33%
	5年以上～10年未満	17%
	1年以上～5年未満	17%

秋田回答

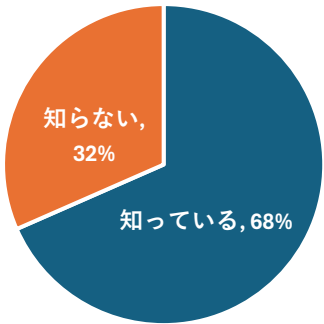


■各回答を100%とした際の支部所属歴

知っている	15年以上～20年未満	45%
	10年以上～15年未満	27%
	5年以上～10年未満	18%
	1年以上～5年未満	9%

知らない	10年以上～15年未満	67%
	5年以上～10年未満	33%

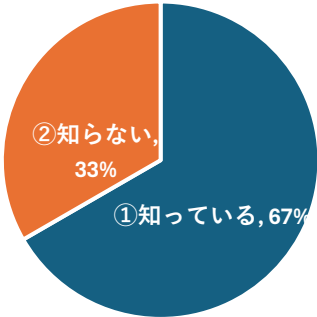
岩手回答



■各回答を100%とした際の支部所属歴

知っている	20年以上	8%
	15年以上～20年未満	15%
	5年以上～10年未満	38%
	1年以上～5年未満	31%
	1年未満	8%
知らない	15年以上～20年未満	17%
	10年以上～15年未満	17%
	5年以上～10年未満	17%
	1年以上～5年未満	50%

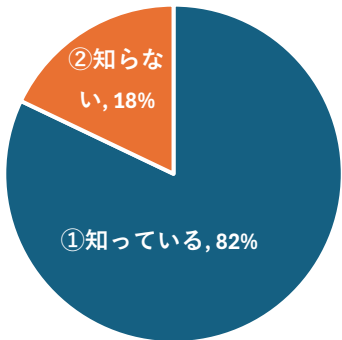
山形回答



■各回答を100%とした際の支部所属歴

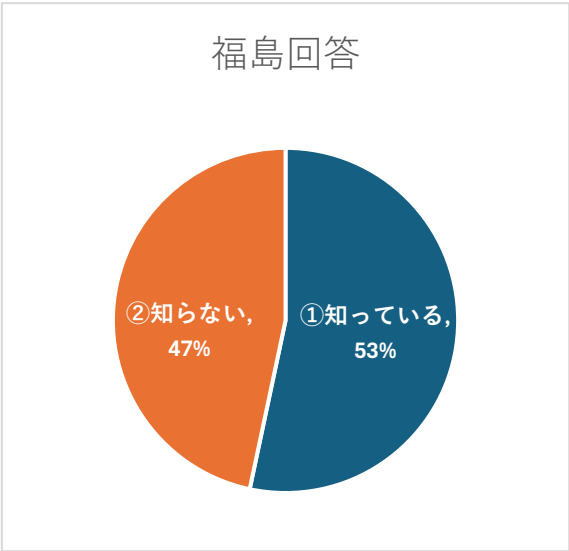
知っている	15年以上～20年未満	25%
	10年以上～15年未満	17%
	5年以上～10年未満	17%
	1年以上～5年未満	42%
知らない	10年以上～15年未満	50%
	5年以上～10年未満	33%
	1年以上～5年未満	33%

宮城回答

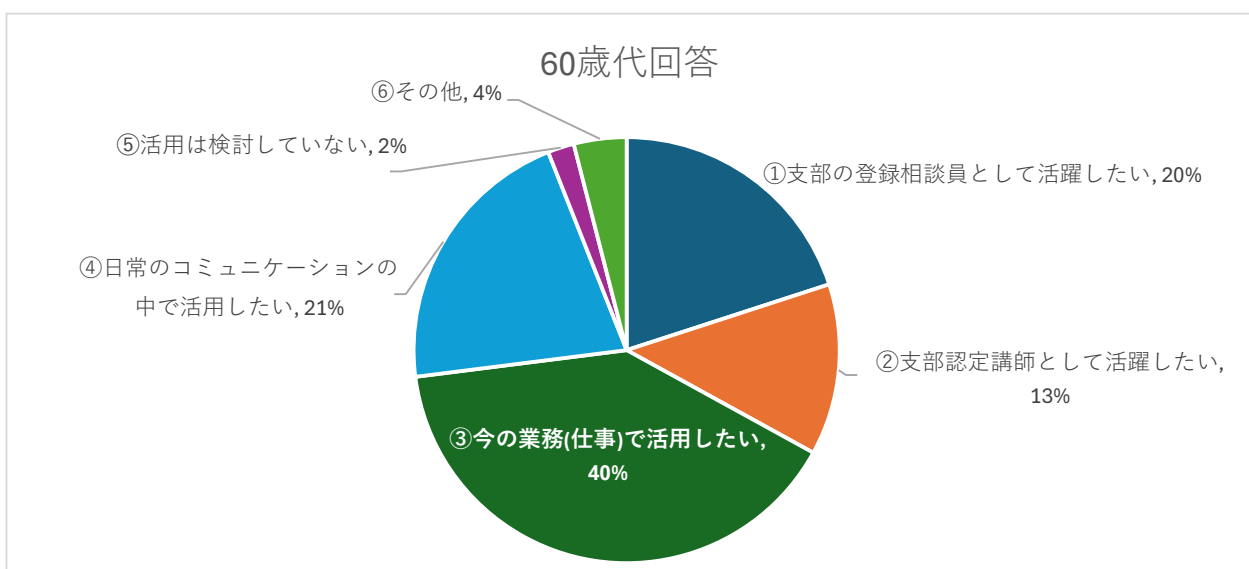
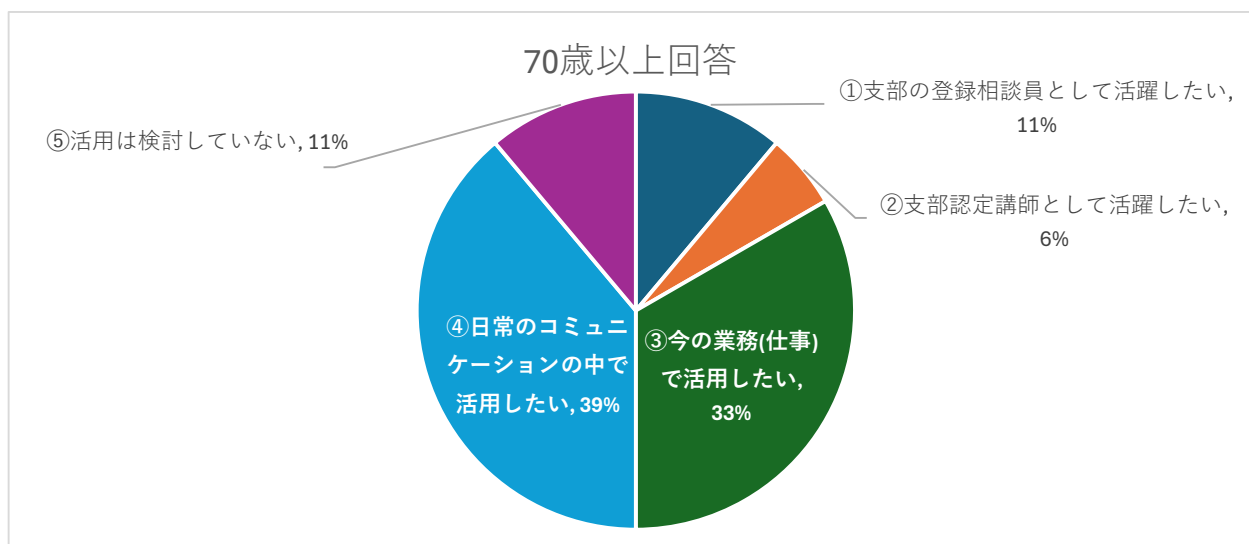
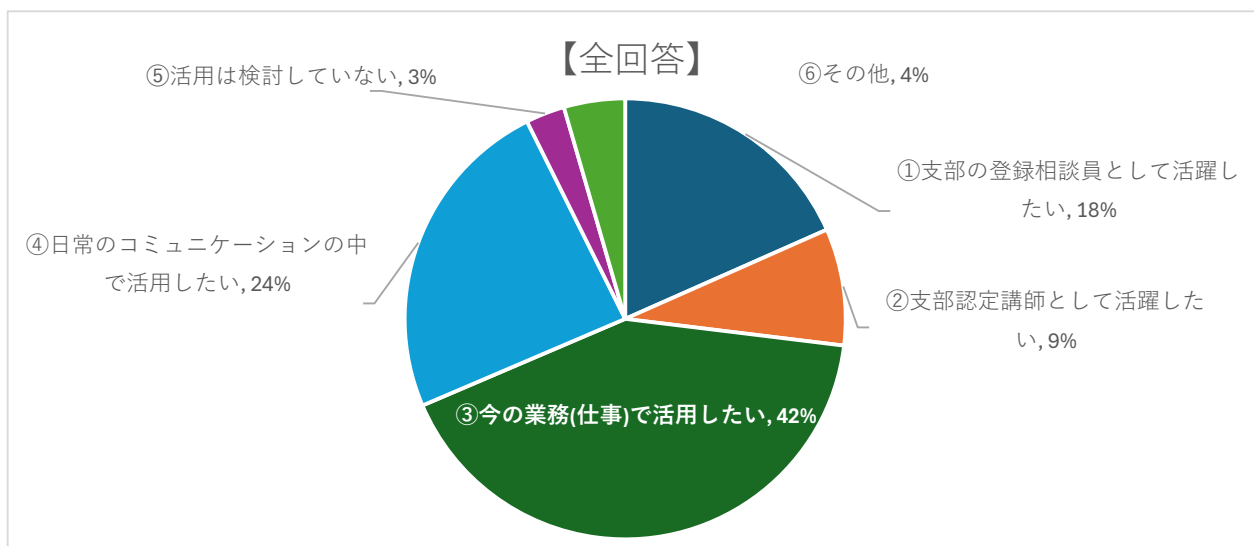


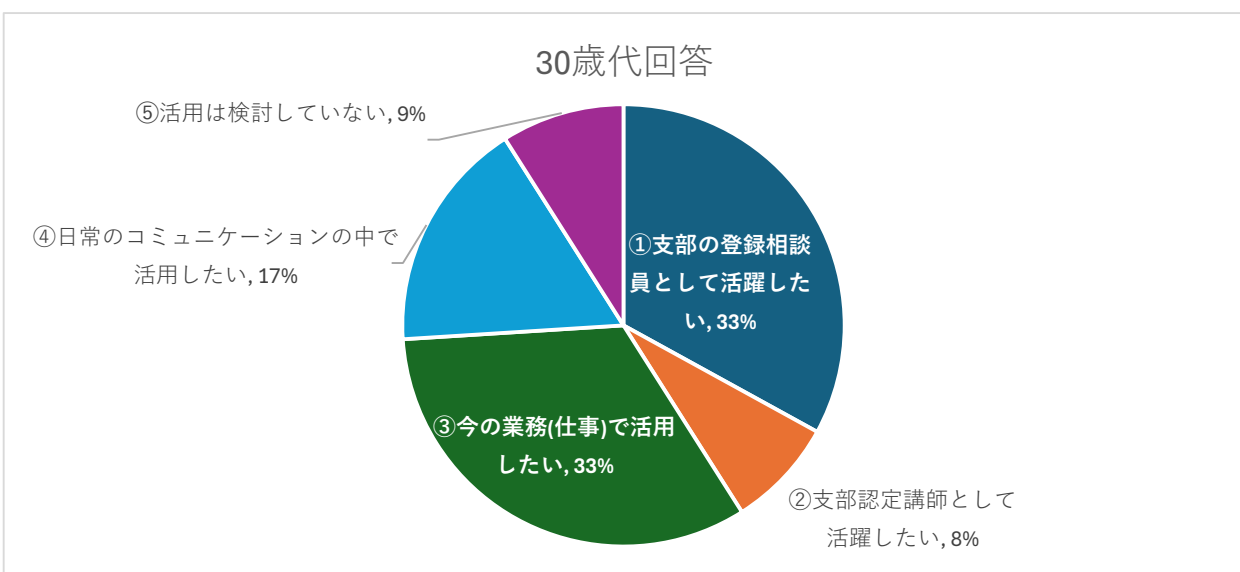
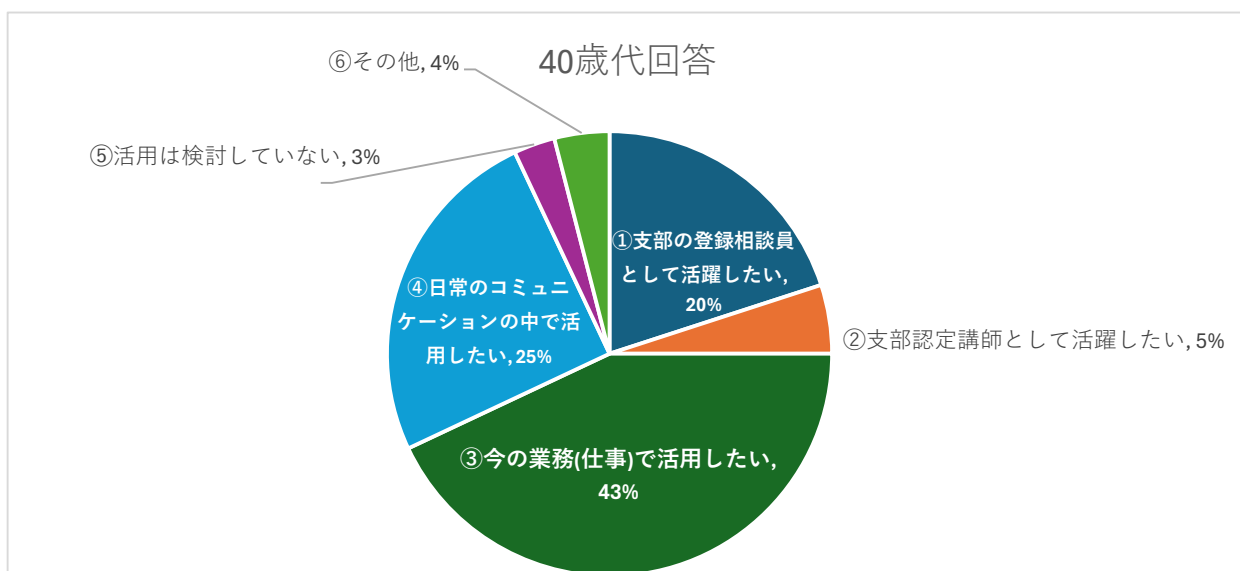
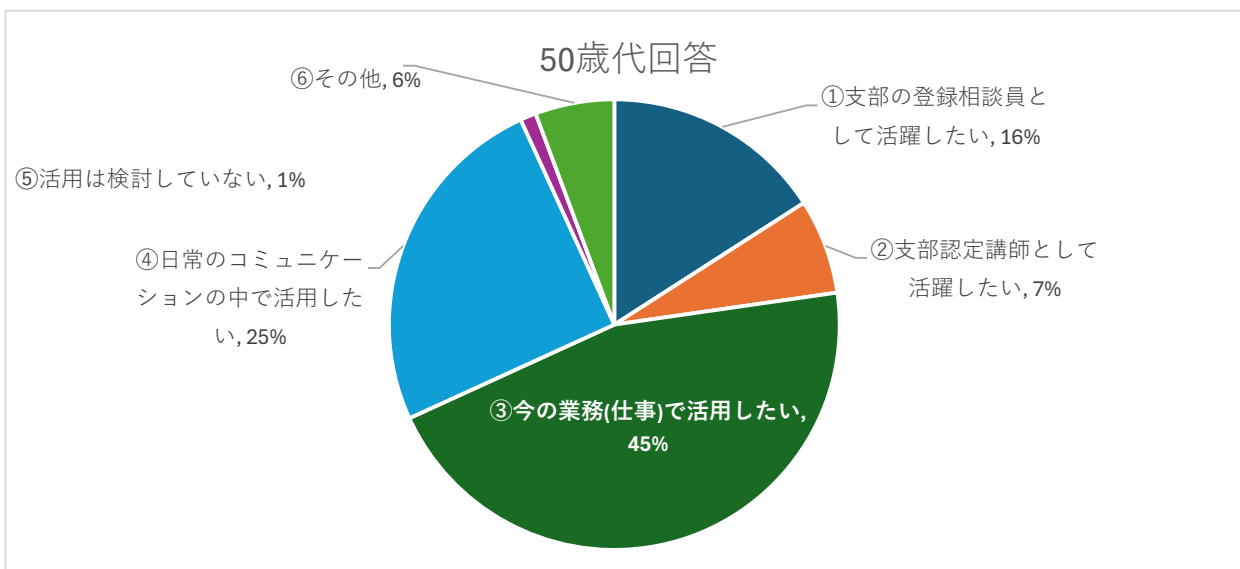
■各回答を100%とした際の支部所属歴

知っている	20年以上	24%
	15年以上～20年未満	20%
	10年以上～15年未満	15%
	5年以上～10年未満	16%
	1年以上～5年未満	25%
知らない	20年以上	17%
	15年以上～20年未満	8%
	10年以上～15年未満	8%
	5年以上～10年未満	33%
	1年以上～5年未満	33%

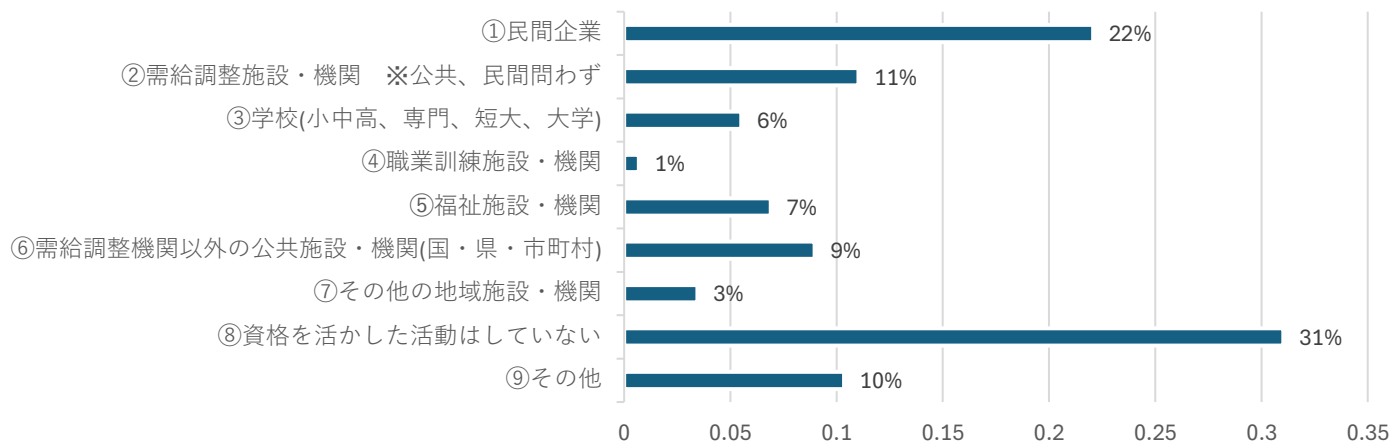


知っている	15年以上～20年未満	25%
	10年以上～15年未満	38%
	5年以上～10年未満	25%
	1年以上～5年未満	13%
知らない	20年以上	29%
	15年以上～20年未満	29%
	10年以上～15年未満	14%
	5年以上～10年未満	29%

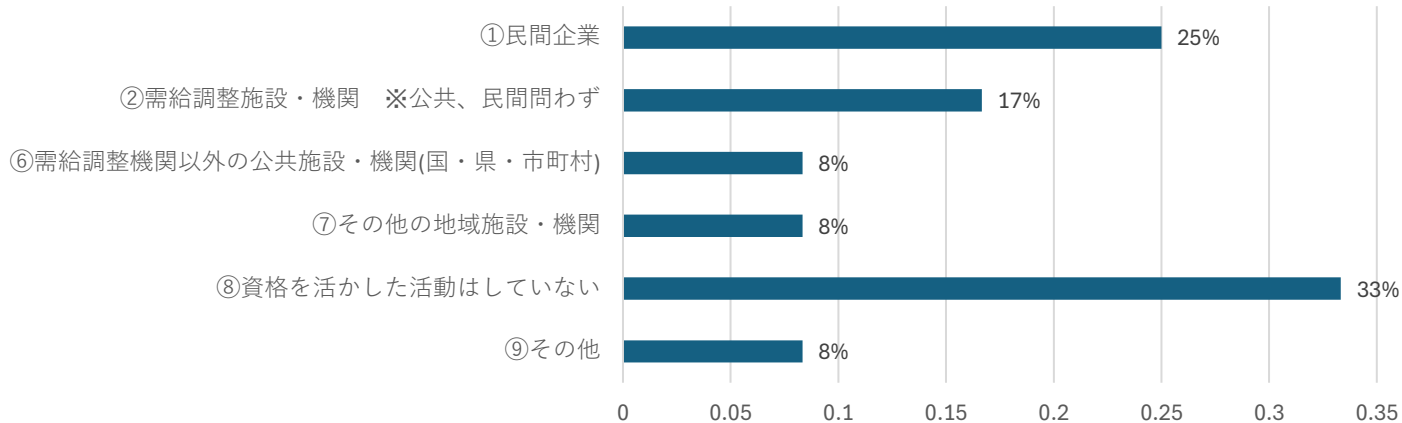




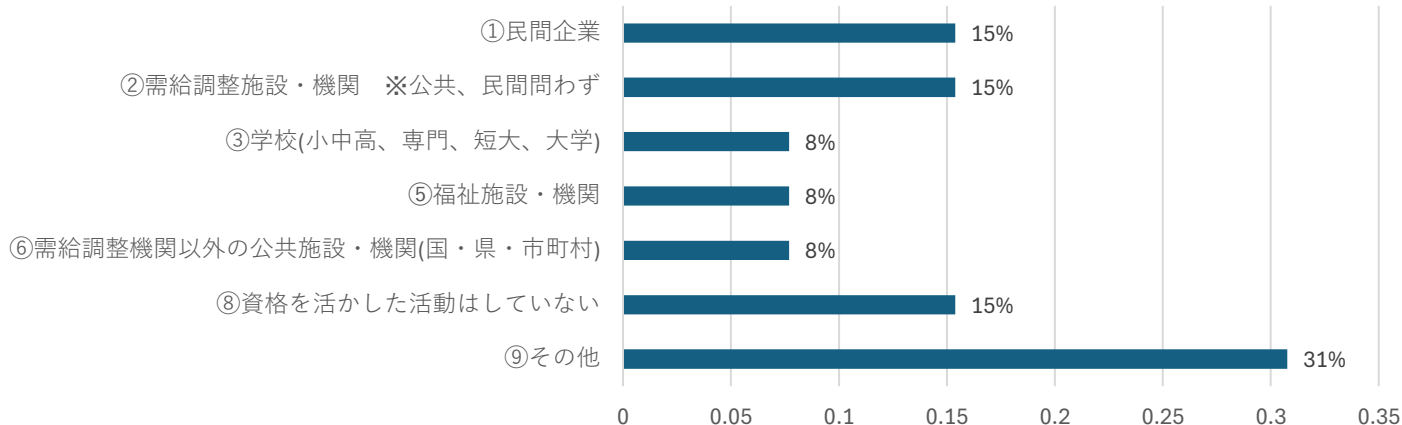
【全回答】



青森回答

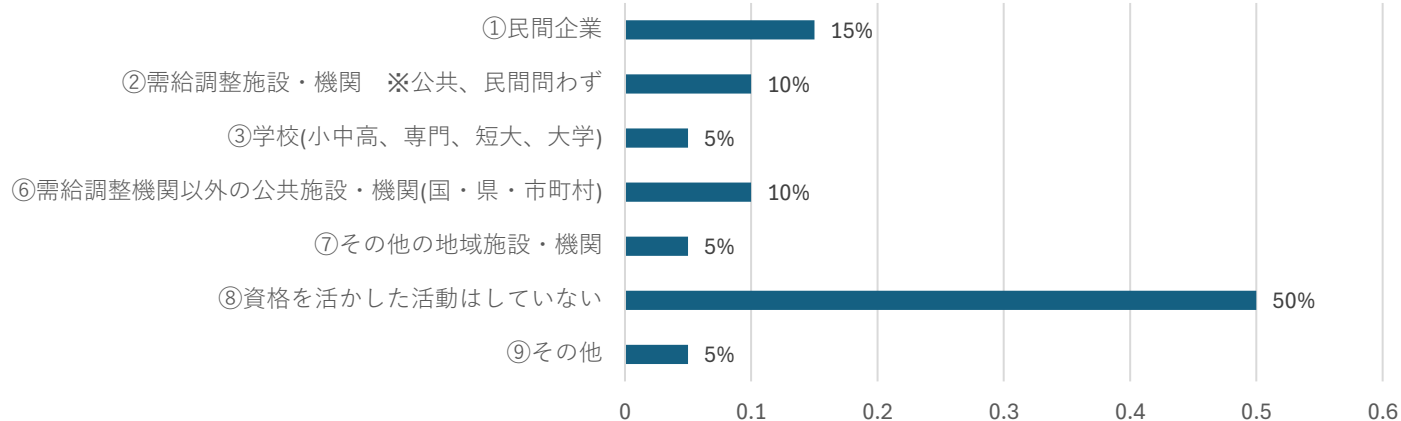


秋田回答

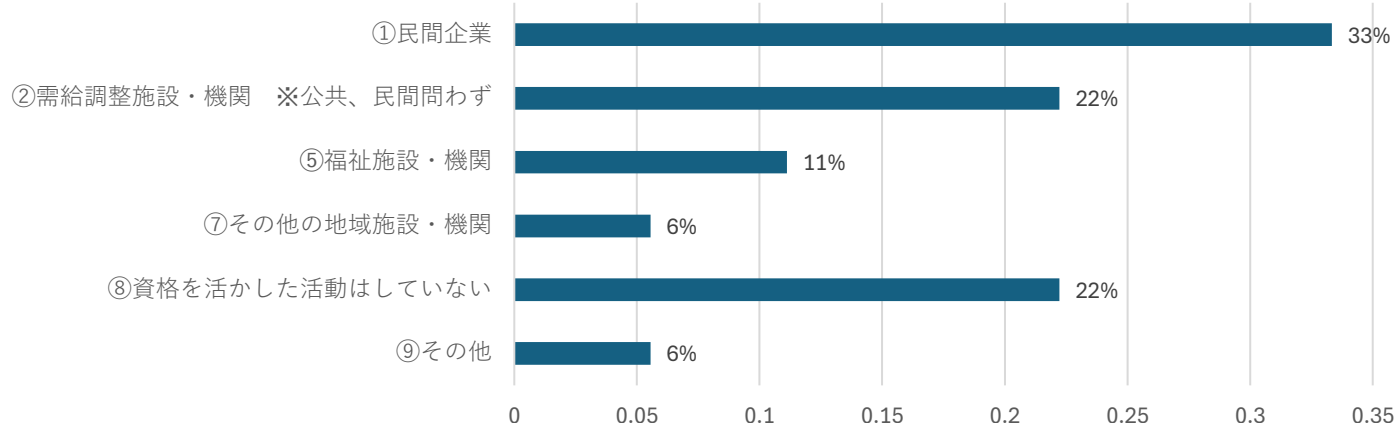


現在、産業カウンセラー又はキャリアコンサルタントとして、どのような分野で活動されていますか？
(最も稼働時間が多いものを一つ選択)

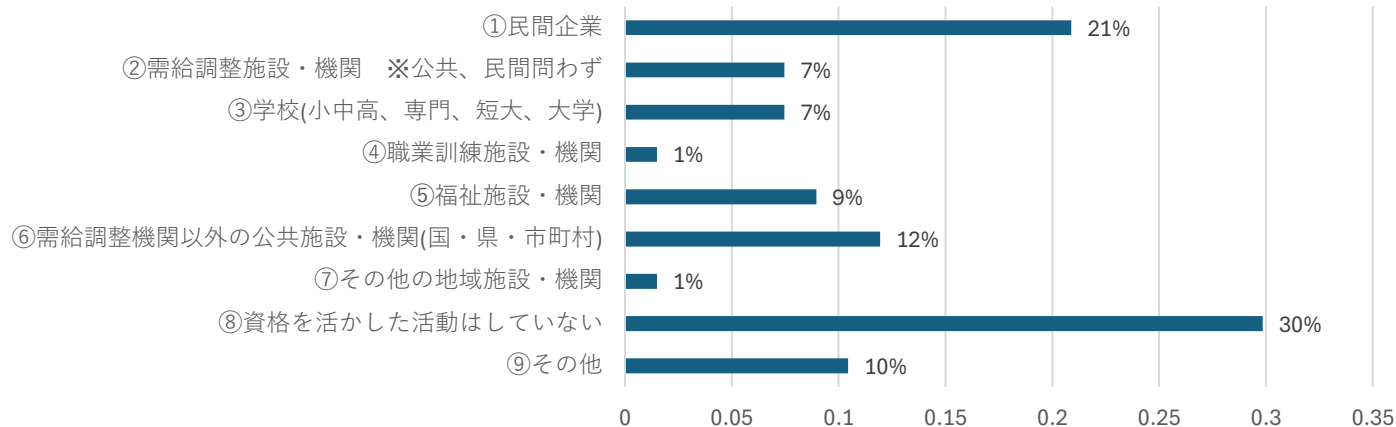
岩手回答



山形回答

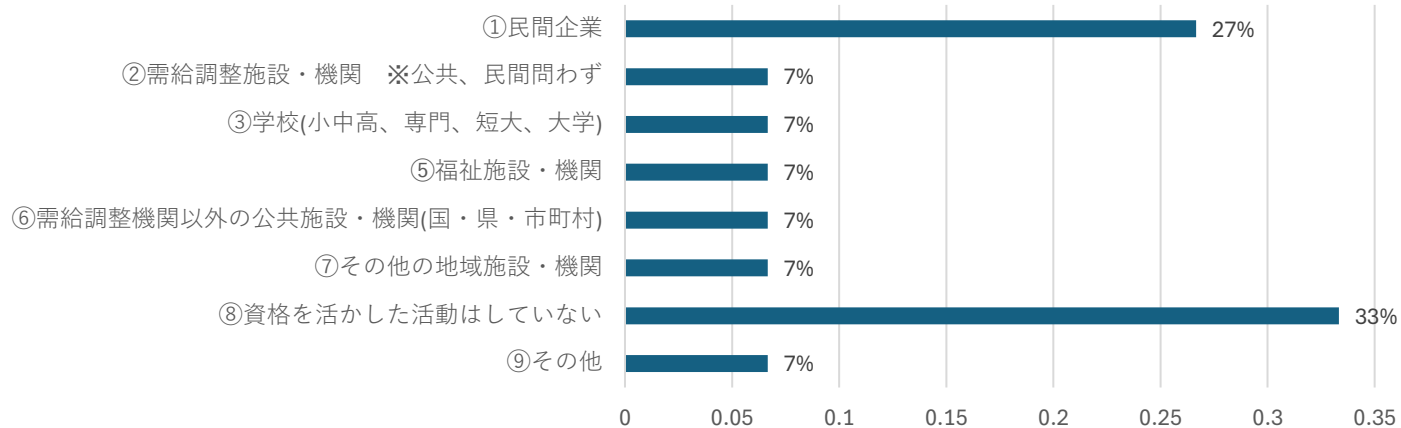


宮城回答

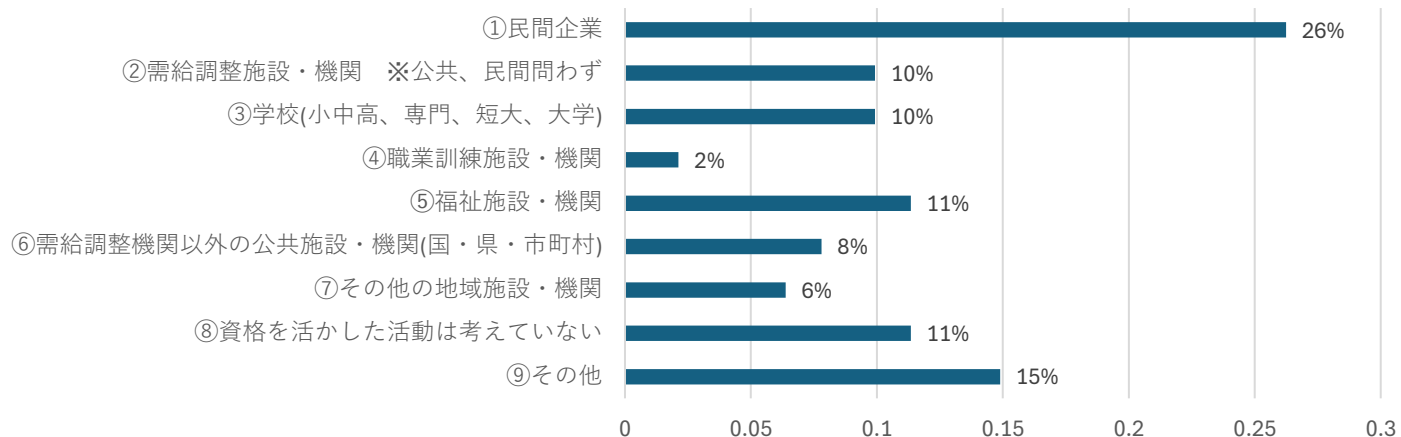


現在、産業カウンセラー又はキャリアコンサルタントとして、どのような分野で活動されていますか？
(最も稼働時間が多いものを一つ選択)

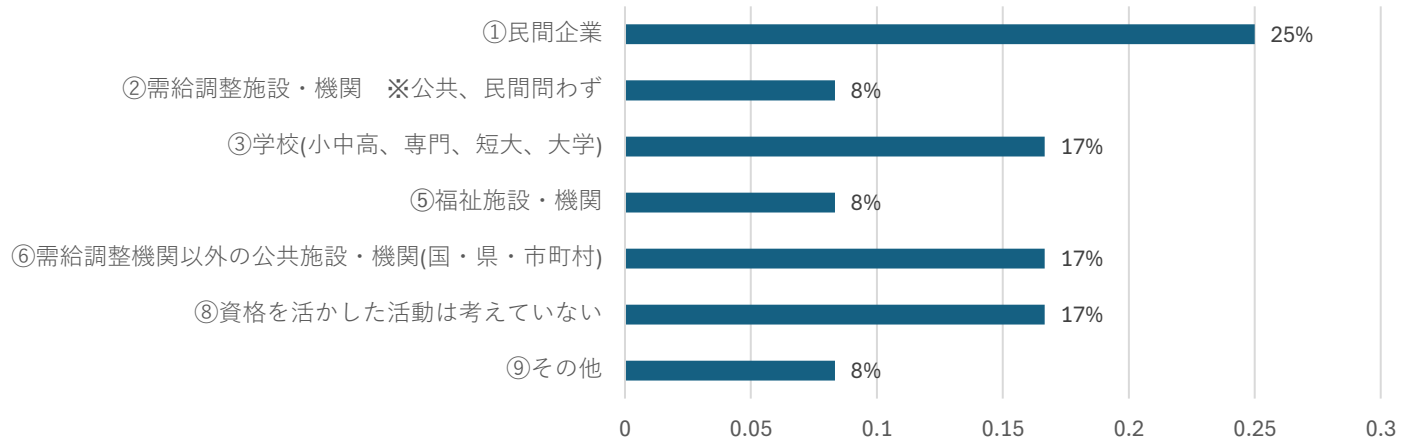
福島回答



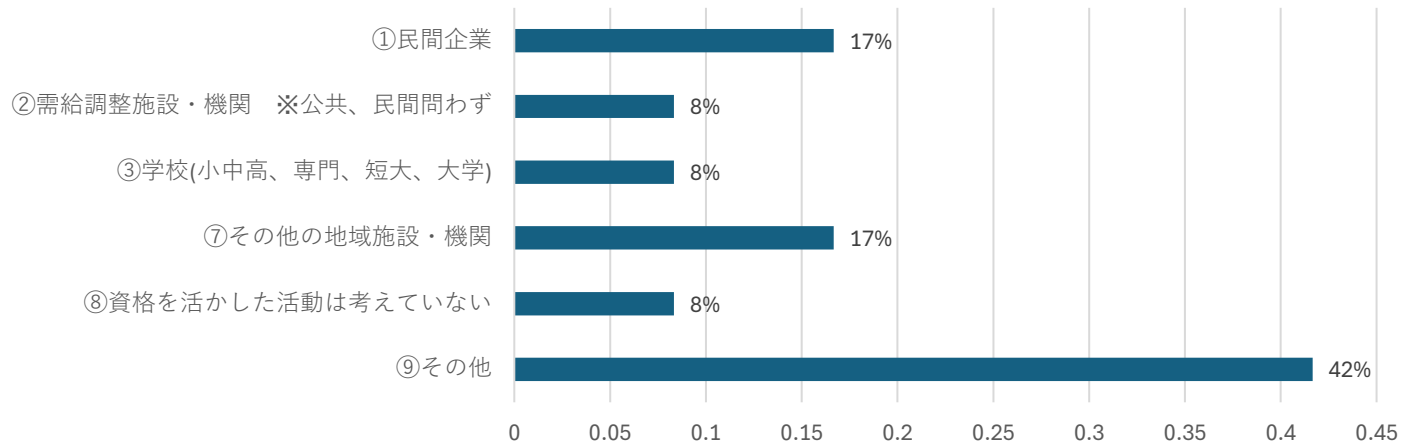
【全回答】



青森回答

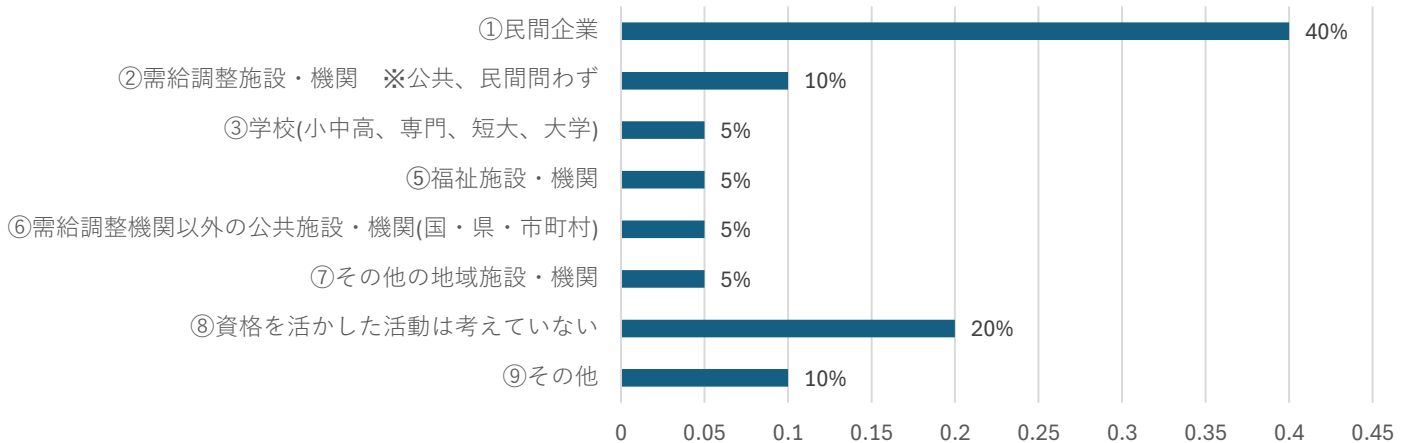


秋田回答

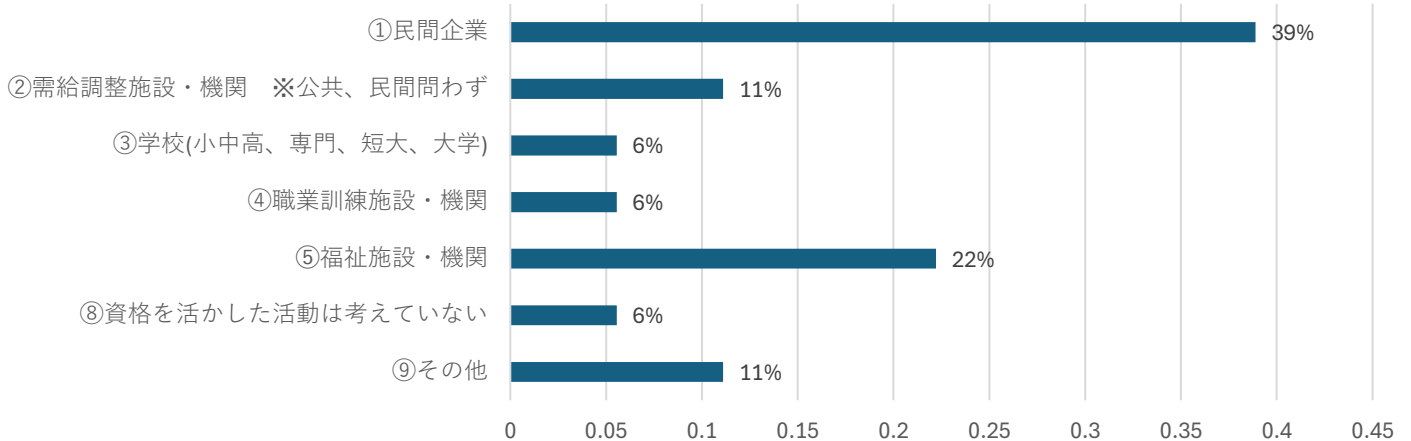


今後、産業カウンセラー又はキャリアコンサルタントの資格を生かして、
どのような分野で活動していきたいとお考えですか？（最も希望するものを一つ選択）

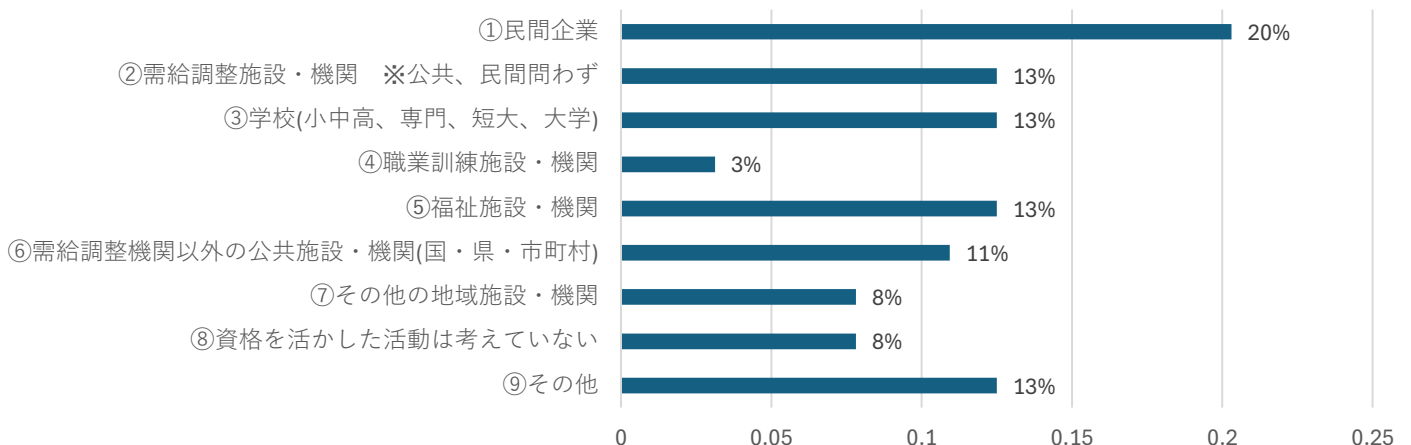
岩手回答



山形回答

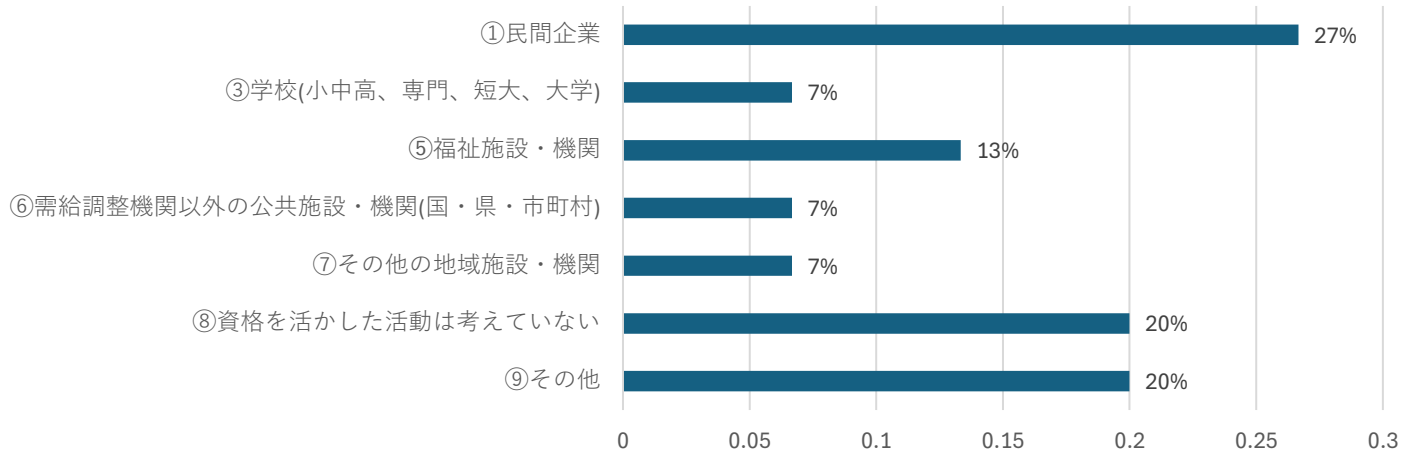


宮城回答



今後、産業カウンセラー又はキャリアコンサルタントの資格を生かして、
どのような分野で活動していきたいとお考えですか？（最も希望するものを一つ選択）

福島回答



会員部 質問

あなたの在住県で対面研修を実施するなら、どのような研修を希望しますか？

青森回答

支部会員歴	年代	現就労形態	回答
15年以上～20年未満	60代	契約社員・嘱託社員	産業カウンセラーとして、心理的テーマの講演ができる講師の育成の研修。
10年以上～15年未満	60代	正社員・正職員	大人の学習障害、ソーシャルスキルトレーニング
	60代	契約社員・嘱託社員	TA、ハラスメント相談対応、コミュニケーション研修
	50代	正社員 正職員	想定内容が実際にありそうなテーマで開催を希望します。 例えば、「AIとの将来の競合でのカウンセリング業務」、「少子高齢化による影響を受ける業務」についてです。
5年以上～10年未満	50代	正社員・正職員	事例検討会
1年以上～5年未満	70歳以上	正社員・正職員	働く人の電話相談、孤独孤立支援ダイヤル
	50代	経営者・自営	今は心身に余裕がないので思いつきません。
	40代	正社員・正職員	フォーカシング
	30代	正社員 正職員	実経験がないので、カウンセリングスキルを高める研修や事例検討会など

秋田回答

支部会員歴	年代	現就労形態	回答
15年以上～20年未満	60代	経営者・自営	主訴と問題の関連などについて理解を深める研修
10年以上～15年未満	50代	正社員・正職員	他専門家へのリファーの実際
		経営者・自営	特にありません（現状、対面研修の必要性を感じていません）
10年以上～15年未満	60代	無職	面接スキルアップ研修。
5年以上～10年未満	60代	契約社員 嘱託社員	これまでにどのような研修をされていたのか、またその反応等の情報が無いため解答できない

岩手回答

支部会員歴	年代	現就労形態	回答
20年以上	50代	契約社員・嘱託社員	事例検討会
15年以上～20年未満	60代	経営者・自営	トラウマケアです。
		契約社員・嘱託社員	事例検討研修
5年以上～10年未満	70歳以上	無職	同期の方々と一緒に研修をしてみたい。
	60代	パート・アルバイト	レクチャーの仕方
	50代	経営者・自営	傾聴実技
	40代	正社員・正職員	カウンセリングの実務に就くことができる研修があると受講してみたいと思います。
1年以上～5年未満	50代	正社員 正職員	傾聴のロールプレイとスーパービジョン 事例紹介、こういう時はこういう対応をした的な
	40代	正社員 正職員	実際にカウンセリング業務を担当している指導者の方の体験談やノウハウなど

1年以上 ～5年未満	40代	正社員	事例検討会
	40代	正社員	相談研修

山形回答

支部会員歴	年代	現就労形態	回答
15年以上 ～20年未満	70歳以上	経営者・自営	自薦的な就労支援研修
	50代	正社員・正職員	傾聴訓練
10年以上 ～15年未満	60代	契約社員 嘱託社員	スキルアップ ①心身の健康不調時のアプローチの仕方について
		正社員・正職員	分かりません
5年以上 ～10年未満	60代	無職	初心者のための心理学をテーマにした、ワークショップ形式の研修を希望します。専門的な内容に偏らず、一般市民の方々も気軽に参加できるような形式であれば、地域全体の心理的なスキルアップにつながる効果が期待できるのではないかと考えています。
		正社員・正職員	継続カウンセリングについて
	40代	正社員・正職員	実践的な研修
1年以上 ～5年未満	60代	経営者・自営	養成研修
	40代	正社員・正職員	傾聴の基礎。基礎からまた学びたいです。

宮城回答

支部会員歴	年代	現就労形態	回答
	70歳以上	パート・アルバイト	カウンセラーとしての実践力の向上研修
		正社員・正職員	65歳以降の人生が充実するような講座
		契約社員 嘱託社員	自死防止の研修 シニアレベルの研修なら興味があります
	60代	経営者 自営	専門研修。 認知行動療法 キャリアコンサルタントの資格更新のための講座で、様々な事例を通して学べる講座
		無職	具体的な事例研修
	50代	正社員 正職員	キャリア系の研修で人事総務対象とした内容のもの オンラインと対面は、面談の感覚が違うので、それぞれでやり方を身につけられると良い
15年以上 ～20年未満	60代	契約社員 嘱託社員	ハラスメント予防のため、心理的安全性の高い職場をつくるにはどうするか。実践的な研修があれば参加したいです。 地域コミュニティ研修
		パート・アルバイト	コミュニケーションのロールプレイ、グループワーク
	50代	契約社員・嘱託社員	ロールプレイを中心とした内容

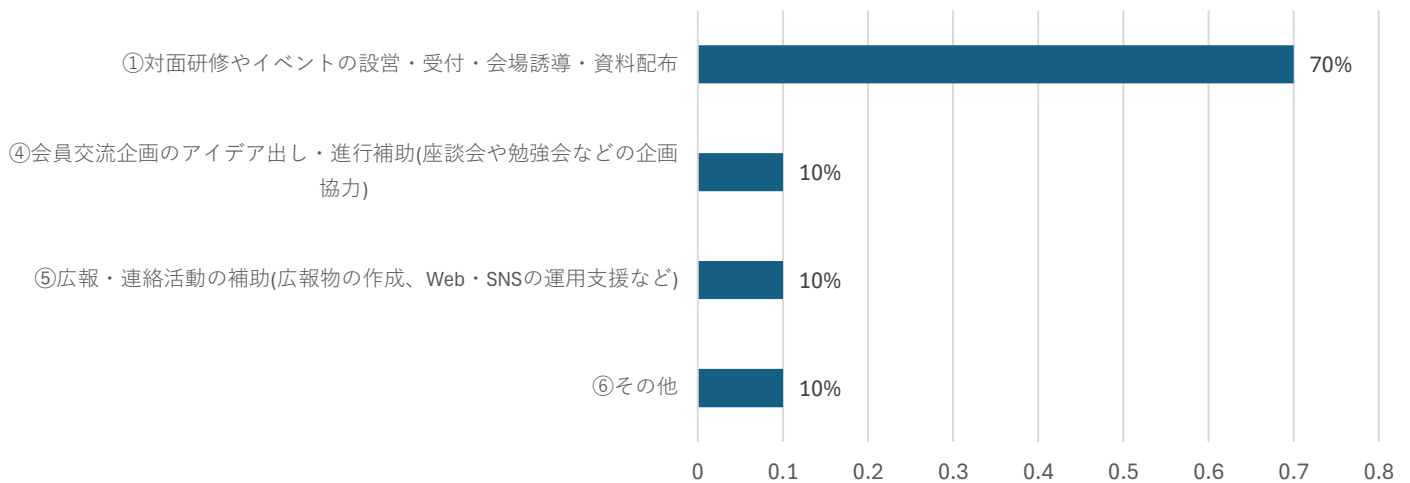
15年以上 ～20年未満	50代	パート・アルバイト	対面であるならば、カウンセリングの面接実践研修から暫く離れているので、実際に面接を行える研修。
		経営者・自営	オープンダイアログ
10年以上 ～15年未満	60代	経営者・自営	設問34の回答のとおり
		無職	短時間でできるだけ安く住んでいる地域でできるもの。例えば、それぞれ地域に住んでいる養成講座指導者又は経験者などを囲んでできるもので良いのでは、そこから話が広がるのも手では。
	50代	正社員・正職員	退職後の節税や案外知らない、制度の活用について
		契約社員・嘱託社員	治療との両立。
		経営者・自営	シチュエーションに応じた相談対応などが考えられます。
	40代	正社員・正職員	事例検討
5年以上 ～10年未満	50代	正社員 正職員	講習会で行っていた、クライアント役と、カウンセラー役にわかれ、それ以外の方は様子をみて、振り返りをした実技研修。 第三者がみてフィードバックいただけるのは、自分の話し方の癖を治すのに有意義であった。
			カウンセリング、心理学に関わるトレンドの話題
		パート アルバイト	研修ではないかもしれないが、資格を活かして活動できる場所や企業とのマッチング。
	40代	経営者 自営	研修というよりおそらく多くの方はボランティアなり活動できる場を求めていると感じるのでそのようなネットワークの構築活動が必要かもしれない。
		経営者・自営	カウンセラーとして仕事をするための知識。
1年以上 ～5年未満	60代	契約社員・嘱託社員	面接力向上など
	50代	正社員 正職員	ロールプレイ研修
			ベーシックエンカウンター
			認知行動療法
	40代	正社員 正職員	これからカウンセラーの仕事をする時に必要なことを確認できるような研修があると良いなと思います。
			ロールプレイング
		契約社員・嘱託社員	人事系と法律系
		経営者・自営	専門的な心理療法。特に、トラウマ治療。
	30代	無職	ケース検討や、ワークなど
		正社員・正職員	ロールプレイ／ライブ方式の実技演習

あなたの在住県で対面研修を実施するなら、どのような研修を希望しますか？

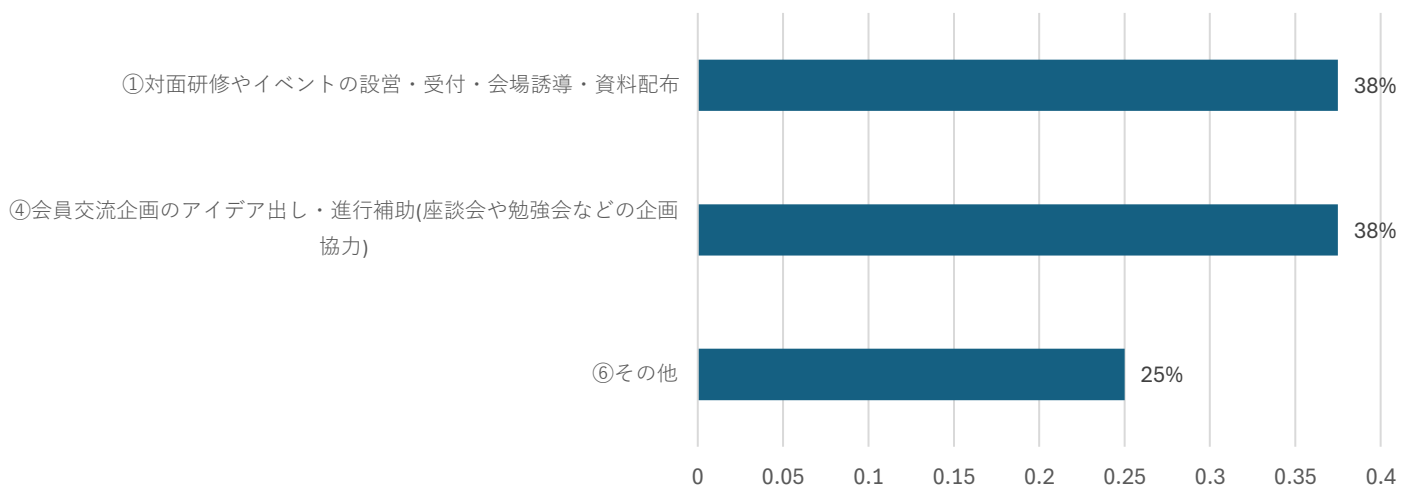
福島回答

支部会員歴	年代	現就労形態	回答
20年以上	60代	経営者・自営	組織開発等
15年以上～20年未満	50代	一般派遣労働者	・ 内容が濃いもの（初心者から熟練者まで様々な人が参加しても、それぞれに得るものがあるような）。 ・ 軌道に乗り、参加者は入れ替わりながらもシリーズ化するようなもの。
10年以上～15年未満	60代	パート・アルバイト	事例検討会
	50代	正社員 正職員	知識を深める研修、特に、労働関係、法改正に対応したもの。国の新しい制度など。
	40代	正社員・正職員	事例検討
5年以上～10年未満	60代	経営者・自営	集まりがあれば、時間を都合して参加したいと考えます。
	30代	正社員 正職員	どのようなお仕事をされているのか、異業種交流会のようなものがよい。 そのうえで事例検討会など、話し合うようなものを希望する。
1年以上～5年未満	40代	正社員 正職員	内容は思いつかないです。が、参加するとしたらオンライン研修を希望します。

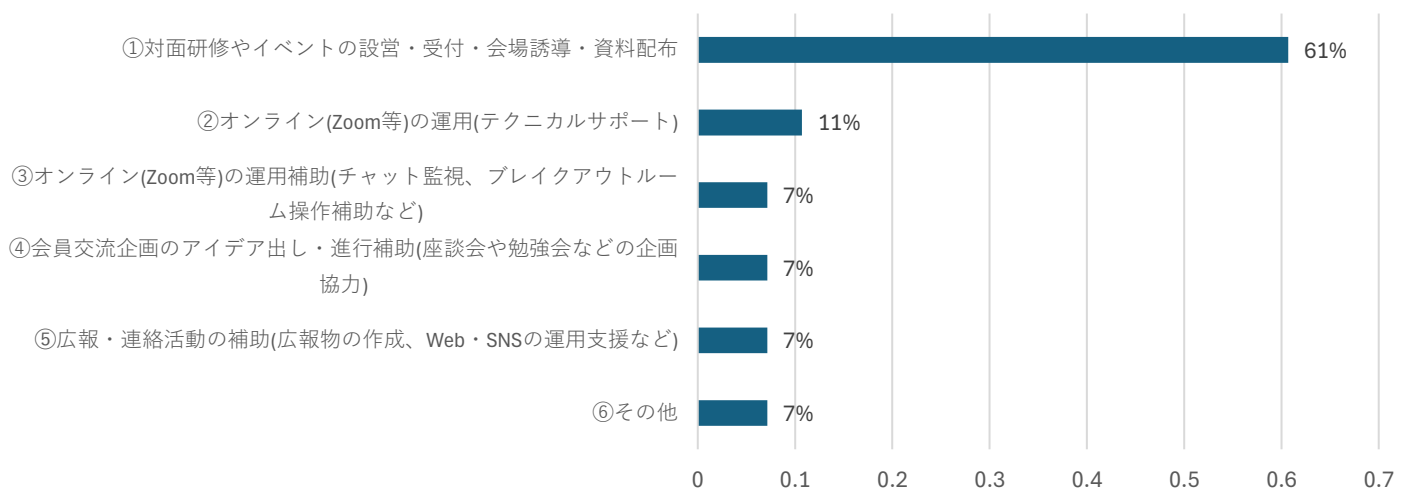
青森回答



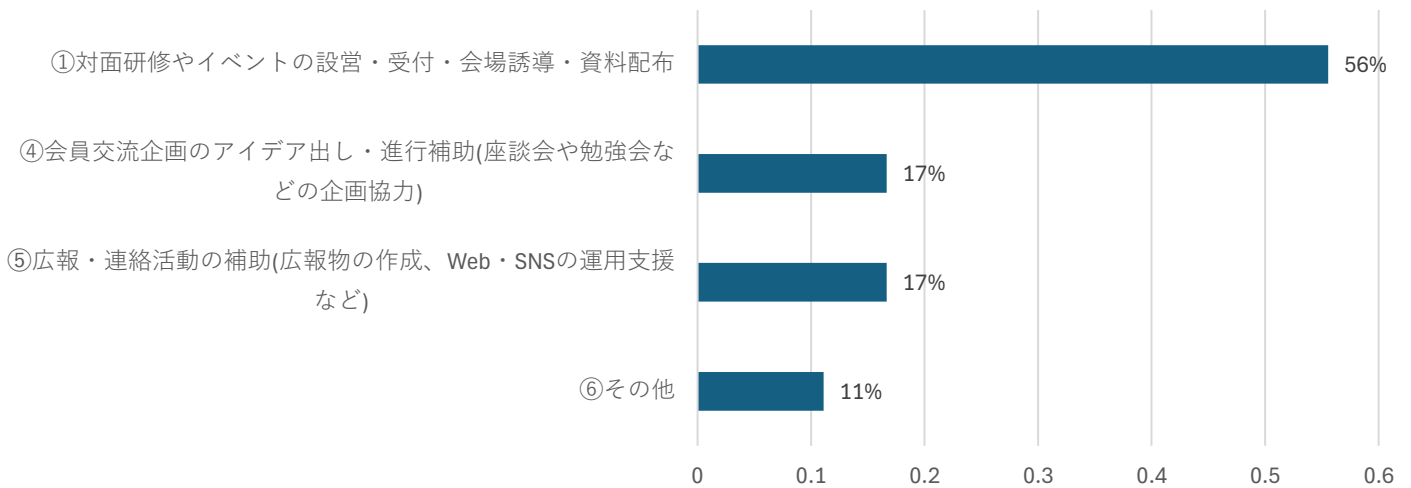
秋田回答



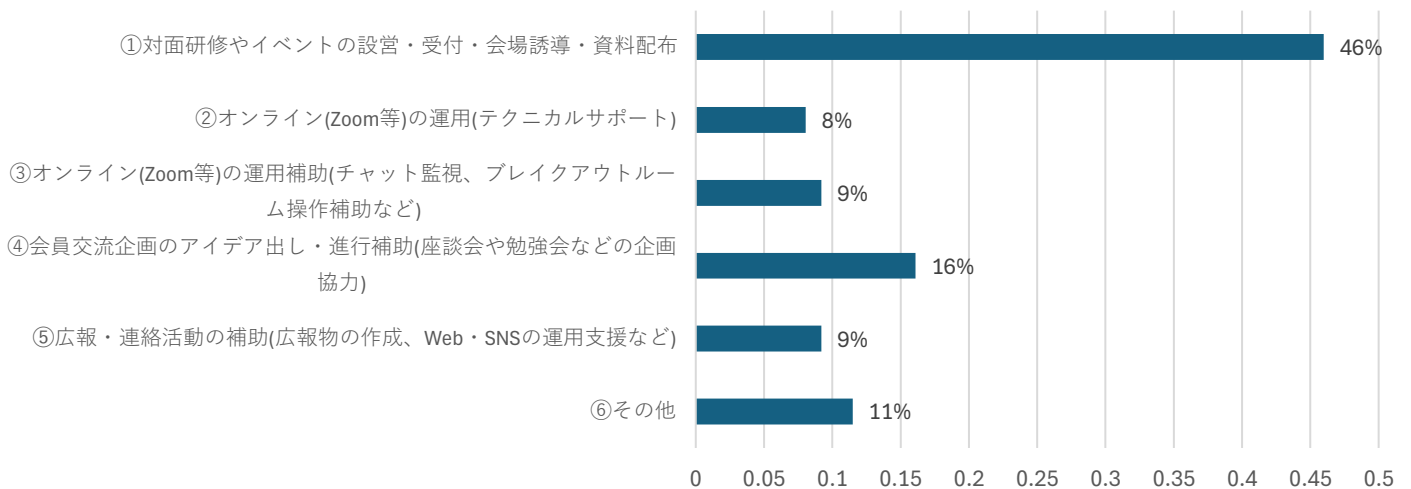
岩手回答



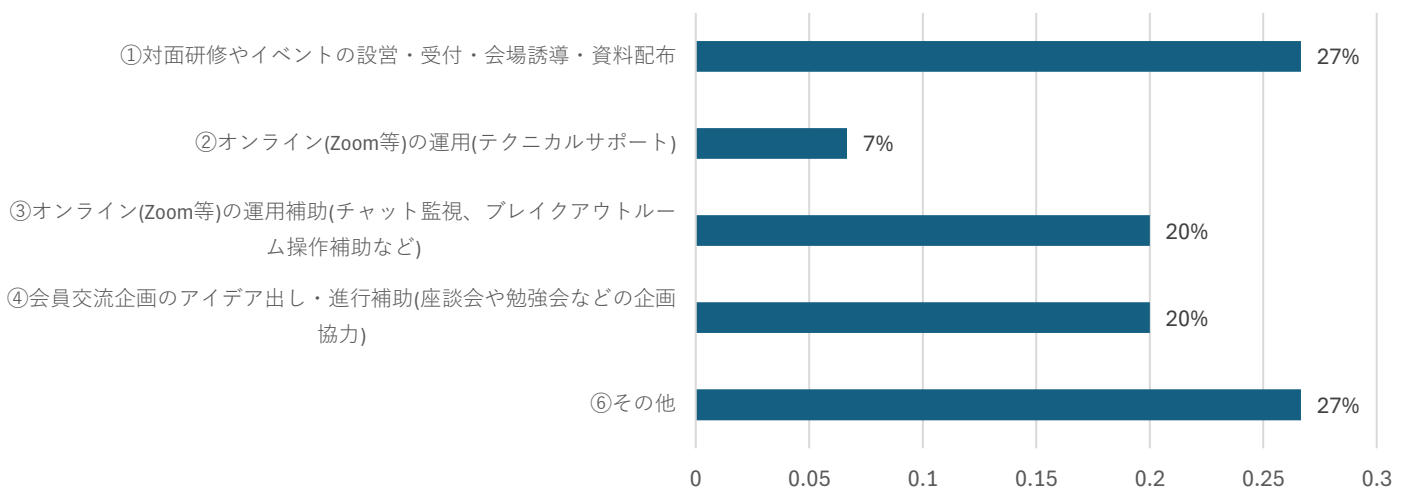
山形回答



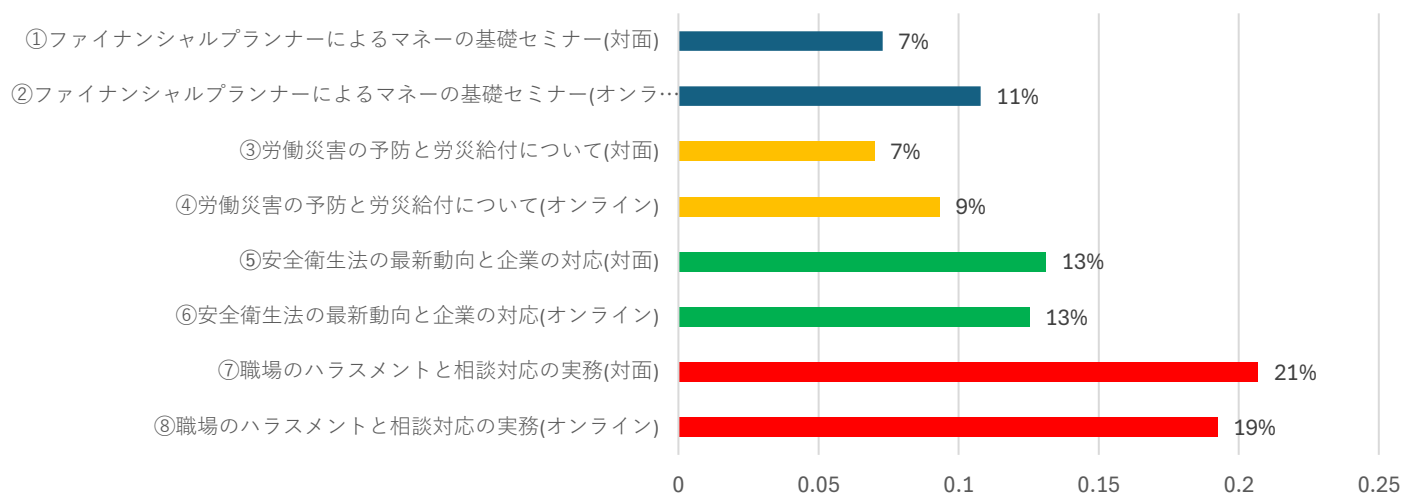
宮城回答



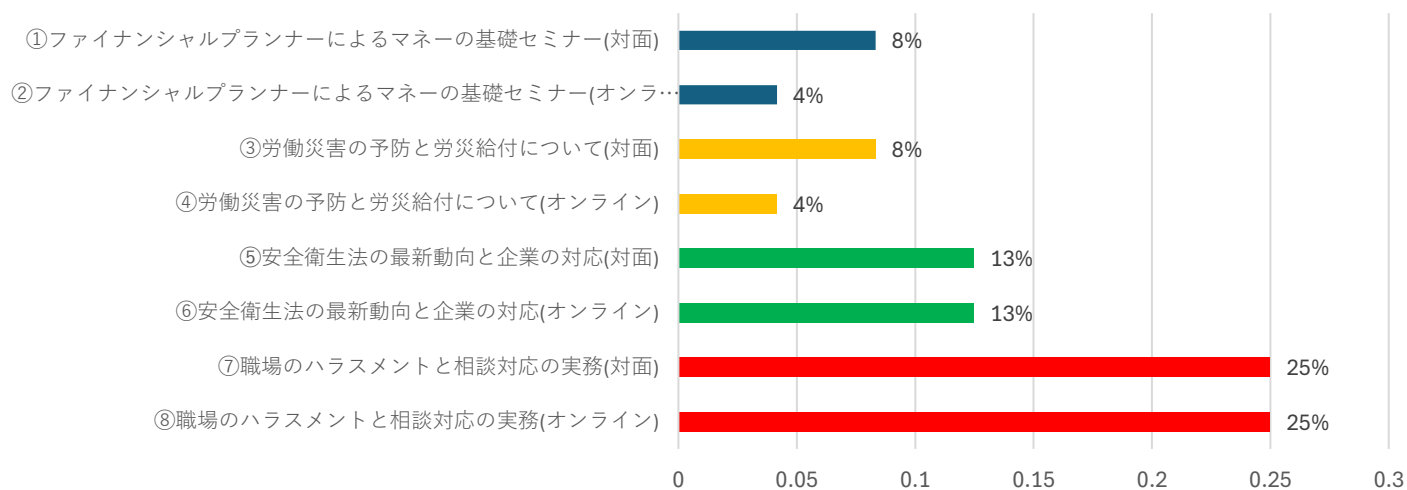
福島回答



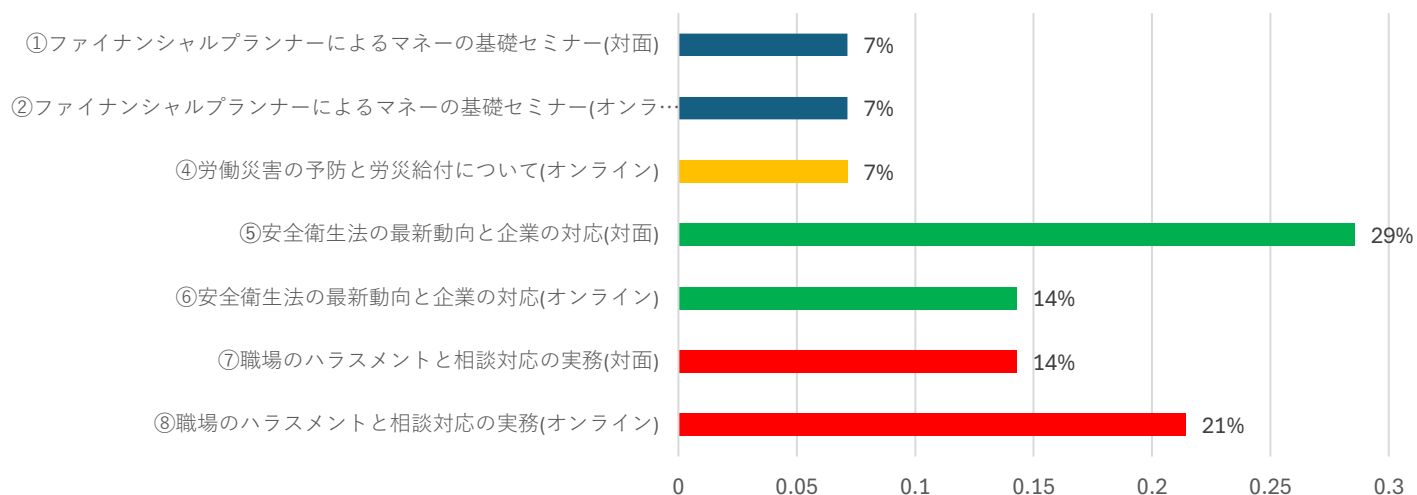
【全回答】



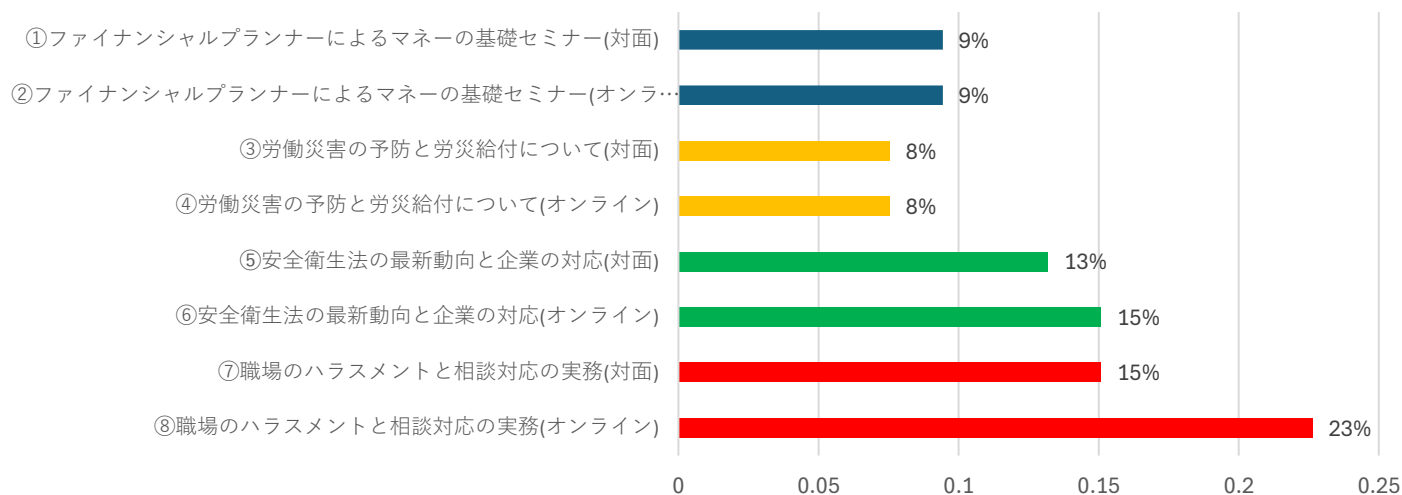
青森回答



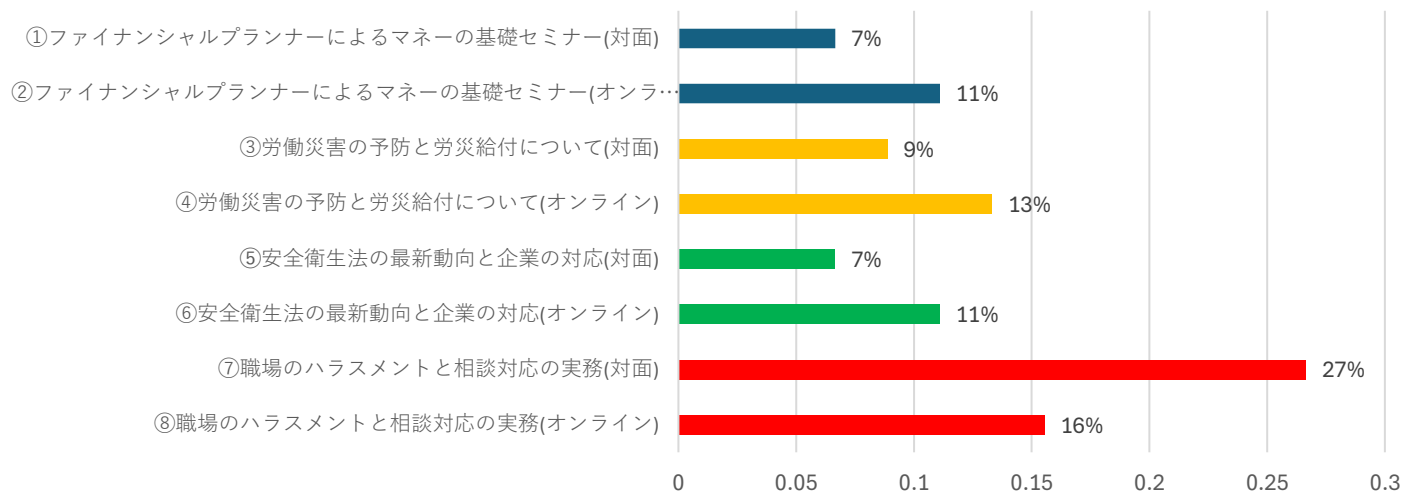
秋田回答



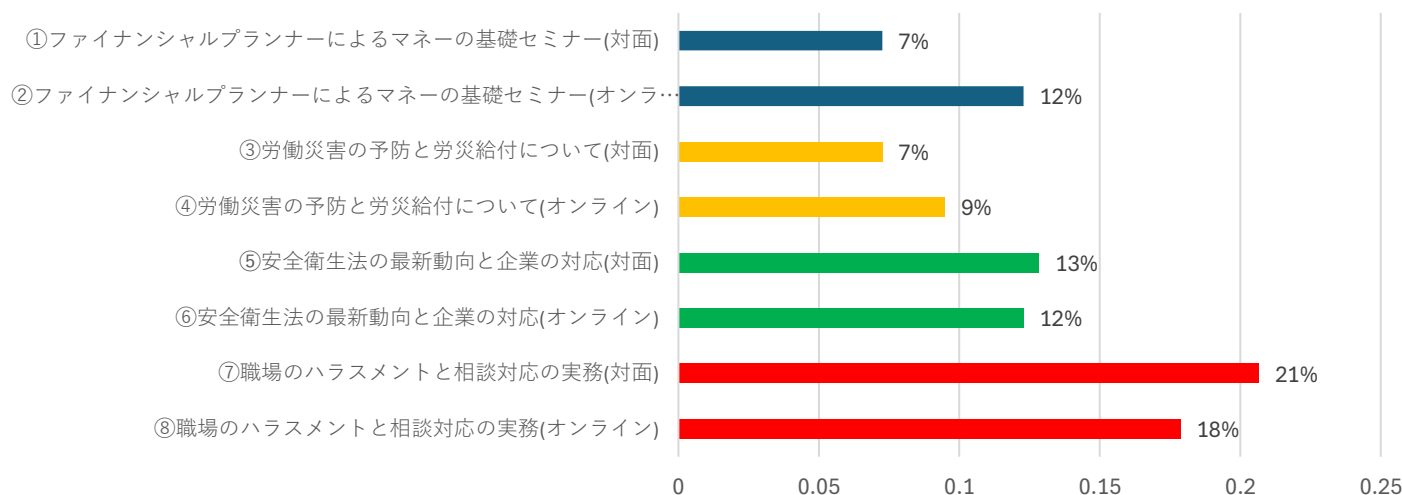
岩手回答



山形回答

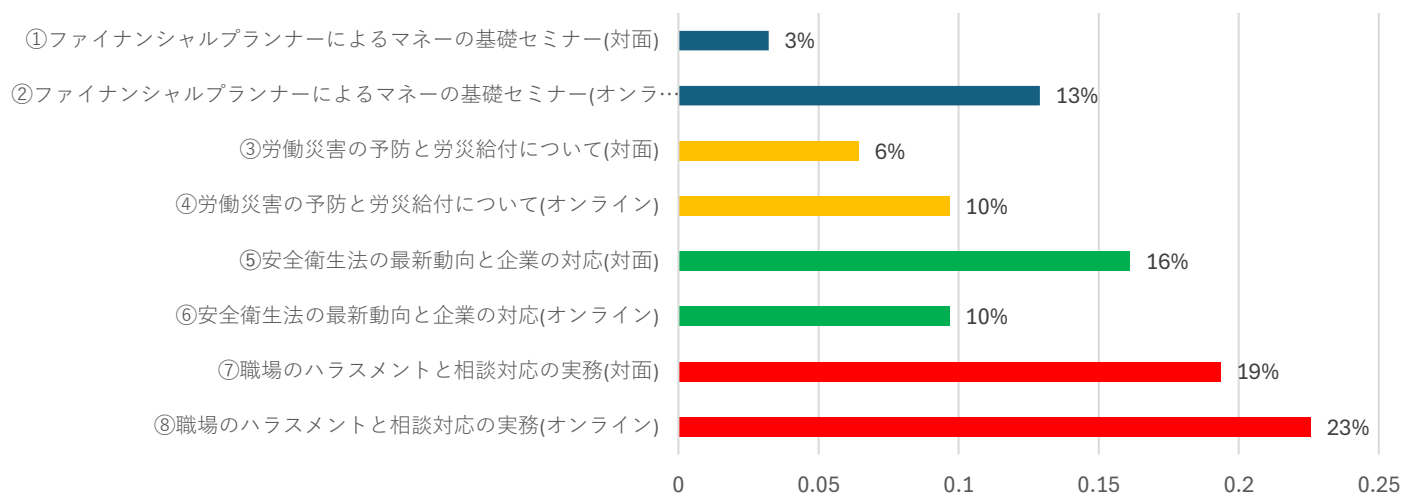


宮城回答



会員研修の研修内容について、以下の内容について「受講したい」と少しでも思うものを選択してください。

福島回答



最後に、東北支部へのご要望、ご意見などを自由に入力ください。

青森県

支部会員歴	現在就労形態	年代	回答内容
10年以上 ～15年未満	正社員 正職員	50代	数年前からは改善されていますが、まだ、仙台中心は変わっていません。オンライン開催がありますが、対面研修をもっと、地方都市で開催していただきたい。交通費、宿泊費は、かなりの負担です。
1年以上 ～5年未満	正社員・正職員	60代	災害時のカウンセラーとしての検討
	経営者 自営	50代	過去の講習時にお世話になった皆さまには、今でもよい機会をいただき感謝しております。

秋田県

支部会員歴	現在就労形態	年代	回答内容
10年以上 ～15年未満	正社員・正職員	50代	地区の勉強会の支援がもっとあってもいい
	経営者・自営	70歳以上	地域社会への貢献というところ、工夫の余地は有ります。

宮城県以外の県で開催する際に悩ましいのが、参加人数です。
各研修とも最低履行人数を定めています。
何故かという、講師謝金やスタッフの作業費用など、経費が発生するために「最低、この人数の参加者がいないと成り立たない」ということになるからです。
過去にも、受講人数が見込めずに企画倒れになったものもございます。
運営側としては、なるべく多くの方の研修ニーズを取り込めるよう探りながら、参加意欲の湧く研修企画となるよう努力して参ります。
是非、会員の皆様はスケジュールご調整の上、積極的にご参加いただけますようお願い致します。



各県の学習グループで実施した研修やセミナー、イベントのご報告をいただければ、事務局で支部ホームページへの掲載や、メルマガでの配信をさせていただきます。
実施報告をいただくことで、新たな学習グループのメンバーが増える可能性も広がります。
支部主催でなくても、学習グループ主催の活動の情報発信や研修報告は可能ですので、支部事務局にご連絡ください。
尚、学習グループの情報発信の際は、「会員部」管轄となりますので、その点、ご了承ください！



岩手県

支部会員歴	現在就労形態	年代	回答内容
15年以上 ～20年未満	契約社員・嘱託社員	60代	いつも情報ありがとうございます
	経営者・自営	60代	派遣講師の年齢制限も時代の流れですが、若い方たちの活躍の場を作るうえでも、もっと事業を拡大していただきたい。 民間企業領域で未開拓なところはまだまだあると思うので。
5年以上 ～10年未満	パート アルバイト	60代	少しでも参加していきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いします。
	パート アルバイト	30代	産業カウンセラーやキャリアコンサルタント資格を持つことは考えていなくても、傾聴・家族や生徒の進路相談としての聴き方など、興味を持っている方々は多いように思います。 資格取得を考えていなくても、そのようなことを学ぶことができる講座を、産業カウンセラーやキャリアコンサルタントが各職場や一般の人向けに開催をすることができれば、 ・傾聴の入口を学んで、日常で意識し発揮できる ・最初は興味がなくても実際に産業カウンセラーやキャリアコンサルタントに興味を持つ人も出てくるかとも思います。 なので、そういう講座を行うことを学ぶことができる場があればありがたいです！！ (私が不勉強で、既に企画していてかぶっていたらすみません、、、) 産業カウンセラー協会、人や社会へ、大変意義のあることをずっとずっと続けている組織だと心から感じております。 これからも陰ながらですが、自分自身も自己研鑽励みたいと思います。
1年以上 ～5年未満	正社員 正職員	40代	いつも大変お世話になっております。まだまだ活動そのものを理解できていませんが、少しずつ学びを深めながら、できることをやっていきたいと思っています。これからもよろしくお願いいたします。
1年未満	正社員・正職員	30代	活動参加したいとメールをしたが音沙汰がない。



支部活動参加の返信がなかったとのこと、大変申し訳ございませんでした。
改めて、各事業部における運営参加をご希望の方は、支部ホームページの「[☑お問合わせ](#)」からご連絡いただくと、事務局でご希望の事業部へ連絡をし、担当からご連絡する流れとなっております。あまりに返信が無い場合、お手数ですが支部にお電話いただくと助かります。

お気軽にお問い合わせください。

☎ 022-715-8114

受付時間 10:00～17:00 [土日祝除く]

☑ お問い合わせ ☎

山形県

支部会員歴	現在就労形態	年代	回答内容
15年以上 ～20年未満	経営者 自営	70歳以上	お世話になっております。今後ともよろしく願います。
		60代	いつもありがとうございます。
10年以上 ～15年未満	契約社員 嘱託社員	60代	山形県の活動強化に尽力してほしい。
			いつもお世話になっております。今後ともよろしくお願いいたします
	パート・アルバイト	60代	系統だてて心理学を学べるようなカリキュラムが必要と思います。
	経営者・自営	60代	近年情報提供をととても丁寧に行って下さっているように感じます。いつもお世話になっております。
5年以上～10年未満	無職	60代	「いのちの電話」のような外部の電話相談ボランティア団体等との、積極的な事業連携をご提案します。私も関わっていますが、そうした団体ではメンバーの確保に苦勞しており、相談員の対応スキルにもバラつきが見られるのが現状です。一方で、電話相談はカウンセラーが経験値を高めるための非常に良い機会でもあります。例えば、産業カウンセラー資格の保持者であれば、通常よりも短い数ヶ月の研修で聞き手になれるような連携制度を構築することはできないでしょうか。ハードルは高いかもしれませんが、双方にとって「win-win」の効果が期待できると考えます。このように、他団体と連携した事業の可能性について、ぜひご検討いただきたいです。
1年以上～5年未満	正社員・正職員	40代	いつもありがとうございます。引き続きよろしくお願いいたします。

宮城県

支部会員歴	現在就労形態	年代	回答内容
20年以上	正社員 正職員	60代	毎年会員の継続のタイミングで悩んでいる。
		50代	Peatixなどを活用すると、イベントや活動の見える化につながると思います。
	パート・アルバイト	70歳以上	支部活動に参加するための問いかけや、今回のアンケートの作成のしかたに会員を巻き込むための工夫があり、感心しています。研修の参加への誘いも何度も連絡をするなど、この姿勢大事だなと思っています。
	経営者・自営	60代	いつもありがとうございます
			いつもありがとうございます。
	無職	60代	退職しましたので、ぜひ活動にも参加したいと思いますが、自分ができるかどうかあまり自信がありません。業務内容にもよると思います。

15年以上 ～20年未満	契約社員 嘱託社員	60代	いつも、いろいろとお世話になりありがとうございます。感謝！設問が、私の仕事の状況と合致しない内容が多く、迷いましたが近い物を選びました。（医療系養成校での講師で、契約上は個人契約となります）
			いつもお世話になっております。 今後ともよろしくお願いいたします。
	パート・アルバイト	50代	特に意見はありません。運営　お疲れさまです。
	経営者・自営	50代	運営されているスタッフのみなさま、いつもお世話様です。 今後とも、よろしくお願いいたしますと思います。
私は社労士ですが、先ほどの設問であったようにAIの進展によって、法律職の仕事の方が代替されてしまう可能性が高いと思っています。そんな中、これからは、企業を元気するには産業カウンセラーやキャリアコンサルタント等の心理職が必要不可欠であると確信しているので、頑張ってください。			
10年以上 ～15年未満	正社員 正職員	50代	日頃の研修やイベントの開催、大変お疲れさまです。
		40代	ストレスチェック実施者資格も持っていますが、実務経験はありません。収入は増やしたいのですが、いま、本業で忙しく、負担が多いことがなかなかできません。申し訳ございません。マナー講座よりも、開業講座とかの方がいいかも
	契約社員・嘱託社員	50代	今後とも宜しく願います。
	無職	60代	いろいろとありがとうございます。支部活動を継続されている方に感謝いたします。ご自愛ください。
5年以上 ～10年未満	正社員・正職員	50代	配布される冊子がなくなって、昔より情報を積極的に取りにいかなくなったなと感じています。 紙面の読み物がないのは寂しいです。
	パート・アルバイト	50代	いろいろな研修やイベントの企画や広報、ありがとうございます。 私は、産業カウンセラーの資格を持っていますが、その資格をどう活かしていけばいいのかと、もどかしい思いもあります。 これからも、勉強していきたいと思います。
	経営者 自営	50代	役職者の方々、事務局の方々大変ご苦労様です。意見はいくらでも言えますが実際に支部事業に携わり、物事を実現していくのは大変なパワーがいることでしょう。腹立つことも、ままならないこともたくさんあると思います、それでもくじけずがんばる皆さんに頭が下がります。私は支部の皆さんを事務局も含め応援しています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
		40代	資格取得後、資格を活かして仕事をする、若しくは仕事を探すのに有効なアドバイス等を相談できる機会を充実させてほしい。

1年以上 ～5年未満	正社員 正職員	50代	日頃情報発信をして頂き、どうもありがとうございます。日々の業務で精一杯の毎日ですが、できるだけ頂いた情報に目を通して、参加できます機会をうかがっております。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。
		40代	仕事をしているため、なかなか活動に参加できておりませんが、支部の活動に参加したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
	契約社員 嘱託社員	50代	いつもありがとうございます。 事務局の皆さま、いつもありがとうございます
		40代	支部活動に参加希望です
	経営者・自営	40代	臨床している方同士の交流の場がほしいです。
	無職	40代	いつも、大変お世話になっております。 私の現在の能力、体力でできることがあれば是非参加させていただきたいです。 何でもお声を掛けていただければと思っております。 どうぞ今後とも宜しくお願い致します。



本業がお忙しく、なかなか支部活動に参加できないという会員様は多いのですが、焦らずにタイミングを見て、ご連絡いただけると嬉しいです。
「参加したい」と思っていただけなのが、大変有難いです。
また、「何か手伝いたいけど、どんな手伝いがあるのか分からない」、という方は遠慮せずに事務局までご連絡ください。
おひとりおひとりの熱量を大事に、可能な範囲でどのような作業があるのかご説明させていただきます。

「配布される冊子がなくなって、昔より情報を積極的に取りにいかなくなったなと感じています。紙面の読み物がないのは寂しいです。」とのご意見、大変申し訳ございません。
昨今の流れから情報はデジタルベースでの発信がメインとなっております。支部ホームページ、支部メルマガに加え、もう少しで会員マイページも刷新されるため、会員マイページ上での情報提供もさせていただく予定です。是非ともご理解ご協力、よろしくお願い致します。



福島県

支部会員歴	現在就労形態	年代	回答内容
20年以上	経営者・自営	60代	質問からは外れますが、会報誌が電子版になりましたが、希望者には実費でも以前のような冊子で配布を希望致します。 よろしくお願いいたします。
15年以上 ～20年未満	契約社員・嘱託社員	50代	いつもお世話になっております。ありがとうございます。
	一般派遣労働者	50代	会員による、会員のための支部活動だと思っています。資格取得後に支部活動に参加していない人たちのニーズや考えを知る機会を作り続けてほしいです。地域性はあると思うので、それを活かす意味でも。
10年以上 ～15年未満	正社員 正職員	50代	産業カウンセラーもキャリアコンサルタントも、何をやっているかわからないとよく言われます。知名度を上げることも大切だと思います。
		60代	いつも情報をありがとうございます。またキャリアコン更新講座の受講では、大変お世話になりました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
	パート・アルバイト	40代	キャリアコンサルタントの更新研修を各県で開催して欲しい。
5年以上 ～10年未満	正社員・正職員	60代	産業カウンセラーのみの資格では、役に立たないと感じる。残念ながらAIに淘汰されるのは必然。医師、看護師など医療従事者のプラスアルファとしてであれば役に立つと考える。他の人に産業カウンセラーの資格を勧められないし、キャリアコンにしても同様。ネガティブな考えかと思うが、AIはとんでもない速さで進化している。
	契約社員・嘱託社員	30代	まず、このアンケートの質問が多すぎる。 毎年アンケートをとっている割には、分かるほどの改善がなされているのか見えていない部分がある。 また、研修に参加すると事務局の内輪ノリのようなものを感じることがあり、なんとなく居心地が悪いことがある。



改めて、アンケートの長さへのご指摘、大変申し訳ございませんでした。
また、改善が見えないという点、更なる努力をして参ります。
研修の内輪ノリという事に関しては、各事業部運営スタッフ含め、改めて注意喚起して参ります。引き続きご意見いただけますよう、よろしくお願いいたします。

ご回答いただきました皆様、大変ありがとうございました。

今回の反省点を踏まえ、次回は回答時間を考慮した内容に致します。

アンケートに限らず、ご意見・ご要望ございましたら事務局までご連絡ください。